東京都庭園美術館
TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM

2023
ANNUAL REPORT
年報

ウェブサイト
限定掲載
2024年4月

ごあいさつ

開館40周年の節目となった2023年度は、長らく続いたコロナ禍の制約からようやく解放され、当館にもみなさまのお姿が笑顔とともに戻った一年となりました。

1983年10月1日に開館して以来、当館では40年間にわたって旧朝香宮邸という歴史的建築物を美術館として活用しつつ、この唯一無二の装飾空間を未来に着実に継承していくための取り組みを続けて参りました。文化財の保存と活用という相反する命題に対して最適解を導き出そうとする試みは決して容易ではありませんが、多くの方々から支えられて少しずつ方向性がまとまりつつあります。

2023年度は、旧朝香宮邸が完成した1933年当時から現在に至るまでの歩みを、展覧会や各種記念事業を通して振り返りつつ、これから先もあらゆる方々にとって居心地の良い場となることを目指し、新たな試みにも意欲的に取り組みました。年度内に開催した「建物公開2023 邸宅の記憶」「フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン」「装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術」「旧朝香宮邸を読み解く A to Z」の4本の展覧会では、各展の担当学芸員がそれぞれに創意工夫を凝らして魅力的な展示を実現することができました。

また、昨年度まで実施していた社会包摂的な取り組み「障害のある方対象 アート・コミュニケータとめぐる庭園美術館」と「ベビーといっしょにミュージアムツアー」を、新たに「フラットデー」として整備し、来館するすべての人がフラットに、安心して楽しめる環境作りにも取り組みました。

さらには「わたしのいい日に。ようこそ40年目の美術館へ」のキャッチコピーのもと、ダンスパフォーマンスや各種ワークショップ、ガーデンコンサートなど、さまざまな記念イベントの開催を通して、当館のさらなる魅力創出にも挑戦しました。
ここに2023年度の成果をまとめた年報を上梓しましたことをご報告させていただくとともに、本年報を通してより多くのみなさまに当館の活動をご理解いただく一助としつつ、さらなる充実へとつなげる端緒となるよう励んで参ります。

2024年4月
東京都庭園美術館

表紙のカラーは旧朝香宮邸次室の朱色壁面をイメージしました。

基本方針

1 歴史的建造物である本館の保存とその公開

2 装飾芸術に基づく新たな価値を
今日の社会に活かす展覧会・各種事業の実施

3 「歴史的建造物」、「装飾芸術」、「庭園」を
三本柱とする文化的都市空間の形成

4 あらゆる鑑賞者に開かれた美術館の実現

東京都庭園美術館は、本館が1933年に建築されたアール・デコ様式の歴史的建造物であることから、1983年の設立以来、その「保存」と「活用」を運営方針としてきました。保存の面では、開館を機に本館の修復作業に着手し、また毎年、アール・デコ様式の調査研究を兼ねた「建物公開展」を開催してきました。その成果のひとつとして、本館は2015年に、国の重要文化財「旧朝香宮邸」に指定されています。活用の面では、アール・デコという言葉が、「装飾芸術」（建築、デザイン、工芸、家具、美術等に表れる装飾性）を意味するフランス語に由来することから、これまで国内外の美術作品を、主として装飾芸術の観点から取り上げる展覧会を企画してきました。

2014年の新館改築を機に、館の運営方針には、「新たな価値の創造」が加えられました。これによって庭園美術館の展覧会事業には、今日の視点で装飾芸術を創造する芸術家の作品を展示することが加わりました。このほかに東京の文化の魅力の創造と発信に寄与するために、装飾芸術の価値を今日の社会に活かすという視点から、庭園の活用事業をはじめとして、さまざまな教育普及事業にも取り組んでいきます。

以上の経緯により、庭園美術館は、重要文化財である「旧朝香宮邸」の保存と公開を基盤に、装飾芸術の力によって、東京という都市のこれからの課題である多文化共生、環境問題などに対応し、すべての都民の心を豊かにする場となることを目指していきます。

目次

基本方針 …… 2
2023年度の東京都庭園美術館 …… 4

各事業報告
建物・庭園公開事業 …… 5
企画展示事業 …… 33
普及事業 …… 68
アクセスプログラム …… 72
旧朝香宮邸資料公開室（ウェルカムルーム）の運営 …… 77
学校連携事業（スクールプログラム） …… 78
地域連携 …… 80
40周年事業 …… 82
東京都庭園美術館コンサート …… 101
美術資料の活用 …… 102
広報事業 …… 109
紀要の発行 …… 114
美術館維持管理 …… 115
収益事業 …… 116

2023年度の実績
入館者数 …… 122
広報・宣伝 …… 122
収益事業収入 …… 123
展覧会関連事業 …… 124

その他
組織図 …… 125
展覧会実績一覧 …… 126
施設配置図 …… 134

2023年度の東京都庭園美術館

4月1日	春（桜）の夜間開館を実施
4月20日	外部評価委員会を開催
7月21日	サマーナイトミュージアムを実施（7/28,8/4,11,18,25）
7月25日	暑さ対策として芝庭にミストを設置（9/18まで）
10月1日	「都民の日」及び「40周年記念日」に伴う庭園及び展覧会無料公開
11月17日	秋（紅葉）の夜間開館を実施（11/18,24,25）
1月17日	美術資料収蔵委員会を開催
1月23日	正門横ミュージアムショップ　リニューアルオープン
2月26日	自衛消防訓練を実施
3月22日	春（桜）の夜間開館を実施(3/23,29,30)

各事業報告

建物・庭園公開事業

建物公開2023　邸宅の記憶

Looking at Architecture 2023 Reminiscence of a House

会期	2023年4月1日（土）～6月4日（日） ［56日間］
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P.、 Van Cleef & Arpels
担当	鶴三慧、斉藤音夢
観覧料	一般1,000円／ 大学生（専修・各種専門学校含む）800円／ 中学生・高校生500円／65歳以上500円／ 小学生以下無料
出品点数	約400点
広報印刷物	ポスター（B1、B2）チラシ（A4）
デザイン	ABEKINO DESIGN
来館者数	44,295人（1日平均791人）

概要：

旧朝香宮邸の建築としての魅力を伝える、年に一度の建物公開展として実施した。

本年度は朝香宮家の人々そのものに焦点を当て、実際に使用されていた品々や作品・資料を展示することによって、朝香宮家の人々のストーリーや当時の暮らしぶりが追体験できるような演出を試みた。

本館では創建時のオリジナルの家具や調度品を用いた情景再現のほか、美術館での新しい鑑賞方法として、建築のパーツに触れるコーナー（ハンズオン）を設けた。

新館では、他館にて所蔵されている朝香宮家ゆかりの資料を多数借用し、家具調度、工芸、衣裳など、技術的にも美術的にも価値の高い品々のほか、プライベート・フィルムを編集した「甦る宮家の肖像～幻のフィルム発見」の上映を行った。また、特別出品として、皇室の慶事で用いられ、独特な発展を遂げた日本伝統技術の粋ともいえるボンボニエールを約300点展示し、皇室文化の一端を紹介した。

Looking at Architecture 2023
Reminiscence of a House

Date: Saturday, April 1 - Sunday, June 4, 2023 (56 days)
Organized by: Tokyo Metropolitan Government, Tokyo Metropolitan Teien Art Museum, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
With the annual co-sponsorship of: Toda Corporation, Bloomberg L.P., Van Cleef & Arpels
Curators: Misato Tsuru, Nemu Saito
Admission fee: Adults ¥1,000 (¥800) / University students ¥800 (¥640) / Middle & high school students ¥500 (¥400)
65 and above ¥500 (¥400)
Number of items exhibited: about 400 items
Public relations materials Posters (B1, B2) Flyers (A4)
Number of visitors: 44,295 (average 791 per day)

The main building of the Tokyo Metropolitan Teien Art Museum was completed in 1933 as the Residence of Prince Asaka. Preserved in pristine condition to the present day, the building is highly acclaimed both in Japan and abroad as valuable historic example of how Art Deco architecture, which gained popularity around the world in the 1920s to 1930s centering on Europe and the United States, had flourished in Japan. The building is also designated as one of Japan's Important Cultural Properties.
Since opening as a museum in 1983, the Tokyo Metropolitan Teien Art Museum has held exhibitions that draw upon the unique architecture of the Former Residence of Prince Asaka. Based on a different theme each year, the annual "Looking at Architecture" exhibition series introduces the beauty and many charms of the Former Residence of Prince Asaka from a variety of angles, while focusing on the architectural elements of the building itself such as design, technique, and material. This year, 2023, also corresponds to the museum's 40th anniversary.
This installment places emphasis on the Asaka family who were the former owners of the residence. In addition to recreating the residence's interior using furnishings and fittings from its era as an imperial home, the exhibition provides a glimpse into the family's life at the time through photographs, video footage, art and craft objects, furnishings, and costumes left behind by those who used to come and go in this space.

建物公開2023　邸宅の記憶
Looking at Architecture 2023 Reminiscence of a House

その他印刷物

作品リスト／会場案内図

版型･ページ数	A3四つ折り／仕上がりサイズA5
企画･編集	東京都庭園美術館
デザイン･制作	ABEKINO DESIGN
印刷	株式会社山田写真製版所

3Dオンラインビューイング

内容	展覧会会場の3VDR空間を掲載
撮影･制作	合同会社ワンダーストック
URL	https://my.matterport.com/show/?m=eKwuE4XA8nd
公開期間	2023年6月1日（木）～当面の間

建物公開2023　邸宅の記憶
Looking at Architecture 2023 Reminiscence of a House

ショート動画

タイトル	「建物公開2023　邸宅の記憶展 会場ムービー」
企画	東京都庭園美術館
編集･制作	黒目写真館
URL	https://youtube.com/shorts/uXm8Q6Kk9Jg? si=d9y7X7Ux0YWdAyQu
動画の公開期間	2023年5月5日（金･祝）～当面の間

主要関連記事

BSテレビ東京「皇室の窓スペシャル」　2023年4月16日（日）放送

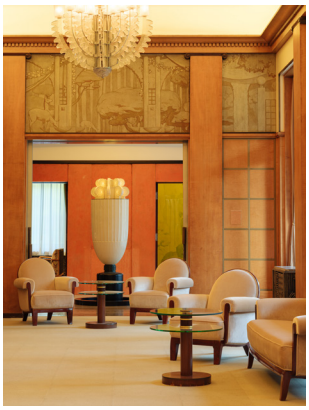
日刊建設工業新聞「東京都庭園美術館が開館40周年」　2023年4月21日（金）

美術展ナビ「レビュー『建物公開2023　邸宅の記憶』東京都庭園美術館で6月4日まで
アール･デコの邸宅は朝香宮ご夫妻こだわりの結晶」
https://artexhibition.jp/topics/news/20230418-AEJ1340265/

産経ニュース「『建物公開2023　邸宅の記憶』東京都庭園美術館で開催中」
https://www.sankei.com/article/20230420-JW2JC5LCSFC4LFONHRCA5PAVAA/?outputType=theme_event

建物公開2023　邸宅の記憶
Looking at Architecture 2023 Reminiscence of a House

会場風景



撮影：黒目写真館

建物公開2023　邸宅の記憶

Looking at Architecture 2023 Reminiscence of a House

撮影：黒目写真館

建物公開2023　邸宅の記憶
Looking at Architecture 2023 Reminiscence of a House

関連事業

(1)講演会「宮廷衣裳と宮家のきもの」

国内でも数少ない皇室や江戸時代の貴重な衣裳等を所蔵・展示している着物専門の博物館、青梅きもの博物館館長の鈴木啓三氏による講演会。宮廷衣裳の歴史やきものと近代皇室文化について、本展の展示作品と比較しながら解説いただいた。

日時　2023年5月19日(金)14:00〜15:30
場所　新館ギャラリー2
講師　鈴木啓三(青梅きもの博物館館長)
定員　70名
参加者数　71人
参加費　無料(入館料別途)
申込方法　館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

(2)トークイベント「家族が語る朝香宮家の人々」

旧朝香宮邸の施主である鳩彦王と允子妃夫妻の孫にあたる、朝香誠彦氏、大給乗龍氏を講師として迎えトークイベントを実施した。同家に伝わる夫妻や宮邸での暮らしぶりなど多彩な話題について、写真や映像を交えて語っていただいた。

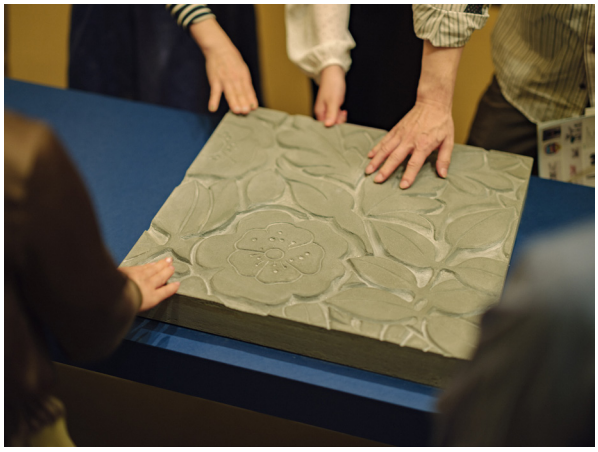
日時　2023年5月20日(土)14:00〜15:30
場所　新館ギャラリー2
講師　朝香誠彦、大給乗龍
定員　70名
参加者数　54人
参加費　無料(入館料別途)
申込方法　館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

建物公開2023　邸宅の記憶
Looking at Architecture 2023 Reminiscence of a House

(3) ワークショップ「五感と記憶で旅する庭園美術館」

閉館後の静かな環境の中、触り心地や音、匂いなどの感覚をテーマに建物を鑑賞するプログラム。ウェルカムルームに常設している「さわる小さな庭園美術館」の制作者である齋藤名穂氏とともに、本ツールで建物の全体像を把握することから始め、館内では宮邸当時のエピソードも交えながら進行した。床に座ったり音楽を流すなど、普段の展示環境では味わえない体験を行うことで、参加者同士の会話も多く生まれた。

日時	2023年5月26日(金)18:15〜20:15
場所	ウェルカムルーム及び展示室各所
講師	齋藤名穂(建築家・デザイナー)
対象	中学生以上
定員	12名
参加者数	12人
参加費	無料(入館料別途)
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制



建物公開2023　邸宅の記憶
Looking at Architecture 2023 Reminiscence of a House

作品リスト

1
デザイン：水谷正雄（宮内省内匠寮）
第一応接室家具（隅棚、小椅子、長椅子）
1933年頃
木材、布、金属、ガラス
点数3
東京都庭園美術館

2
デザイン：水谷正雄（宮内省内匠寮）
喫煙室家具（安楽椅子、小椅子）
1933年頃
木材、布
点数2
東京都庭園美術館

3
デザイン：水谷正雄（宮内省内匠寮）
若宮寝室家具（丸卓子）
1933年頃
木材
点数1
東京都庭園美術館

4
アンリ・ラパン
絵付：カミーユ・タロー
花瓶
1925年頃
点数1
東京都庭園美術館

5
製作：セーヴル製陶所
釉下彩藤花文大花瓶
1911年
陶磁器
点数1
公益財団法人鍋島報效会

6
小袖　紅縮緬地菊尾長鳥の丸文様刺繍
1900-20年
点数1
青梅きもの博物館

7
大客室家具（長椅子、安楽椅子、丸卓子）
1920-30年代
木材、布、ガラス、真鍮
点数4
東京都庭園美術館

8
花台
1920-30年代
木材、ガラス、金属
点数1
個人蔵

9
サビニの女たちの略奪
1910-20年代
ブロンズ
点数1
個人蔵

10
ルネ・ラリック
燭台《トウキョウ》
1935年
ガラス
点数1
東京都庭園美術館

11
レイモン・シュブ
サイドボード
1920-30年代
鍛鉄、縞瑪瑙（オニキス）、ガラス
点数1
東京都庭園美術館

12
原型製作：齋藤名穂（UNI DESIGN）
協力：有限会社 湯田工業
植物文様のレリーフ（レプリカ）
点数1
東京都庭園美術館

13
『ラ・コンストラクシオン・モデルヌ（現代の構成）No.13』
1932年12月
点数1
東京都庭園美術館

14
『イリュストラシオン：モダンインテリア特集 4708号』
1933年5月
点数1
東京都庭園美術館

15
「内外木材工芸パンフレット」
1933年頃
点数1
東京都庭園美術館

16
「朝香宮日誌」
1927-34年
点数2
東京都庭園美術館

17
写真アルバム
1920-30年代
点数1
個人蔵

18
デザイン：水谷正雄（宮内省内匠寮）
喫煙室家具（長椅子、安楽椅子、丸卓子）
1933年頃
木材、布
点数3
東京都庭園美術館

19
蓄音機
1920-30年代
点数1
個人蔵

20
朝香宮鳩彦王・允子妃
1920年代
写真
点数1
個人蔵

21
製作：サルブラ社
壁紙「テッコー 730-50」（若宮寝室）
点数1
東京都庭園美術館

22
留袖　黒縮子地檜扇に花紋様
1938年頃
点数1
青梅きもの博物館

23
朝香宮孚彦王・千賀子妃婚礼写真
1938年
写真
点数1
個人蔵

24
壁紙「テッコー 737-50」（若宮寝室）
点数1
東京都庭園美術館

25
製作：ロイヤル・コペンハーゲン
三羽揃いのペリカン（ペンギン）
1902年頃
磁器
点数1
東京都庭園美術館

26
双眼鏡
点数1
東京都庭園美術館

27
朝香宮孚彦王
写真
点数1
個人蔵

28
製作：サルブラ社
壁紙「テッコー RA27D」（若宮居間）
点数1
東京都庭園美術館

29
編：アルベルト・レヴィ
『アール・エ・デコラシオン（芸術と装飾）』
1923-29年
点数7
東京都庭園美術館

30
オフィス・セントラル・デディション・ダート
『20世紀近代装飾芸術百科事典』
1925年
点数12
東京都庭園美術館

31
アンリ・ラパン
書斎用家具（机、椅子、カーペット、電話台）
1933年頃
木材、ガラス、皮、ウールほか
点数4
東京都庭園美術館

32
監修：小泉和子生活史研究所
製作：ヒノキ工芸
殿下居間家具（復刻品）
2014年
点数3
東京都庭園美術館

33
殿下居間家具（キャビネット）
1930年代
木材、ガラス、布
点数1
東京都庭園美術館

建物公開2023　邸宅の記憶

Looking at Architecture 2023 Reminiscence of a House

34
ゴルフクラブ
点数4
公益財団法人鍋島報效会

35
カップ形トロフィー
1934年
銀
点数1
公益財団法人鍋島報效会

36
朝霞市指定文化財　町名改称許可書
1932年
点数1
朝霞市博物館

37
朝香宮鳩彦王
1920-30年代
写真
点数1
個人蔵

38
妃殿下寝室家具（ワードローブ）
1930年代
木材
点数1
東京都庭園美術館

39
朝香宮允子妃
スケッチブック
点数1
東京都庭園美術館

40
製作：サルブラ社
壁紙「テッコー RA35B」（妃殿下寝室）
点数1
東京都庭園美術館

41
イヴォン＝レオン＝アレクサンドル・ブランショ
朝香宮允子妃
1925年
ブロンズ
点数1
東京都庭園美術館

42
朝香宮允子妃
アイリス
1924年
紙、水彩
点数1
東京都庭園美術館

43
写真アルバム
1920-30年代
点数1
個人蔵

44
バルコニータイル（復原品）
点数8
東京都庭園美術館

45
大理石サンプル
点数1
東京都庭園美術館

46
製作：サルブラ社
壁紙「テッコー 31380」（妃殿下居間）
点数1
東京都庭園美術館

47
ウォッシュスタンド
木材、大理石
点数1
東京都庭園美術館

48
スチールパイプ家具（復刻品）
スチールパイプ、布、合板
点数3
東京都庭園美術館

49
製作：小林時計店
銀製花鳥文花盛器
明治時代
銀
点数1
公益財団法人鍋島報效会

50
野上龍起
青銅寿老人置物
明治時代
ブロンズ
点数1
公益財団法人鍋島報效会

51
オルゴール
1920-30年代
木製
点数1
個人蔵

52
梨子地扇面蒔絵硯箱・料紙箱
木製、漆
点数2
公益財団法人鍋島報效会

53
菊御紋入菊花蒔絵手箱
木製、漆
点数1
公益財団法人鍋島報效会

54
沃懸地海老手箱
木製、漆
点数1
公益財団法人鍋島報效会

55
アンドリース・コピール
製作：オランダ・レールダム社
ガラス製大花瓶
1910-30年代
点数1
公益財団法人鍋島報效会

56
菊御紋付桜模様七宝花瓶
明治時代
七宝
点数1
公益財団法人鍋島報效会

57
銀製雷紋鼎
銀
点数1
公益財団法人鍋島報效会

58
色絵龍鳳凰文香炉
磁器
点数1
公益財団法人鍋島報效会

59
根箭忠縁
黄銅製耳木菟形壷
1930年頃
黄銅
点数1
公益財団法人鍋島報效会

60
小袿　葡萄地小葵菱地尾長鳥花丸文縫取二十織
1910-20年代
点数1
青梅きもの博物館

61
振袖　萌黄紋縮地破立桶鶴に桜牡丹紅葉の折枝文様刺繍
1910年頃
点数1
青梅きもの博物館

62
菊花文漆塗手焙・炭斗
明治時代
木材、漆
点数2
東京都庭園美術館

63
ワードローブ
木材、鏡
点数1
東京都庭園美術館

64
謳集協力：株式会社毎日映画社
「甦る宮家の肖像～幻のフィルム発見～」
映像

65
「紀久子女王殿下御慶事書類・同附録」
1931年
点数2
公益財団法人鍋島報效会

66
ボンボニエール
銀　ほか
点数約300
ギャルリー・グリシーヌ　ほか

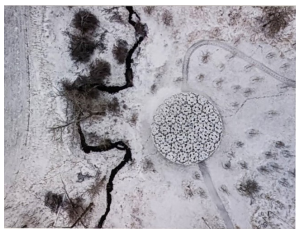
正門横スペース（旧門衛所）の テーマ展示

正門横スペースにおいて、世界各国からギャラリストや美術関係者が訪れるアートウィーク東京の開催に併せ、昨年度からの継続したテーマである「ランドスケープをつくる」のテーマ展示を行った。ランドスケープは、箱型建築の限界を超えて環境と人工の調和を説くものであり、庭園美術館が目指す邸宅と庭園の一体性と調和性を実現していくには欠かせない視点を提供していく。

「ランドスケープをつくる」 第3回:Kere Architecture　環境と建築

2022年のプリツカー賞、第34回「高松宮殿下記念世界文化賞」（建築部門）を受賞しているブルキナファソ生まれの建築家フランシス・ケレ氏は、その土地にある材料を使ったサスティナブルな手法により、人と環境に呼応し、自然に寄り添う建築を手掛けている。「ランドスケープをつくる」第3回として、人と環境と建築の新たなありようを追求するフランシス・ケレ氏の作品をパネル、図面、模型等で紹介した。

期間　2023年10月28日（土）～11月19日（日）
　　［20日間］
主催　公益財団法人東京都歴史文化財団
　　東京都庭園美術館
会場　正門横スペース
観覧料　無料



正門横ミュージアムショップにおける コラボレーション展示

正門横ミュージアムショップは、2024年1月23日のリニューアル・オープンにより、無料で誰もが気軽に立ち寄ることができる展示機能を備えることとなった。この場所において、本館・新館の展覧会とは一味違った幅広い展示活動をショップの受託者である株式会社 Fermierと美術館とのコラボレーション展示として実施する。

ランドスケープをつくる とらや 羊羹の風景

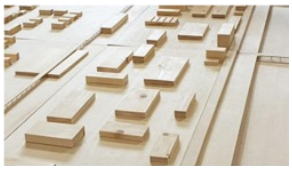
ランドスケープは景観要素としてのみならず、伝統的な食文化の形成にその土地固有の風土として影響を与えるなど、日常生活に深く入り込んでいる。5世紀にわたり和菓子屋を営む老舗「とらや」の羊羹に表現された花鳥風月をあしらったさまざまな意匠には四季折々の自然が込められている。これを通して、日本の歴史や現代につながる風景を楽しみながら、先人たちがどのように環境と向き合い、それを日常生活の中に採り入れてきたのかを考察する。羊羹のデザインに関する解説とそのサンプルに加え、普段見ることのできない菓子見本帳を映像により紹介した。

期間　2024年1月23日（火）～2月12日（月・祝）［19日間］
主催　株式会社 Fermier
会場　正門横スペース
監修　妹島和世（東京都庭園美術館館長）
観覧料　無料

ランドスケープをつくる
IIT キャンパス／クラウンホール再読「部分と全体」

アメリカ･シカゴにあるイリノイ工科大学(IIT)は、キャンパスをルートヴィヒ･ミース･ファン･デル･ローエがマスタープランから構想した大学である。段階的な用地買収によるキャンパス計画が行われ、現在ではキャンパスが周辺の街に溶け込み周辺地域を含め良好な環境を形成している。キャンパス計画の一環として、建築学棟であるクラウンホールを含めた 20 棟の建築がミースによって設計された。ミースはクラウンホールを「我々の行った最も明快な構造であり、我々の哲学を表現する最良のものである。」と語り、彼の建築観が深く現れた建築であることが感じられる。
本展示では、IIT キャンパスとクラウンホールを「部分と全体」という視点から読み解く。IIT のキャンパス全体とクラウンホールの巨大模型を中心に「都市」「建築」「もの」というさまざまなスケールを横断しながら、建築の集まりがキャンパスや都市という全体を作り、ものの集まりが建築という全体を作る、ミースの一貫した思想を紹介する。

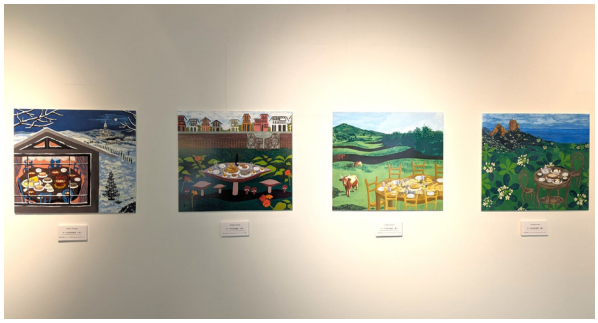
期間　2024年2月16日(金)～3月3日(日)
　　[15日間]
会場　正門横スペース
主催　東京都庭園美術館、株式会社Fermier
企画　横浜国立大学大学院 建築都市スクール Y-GSA
観覧料　無料



土地と風土とチーズと!

ナチュラルチーズは、生乳のみを原料に土地の風土、すなわち「ランドスケープ」が作り出すものである。チーズの起源や製造過程、製造に用いる古い道具とともに、それを生み出す風景などの写真や絵画を展示し、土地と風土と食べ物の関係を通して、自然環境との向き合い方を考える。

期間　2024年3月16日(土)～31日(日)
　　[14日間]
会場　正門横スペース
主催　株式会社Fermier
観覧料　無料



庭園公開事業

植栽の管理に力を入れ、丁寧に庭園を視察し健全な状態を維持した。また、本館前の桜について、樹勢の衰えが見られたことから新たな景観保持の観点から苗木を選定し、40周年記念植樹式を一般参加のかたちで行った。
今年度も「庭園パスポート」を販売し、芝庭、日本庭園、西洋庭園それぞれ趣の異なる庭園と茶室を楽しんでいただいた。

庭園公開日数	307日
庭園のみ入場者数	70,542人

庭園パスポート

販売数	400枚
入園者数	4,615人

茶室活用

庭園公開事業の一環として、日本庭園内の茶室「光華」（重要文化財）の活用を行い、茶室建築及び茶の湯文化の普及に資した。

茶会等事業

茶会体験
「重文わかる茶会」

お茶そのものにもっと親しみを持ってもらうために、実技や解説を交えた茶会体験「重文わかる茶会」を継続的に実施している。内容は、茶会に関する基礎知識を立礼席で説明したのち、露地の蹲（つくばい）の使い方の実技、広間でお菓子の食べ方の実技を行った。最後に小間で講師から薄茶とお菓子が振る舞われた。茶会の趣向が、その時々の季節感、年中行事、時事の話題などをもとに、亭主が道具や設えにさまざまな工夫を凝らしたものであることを理解してもらった。

第1回（通算第8回）

日時	2023年6月24日（土） 第1席10:30～ 第2席12:30～ 第3席14:00～ 第4席15:30～
場所	茶室「光華」立礼席、広間、小間
講師	沼尻宗真（茶道家・陶芸家）、 海老澤宗香（茶道家）どちらも裏千家
定員	各回8名×4回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募32人（4席）
参加費	1,000円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

第2回（通算第9回）

日時	2023年11月18日（土） 第1席10:30～ 第2席12:30～ 第3席14:00～ 第4席15:30～
場所	茶室「光華」立礼席、広間、小間
講師	沼尻宗真（茶道家・陶芸家）、 海老澤宗香（茶道家）どちらも裏千家
定員	各回8名×4回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募32人（4席）
参加費	1,000円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

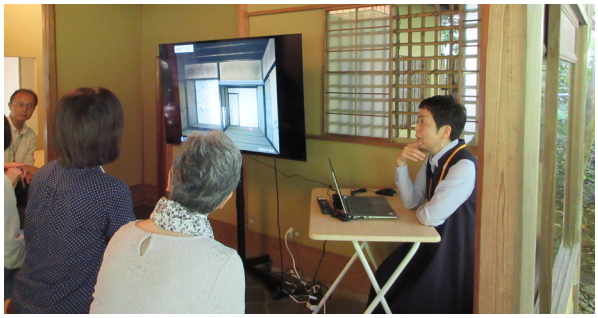
茶会体験
「こども茶会－おもいやりの心」

本事業は3回目の実施となる。対象は小学4年生～6年生とその保護者。2時間のプログラムで、前半は子供と保護者は別々になり、子供たちは模擬茶会を通して、茶会のこと、道具の名前や使い方、お菓子の食べ方、抹茶の飲み方のレクチャーを受けたあと、茶筅で抹茶を点てるという実技を行った。その間、保護者には別室で茶会や茶室に関するレクチャーを行った。その後、子供たちと合流し、子供が掛軸や花、道具のこと、お菓子の食べ方を保護者に説明し、抹茶を点て、飲み方を伝えて保護者に振る舞うという内容とした。

日時	2024年3月9日（土）
時間	午前の部　10:30～12:30
	午後の部　13:30～15:30
場所	茶室「光華」
講師	目黒とうりあん茶道教室
	舩越宗英、河田宗愛、どちらも裏千家
定員	各回5組（応募多数は抽選）
参加者	一般公募　午前の部7組14人、
	午後の部6組12人　計13組26人
参加費	1組2,000円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて
	事前申込制

トークイベント
「近代茶室「光華」の魅力－数寄屋大工の眼、建築史家の眼」

本事業は4回目の実施となる。建築史家と数寄屋建築のプロの眼と担当学芸員も加わって、茶室「光華」の建築的な魅力を掘り起こそうという趣旨で実施している。茶室立礼席で数寄屋建築や「光華」の歴史について事前説明をしたあと、今回は数寄屋大工棟梁に鉋掛けと光付けの実演をしてもらい、その後広間、小間に移動して解説や質疑応答を行った。



日時	2023年11月4日（土）
時間	①10:30～12:30
	②13:30～15:30
場所	茶室「光華」
講師	小沢朝江（東海大学建築都市学部建築学科教授）
	芹澤毅（せりざわたけし工務店、数寄屋大工棟梁）
定員	各回10名×2回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募　①10人　②8人　計18人
参加費	無料（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて
	事前申込制

呈茶会

2018年度以来、地元の港区華道茶道連盟を亭主とし、「春の呈茶」「秋の呈茶」を実施している。主菓子と抹茶を提供するオーソドックスな茶会で、初心者でも気軽に参加できるよう平易な茶会としている。呈茶のあとは、参加者を小間に案内し、学芸員による「光華」の解説を行った。

春の呈茶

日時	2023年4月29日（土・祝） 第1席10:30～ 第2席12:30～ 第3席14:00～ 第4席15:30～
場所	茶室「光華」広間、小間
亭主	港区華道茶道連盟　石川宗鶴（裏千家）
定員	各回10名×4回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募46人（定員40名）
参加費	700円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

秋の呈茶

日時	2023年10月21日（土） 第1席10:30～ 第2席12:30～ 第3席14:00～ 第4席15:30～
場所	茶室「光華」広間
亭主	港区華道茶道連盟　石井宗桃（裏千家）
定員	各回15名×4回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募57人（定員60名）
参加費	700円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

特別茶会

エアコンのない茶室は夏と冬の環境が厳しく、行事は春と秋に行うことが通例であるが、季節感を強く感じることがむしろ難しい都心にあって、その風情を十分に感じていただくため、夏と冬に特別茶会を行った。

夏の特別茶会
「ガラスの清寂」

過去2年間、たいへん好評であった夏の特別茶会「ガラスの清寂」を今年度も実施。ガラス作家青木美歌氏制作の茶器、花入れ、水指のほか茶碗、茶杓、建水、蓋置、香合、菓子皿もすべてガラス製とした。またルネ・ラリックのサラダボウルを茶碗に見立てて使用した。菓子は、特注の錦玉仕立てとした。広間の軒にはすだれ、ガラスの風鈴を掛けるなど、涼感と日本の夏の風情を味わえる室礼とし、抹茶は冷茶仕立てとした。

日時	2023年8月26日（土） 第1席10:30〜 第2席12:30〜 第3席14:00〜 第4席15:30〜
場所	茶室「光華」広間
亭主	沼尻宗真（茶道家・陶芸家）、 海老澤宗香（茶道家）どちらも裏千家
定員	各回10名×4回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募37人
参加費	1,000円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

冬の特別茶会
「光と影の清寂」

一昨年度制作した茶室「光華」の紹介動画の世界観を趣向とした。初めに立礼席でその動画を視聴したあと広間で主菓子を、その後露地を通って小間の蹲（つくばい）で清めて躙り口から席入りし、抹茶を提供した。雪と、掛軸「無事」のイメージから、茶道具は白で統一した。

日時	2023年12月2日（土） 第1席10:30～ 第2席12:30～ 第3席14:00～ 第4席15:30～
場所	茶室「光華」広間
亭主	沼尻宗真（茶道家・陶芸家）、 海老澤宗香（茶道家）どちらも裏千家
定員	各回8名×4回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募32人
参加費	1,000円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

光華茶会

当館の日本庭園の原設計者である木津宗泉、「光華」の設計者である中川砂村はともに武者小路千家の茶人であり、また当館の敷地は江戸時代、讃岐松平家の下屋敷であったが、その茶頭は武者小路千家であった。この縁から、耐震補強工事後の茶室開きのご亭主を武者小路千家家元後嗣千宗屋氏にお務めいただき、以来、武者小路千家との茶会を「光華茶会」と名付け、その歴史性を継承している。

第8回光華茶会

コロナ禍でしばらく中断していたが再開。通算第8回は同時期に美術館で開催されていたアートイベントとのコラボレーションとして実施した。茶会の道具組には本アートイベントのゲストでもあった杉本博司氏作及び所蔵の作品を一部借用した。

日時	2023年5月12日（金） 第1席10:30～ 第2席12:30～ （第3席14:00～ 第4席15:30～ 第5席17:30～） 2023年5月13日（土） 第1席10:30～ 第2席12:30～ （第3席14:00～ 第4席17:00～） ※両日とも（　　）内は招待席
場所	茶室「光華」広間、小間
亭主	傳田妙京（武者小路千家茶道教授）
定員	一般席は各回12名×4回（応募多数は抽選）
参加者	5月12日　一般公募23人、招待者28人 5月13日　一般公募23人、招待者21人
参加費	1,000円

光華茶会スペシャル
「書と茶の湯のひととき」

「光華茶会」を引き継ぎながら、異分野とのコラボレーションによりさまざまな関心層に参加してもらうため、今回は「書」のワークショップを組み合わせた。近年の研究では、侘茶の精神性について和歌の「冷え枯れ」の趣が注目されており、その歌を書き記す仮名文字に焦点を当てた。講師には2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」の題字揮毫者である書家の根本知氏を招き、立礼席において仮名文字に関する講義と書の実技を行った。参加者は根本氏の指導のもと、仮名書きを練習し色紙に清書した。続く広間における傳田妙京氏の茶会では、床の間に根本氏の作品（軸装）を掛け、茶碗は傳田氏所蔵のすべて異なる碗を使用し、菓子も特注品、茎茶も提供するなど、趣向を凝らした茶席となった。

日時	2023年10月28日（土） ①10：30〜12：30 ②13：30〜15：30
場所	茶室「光華」広間
講師	根本知（書家） 傳田妙京（武者小路千家教授）
定員	各回8名×2回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募　①8人　②7人　計15人
参加費	2,000円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

一般公開、特別公開

一般公開

文化財建築の普及のため、通常開館日は立礼席まで立ち入りできるよう一般公開している。その中で広間には茶席の道具を配し、茶室の雰囲気を味わってもらえるようにしている。配する道具は掛軸、花入れ、香合、茶碗、釜、茶筅、茶入れ、水指、建水等を展示し、季節に応じて展示替えを行っている。また季節に合わせて炉と風炉を入れ替えている。

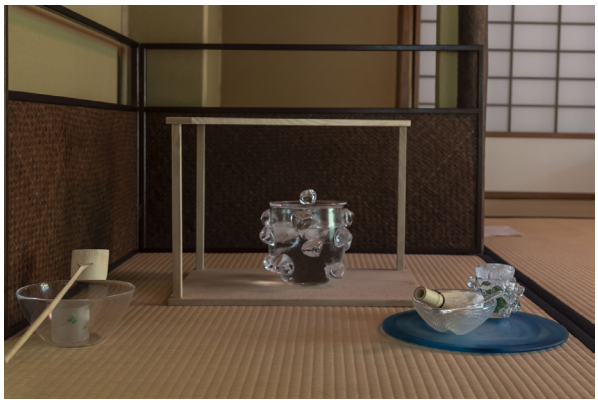
茶室入室者 74,808人
（茶会、茶会体験等参加者を除く）

特別公開

夏の特別公開

夏の特別茶会の趣向である日本の夏の風情を感じていただくため、ガラスの茶道具等の室礼による特別公開を行った。

期間　2023年8月1日（火）～20日（日）
時間　10:00～16:30
場所　茶室「光華」広間
入室者数　3,539人



秋の特別公開

茶室広間からの日本庭園の紅葉を楽しんでいただくため、
恒例行事として行っている。

期間　2023年11月28日（火）～12月10日（日）
時間　10：00～16：30
場所　茶室「光華」広間
入室者数　5,154人

光華倶楽部

茶会と大使館訪問

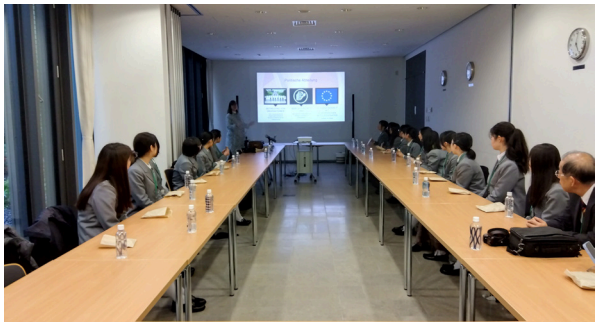
「光華倶楽部」とは、高校茶道部と各国大使館を対象とし、高校茶道部が大使館員を招いて「光華」で茶会を催し、その後大使館が高校茶道部の訪問を受け入れるという事業である。昨年度の試行を経て今年度から本格実施となった。年度当初に23区内の高校茶道部と港区内の大使館の参加意向のアンケートを行い、その結果4組のマッチングが成立した。
茶会は生徒たちが亭主となり、お点前の披露、お菓子と抹茶の提供のほか、蹲（つくばい）の使い方や抹茶の点て方を大使館の方々に体験してもらうなどの内容である。また学校紹介、茶会の趣向、道具の説明等は生徒が英語で行った。
大使館訪問は、受け入れ側の大使館により異なるが、各国のガイダンスが主で、質疑応答があり、またドリンクやお菓子が提供されたり、記念品が渡されるなどの交流があった。

ギリシャ大使館&岩倉高等学校

茶会　2023年11月23日（木・祝）13:00～14:10
大使館7人
大使館訪問　2023年11月3日（金・祝）10:30～11:50
参加生徒6人

ドイツ連邦共和国大使館＆慶應義塾女子高等学校

茶会　2023年11月26日（日）14:00～15:10
　　大使館11人
大使館訪問　2024年3月12日（火）16:30～17:30
　　参加生徒18人



モロッコ王国大使館＆城西大学附属城西中学校･高等学校

大使館訪問　2024年2月24日（土）10:30～11:00
　　参加生徒6人
※茶会は、モロッコ王国大使館の都合により中止となった。

イラン･イスラム共和国大使館＆杉並学院高等学校

茶会　2024年2月12日（月･祝）14:00～15:30
大使館9人
大使館訪問　2024年2月14日（水）18:00～20:00
参加生徒14人

春の高校生茶会

「光華倶楽部」の参加意向アンケートでは、エントリーした高校（中高一貫を含む）が20校余りあったのに対し、大使館は問い合わせを含め6か国であった。そのため多くの高校のマッチングができなかったが、茶道を学んでいる若年層が重要文化財の「光華」で茶会を行うことは、文化財の有効活用と「光華」の若年層への認知度向上に資すると考え、複数の高校による連合茶会を2日間にわたって実施することとした。
なるべく多くの高校が参加できるよう席数を増やし、1校が1席ずつ担当することとした。内容は、初めに高校生が学校紹介をし、お点前を披露しつつお菓子と抹茶の提供、趣向と道具の説明をするという略式なものとした。実地では各校とも進行がスムーズで、持ち時間に少し余裕があったので、席の締めのあと、参加した高校生と来客が対話する時間とした。

第1回

日時	2024年3月20日（水・祝）
	第1席　10:30～　都立小山台高等学校
	第2席　11:30～　中央大学高等学校
	第3席　12:30～　都立向丘高等学校
	第4席　14:30～　国本女子中学校・高等学校
	第5席　15:30～　東京都市大学等々力中学校・高等学校
	第6席　16:30～　都立田柄高等学校
場所	茶室「光華」広間
定員	各回10名×6回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募56人
参加費	700円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

都立小山台高等学校

中央大学高等学校

東京都市大学等々力中学校・高等学校

都立向丘高等学校

都立田柄高等学校

国本女子中学校・高等学校

第2回

日時	2024年3月24日（日）
	第1席　10:30〜　都立三田高等学校
	第2席　11:30〜　神田女学園中学校･高等学校
	第3席　13:30〜　都立鷺宮高等学校
	第4席　14:30〜　中央大学杉並高等学校
	第5席　15:30〜　北豊島中学校･高等学校
場所	茶室「光華」広間
定員	各回10名×6回（応募多数は抽選）
参加者	一般公募52人
参加費	700円（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて
	事前申込制

都立三田高等学校

北豊島中学校･高等学校

神田女学園中学校高等学校

中央大学杉並高等学校

都立鷺宮高等学校

撮影：高橋マナミ

企画展示事業

フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン

Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

会期	2023年6月24日（土）～9月3日（日）［62日間］
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
共催	S2株式会社
特別協力	コレクション・カッコネン
協賛	フィンエアー、フィンエアーカーゴ、イッタラ
後援	フィンランド大使館、フィンランドセンター
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P.、 Van Cleef & Arpels
担当	吉田奈緒子、方波見瑠璃子
観覧料	一般1,400円／ 大学生（専修・各種専門学校含む）1,120円／ 中学生・高校生700円／65歳以上700円／ 小学生以下無料
出品点数	137点
広報印刷物	ポスター（B1、B2）チラシ（A4）
デザイン	クリ・ラボ　栗原幸治
来館者数	47,896人（一日平均773人）
巡回情報	富山市ガラス美術館、茨城県陶芸美術館、 山口県立萩美術館・浦上記念館、 岐阜県現代陶芸美術館、兵庫陶芸美術館

概要：

デザイン大国・フィンランドのガラス作品に焦点を当てた展覧会。世界的なコレクターであるコレクション・カッコネンの所蔵作品から、デザイナーが自ら「アートグラス」の名のもとにデザインし、職人との協働作業によって生まれた優品を年代順に展観した。1930年代の台頭期から1950年代に始まる黄金期、現在活躍中のアーティストまで、それぞれ表現者たちのガラスへの情熱と挑戦、込められたメッセージや想い、個性やこだわり等が発揮された作品群が一堂に会する機会となった。

本館では展示台やケース、風景写真のバナー等を活用して作品が持つ世界観が伝わる空間を作り上げ、どのデザイナーの展示エリアも主役となるように見せた。新館では広々とした展示スペースに作品を点在させ、作品のスケールを存分に活かした手法で鑑賞していただいた。

本展は作品へのライティングや展示室における光を丁寧に取り扱い、特に夏の夜間開館が実施されたことから、昼間と夜間どちらの環境でも展示を楽しめるように仕立てた。夏の邸宅美術館に輝きと彩りを放つガラス作品が立ち並び、季節感ともマッチした展覧会となった。

展示構成：

第1章　フィンランド・グラスアートの台頭
　　アルヴァ・アアルト／アイノ・アアルト、
　　グンネル・ニューマン

第2章　黄金期の巨匠たち
　　カイ・フランク、タピオ・ヴィルッカラ、
　　ティモ・サルパネヴァ、オイヴァ・トイッカ

第3章　フィンランド・グラスアートの今
　　マルック・サロ、ヨーナス・ラークソ

Finnish Glass Art
Sparkle and Color in Modern Design

Date: Saturday, June 24 - Sunday, September 3, 2023 (62 days)
Organized by: Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture, Tokyo Metropolitan Teien Art Museum
Co-organized by: S2 Corporation
Special cooperation by: Collection Kakkonen
Supported by: Finnair, Finnair Cargo, Iittala
With the co-sponsorship of: Embassy of Finland, Tokyo, Finnish Institute in Japan
With the annual co-sponsorship of: Toda Corporation, Bloomberg L.P., Van Cleef & Arpels
Curators: Naoko Yoshida, Ruriko Katabami
Admission fee: Adults ¥1,400 (¥1,120) / University students ¥1,120 (¥890) / Middle & high school students ¥700 (¥560) / 65 and above ¥700 (¥560)
Number of items exhibited: 137 items
Public relations materials Posters (B1, B2) Flyers (A4)
Number of visitors: 47,896 (average 773 per day)

Finland is a northern European country with a rich natural environment, including vast forests and many lakes. Finland takes pride in the functionality and refined beauty of its long-loved furniture, interior design items, tableware, and other products. In recent years, their popularity has been rising in Japan.
Having become independent from Russia in 1917, Finland experienced a rising tide of national identity. Modernism was promoted in many areas, as part of the effort to build the new country and restore its people's selfhood. Glass was no exception to that trend. In the 1930s, many international exhibitions, including the Milan Triennaleand world's fairs, and domestic competitions to prepare for those events, were held; in that decade, more modern design was increasingly sought after. In was in that period that Finland saw, in art glass, the emergence of products to which designers contributed a high level of artistic orientation and a distinctively Finnish quality.
After World War II, the art glass that young designers competed to create helped the country's recovery. In the 1950s, Finland's glass art made further advances, winning internationalrenown, and becoming a prominent presence in the global design world.
This exhibition focuses on works of superb artistic quality that the designers themselves termed "art glass" and that were born through the collaboration of craftsmen and designers. It spotlights 140 superb works in tracing the pedigree of Finland's glass art, from the rise of Finnish art glass in the 1930s through its golden age, which began in the 1950s, and on to the present, represented by work by eight designers.
How did these creators address their material, glass, explore it, and broaden its creative potential? This exhibition is an opportunity to experience the fascination of these works, with their unchanging gleam, and glimpse the beliefs about glass and the challenges they faced, in each period, and the messages and ideas they incorporated in their work.

Exhibition composition:
Section1 The Emergence of Finnish Glass Art
Alvar Aalto/Aino Aalto, Gunnel Nyman
Section2 The Masters of the Golden Age
Kaj Franck, Tapio Wirkkala, Timo Sarpaneva, Oiva Toikka
Section3 Finnish Glass Art Today
Markku Salo, Joonas Laakso

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン
Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

展覧会カタログ

書名:『フィンランド・グラスアート
　　輝きと彩りのモダンデザイン』

執筆:カイサ・コイヴィスト(元フィンランド国立ガラス美術館チーフ・キュレーター)「アートグラスの創作 アーティストとガラス職人のコラボレーションが成すもの」、土田ルリ子(富山市ガラス美術館館長)「フィンランドグラスアートにおける「アートグラス」と「ユニークピース」」

編著	土田ルリ子、カイサ・コイヴィスト
編集	中島春香、西田真、迫村裕子
デザイン	亀井伸二、原純子(STORK)
発行	株式会社国書刊行会
発行数	8,000部(巡回展全会場用)
発行日	2022年10月30日
販売価格	2,970円(税込)

その他印刷物

作品リスト／会場案内図

版型・ページ数	A3二つ折り／仕上がりサイズA4(8ページ)
編集	方波見瑠璃子
デザイン・制作	クリ・ラボ　栗原幸治
印刷	株式会社アイワード

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン

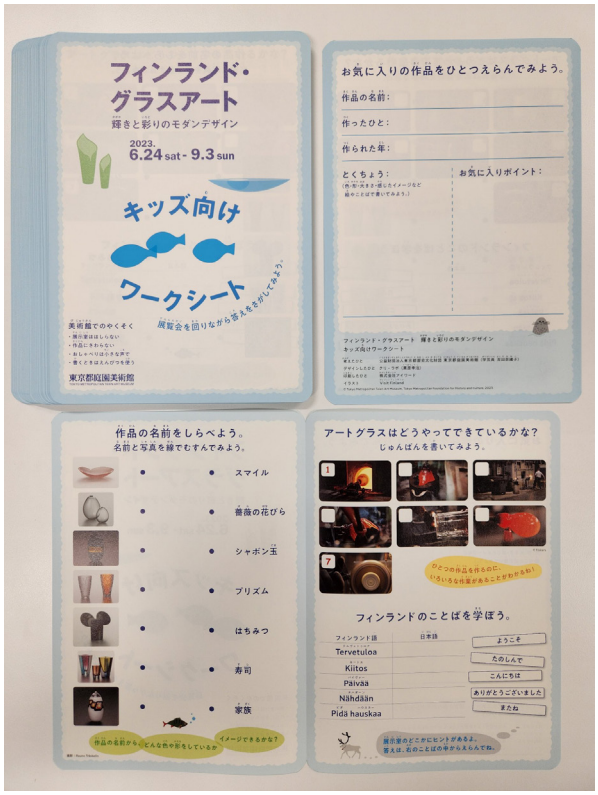
Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

キッズ向け展覧会オリジナルおりがみ

サイズ	150mm×150mm（図柄2種入り）
企画	吉田奈緒子
デザイン	永山美貴子
印刷・制作	株式会社カクワ

ワークシート

版型・ページ数	B3二つ折り／仕上がりサイズB4（4ページ）
企画・編集	吉田奈緒子
デザイン	クリ・ラボ　栗原幸治
印刷	株式会社アイワード



フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン
Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

会場ムービー

タイトル	「フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン 会場ムービー」
上映時間	2分32秒
映像ディレクション	株式会社アンドフィーカ　今泉幸子
撮影・制作	江頭康雄
URL	https://www.youtube.com/watch?v=xNW6hE_uvJY
動画の公開期間	2023年8月3日（木）～当面の間

主要関連記事

『新美術新聞』2023年6月15日（木）（担当学芸員寄稿記事）

NHK『日曜美術館アートシーン』、J-WAVE『TDK VOICES FROM NIHONMONO』2023年7月9日（日）放送

MOI「フィンランド・デザインに宿るアートグラスの光～フィンランド・グラスアート輝きと彩りのモダンデザイン」
2023年7月18日（火）
http://moicafe.com/article/glass-art/

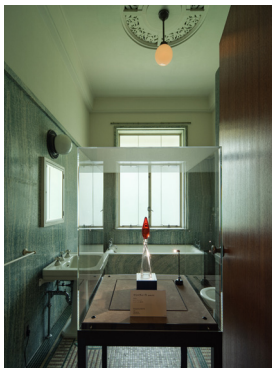
アートアジェンダ「彩り豊かなフィンランド・グラスアートから感じる北欧デザインの新たな可能性」
2023年7月26日（水）
https://www.artagenda.jp/feature/news/20230726

TokyoArtBeat「フィンランド・グラスアートの涼やかな光の秘密」
2023年8月2日（水）（担当学芸員インタビュー）
https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/finnish-glass-art-teien-interview-202308

会場風景

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン

Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design



撮影：黒目写真館

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン
Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

関連事業

(1)ワークショップ「フィンランドの伝統装飾・ヒンメリ作り」

フィンランドの伝統的な装飾品として知られるヒンメリ(乾燥した藁を糸で紡ぎ、幾何学的な多面体を繋ぎ合わせて吊す工芸品)を作るワークショップ。夏休み期間の開催ということで、小学生でも楽しめる基本的な図形とニードルという針の代用品を用いて実施した。講師の丁寧な説明のもと、仕上げに自分の好みでカラータッセルを選び、オリジナルのヒンメリを制作した。

日時	2023年8月3日(木) ①11:00〜12:00 ②12:30〜13:30 ③14:30〜15:30 ④16:00〜17:00
場所	新館ギャラリー2
講師	山本睦子(ヒンメリ作家、グラフィックデザイナー)
対象	小学生〜一般
定員	各回16名
参加者数	計51人
参加費	無料(入館料別途)
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン
Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

(2)ミニワークコーナー「どんな作品があった?作品ふりかえりカード」

展覧会の鑑賞体験を振り返る際のサポート企画として、作品に対する考えや想いを自由に深める場を提供した。引いた「お題カード」から連想する「作品カード」を選ぶというシンプルな内容で、一人の場合はカードを通して誰かと感想を交わしている体験に、複数人の場合はお互いの感想に共感したり新たな見方を発見できる等、さまざまな楽しみ方が可能なものとした。

期間　2023年7月20日(木)～ 9月3日(日)
企画　吉田奈緒子、大谷郁、山岸くらら(インターン)
場所　本館ウェルカムルーム

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン
Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

作品リスト

■1章：フィンランド・グラスアートの台頭

AA-1
アルヴァ・アアルト／アイノ・アアルト
サヴォイ [9750]
1937年
カルフラ・ガラス製作所
Karhula
木製型吹き、カット

AA-2
アルヴァ・アアルト／アイノ・アアルト
フィンランディア [9753, 0551-60, 3031-600-00]
1937年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
木製型吹き、カット

AA-3
アルヴァ・アアルト／アイノ・アアルト
制作途中のアアルト・ヴェースと木型
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
木製型吹き（未完成）

AA-4
アルヴァ・アアルト／アイノ・アアルト
アアルト・フラワー [3031, 3032, 3033, 3034]
1939年
カルフラ・ガラス製作所
Karhula
木製型吹き、カット

GN-1
グンネル・ニューマン
ボウル [38/1107]
1936年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
宙吹き、泡入りガラス、カーブ

GN-2
グンネル・ニューマン
花輪
1937年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
型吹き（回転式）、鉛クリスタル、カット、研磨

GN-3
グンネル・ニューマン
賢明な乙女たち
1937年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
型吹き（回転式）、鉛クリスタル、エングレーヴィング、
サンドブラスト、酸仕上げ（マット）

GN-4
グンネル・ニューマン
鳥
1937年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
型吹き（回転式）、鉛クリスタル、サンドブラスト、
研磨、酸磨き

GN-5
グンネル・ニューマン
魚 [6211 K3164]
1937年
カルフラ・ガラス製作所
Karhula
宙吹き、オパールグラス、被せガラス、カット

GN-6
グンネル・ニューマン
家族 [6310 K3163]
1937年
カルフラ・ガラス製作所
Karhula
型吹き（回転式）、サンドブラスト、酸仕上げ（マット）

GN-7
グンネル・ニューマン
ファセットI [T/76, 6838]
1941年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
宙吹き、鉛クリスタル、カット

GN-8
グンネル・ニューマン
エリザベス [T/126]
1941年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
宙吹き、鉛クリスタル、カット

GN-9
グンネル・ニューマン
スキー・パトロール（通称：冬戦争）
1941年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
宙吹き、オパール被せガラス、エングレーヴィング

GN-10
グンネル・ニューマン
カラー [T/75, 6830]
1946年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
型吹き（回転式）、被せガラス、カーブ

GN-11
グンネル・ニューマン
白樺の森
1946年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
宙吹き、オパール被せガラス、エングレーヴィング

GN-12
グンネル・ニューマン
バロック [T/74, 6836]
1946年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
宙吹き、鉛クリスタル、カット

GN-13
グンネル・ニューマン
円錐
1946-47年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
積層ガラス、宙吹き、カーブ

GN-14
グンネル・ニューマン
卵殻 [K229, 3303]
1947年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
宙吹き、被せガラス、カット

GN-15
グンネル・ニューマン
復活 [K226, 3223]
1947年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き（回転式）、鉛クリスタル、ツイスト、カーブ

GN-16
グンネル・ニューマン
ストリーマー [GN18]
1947年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、オパールツイスト、カーブ

GN-17
グンネル・ニューマン
ブライダルヴェール [GN31]
1947年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、スモーク被せガラス、釘付型

GN-18
グンネル・ニューマン
花瓶
1947年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、スモークレースグラス

GN-19
グンネル・ニューマン
真珠のネックレス [GN37]
1947年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、線状泡入り、カーブ

GN-20
グンネル・ニューマン
薔薇の花びら [GN51]
1948年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、被せガラス、酸仕上げ（マット）、カット

■2章：黄金期の巨匠たち

KF-1
カイ・フランク
掃く人
1946年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き（回転式）、鉛クリスタル、カーブ、
エングレーヴィング

KF-2
カイ・フランク
シャボン玉 [KF113]
1951年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、カーブ、カット

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン

Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

KF-3
カイ・フランク
ヤマシギ [KF224]
1953年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、ホットワーク、錫粉による泡、カット

KF-4
カイ・フランク
ヨーロッパブナ [KF226]
1953年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、ホットワーク、ソーダによる泡、カーブ、カット

KF-5
カイ・フランク
クレムリンの鐘 [KF1500, KF500]
1956年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き（回転式）、カーブ／栓：宙吹き

KF-6
カイ・フランク
プリズム [KF215]
1953-56年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
被せガラス、型吹き、カット

KF-7
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1966年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
リング、宙吹き、カーブ

KF-8
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1968年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
リング、宙吹き、カーブ

KF-9
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1970年代初頭
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
リング、宙吹き、カーブ

KF-10
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1968年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
リング、宙吹き、カーブ

KF-11
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1960年代末
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、ブロークン・フラッシング、カーブ

KF-12
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1970年代初頭
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、ブロークン・フラッシング、カーブ

KF-13
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1970年代初頭
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、レースグラス、泡入りグラス、カーブ

KF-14
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1970年代前半
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
リング、宙吹き、カーブ

KF-15
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1970年代前半
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
リング、宙吹き、カーブ

KF-16
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1970年代前半
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、レースグラス、泡入りグラス、カーブ

KF-17
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1972年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き（回転式）、レースグラス、カーブ

KF-18
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1972年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き（回転式）、レースグラス、カーブ

KF-19
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1970年代
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
リング、宙吹き、カーブ

KF-20
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1970年代前半
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、クラッシュ、カーブ

KF-21
カイ・フランク
サルガッソ海
1970年代
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き、ブロークン・フラッシング、カーブ

KF-22
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1975年頃
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、ブロークン・フラッシング、ホットワーク

KF-23
カイ・フランク
アートグラス、ユニークピース
1980年代
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
リング、宙吹き、カーブ

TW-1
タピオ・ヴィルッカラ
杏茸 [3200/3800]
1946年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き（回転式）、カット、カーブ、ラインカット

TW-2
タピオ・ヴィルッカラ
サーカス
1947年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き（回転式）、カーブ、
テオドル・カッピによるエングレーヴィング（未完成）

TW-3
タピオ・ヴィルッカラ
木の切り株 [3244/3844/3241]
1947年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
特殊型に吹き込んだ鉛クリスタル、カーブ

TW-4
タピオ・ヴィルッカラ
アートグラス、ユニークピース
1940年代後半
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
宙吹き、鉛クリスタル、カット、エングレーヴィング、
サンドブラスト、酸仕上げ（マット）

TW-5
タピオ・ヴィルッカラ
ヘラジカ [3400]
1949年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
鋳造、鉛クリスタル、カット、エングレーヴィング

TW-6
タピオ・ヴィルッカラ
フィヨルド [3405/3805]
1950年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
鋳造、鉛クリスタル、カット、エングレーヴィング

TW-7
タピオ・ヴィルッカラ
氷山 [3525/3825]
1950年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き、鉛クリスタル、カット

TW-8
タピオ・ヴィルッカラ
アートグラス [3136]
1950年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き、鉛クリスタル、ハンマー割、カット

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン

Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

TW-9
タピオ・ヴィルッカラ
スパイラル 327 [3876]
1948年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き(回転式)、鉛クリスタル、カット

TW-10
タピオ・ヴィルッカラ
アートグラス [3869]
1951年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
鋳造成形、鉛クリスタル、コームカット

TW-11
タピオ・ヴィルッカラ
竹 [3537]
1952年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き(回転式)、鉛クリスタル、カーブ、コームカット

TW-12
タピオ・ヴィルッカラ
元帥杖 [3590]
1954年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
オープン型による成形、鉛クリスタル、スティックブロー、カット

TW-13
タピオ・ヴィルッカラ
東京 [3577][3576]
1954年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
オープン型による成形、鉛クリスタル、スティックブロー、カット

TW-14
タピオ・ヴィルッカラ
アートグラス [3584/3894]
1955年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
オープン型による成形、鉛クリスタル、被せガラス、カット

TW-15
タピオ・ヴィルッカラ
プリマヴェーラ [K696/55]
1955年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
宙吹き、被せガラス、カット

TW-16
タピオ・ヴィルッカラ
パーダルの氷
1960年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
黒鉛型による鋳造、部分的カット

TW-17
タピオ・ヴィルッカラ
大理石 [3544]
1967年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き(固定)、カット

TW-18
タピオ・ヴィルッカラ
アートグラス [3442]
1968年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
遠心鋳造

TW-19
タピオ・ヴィルッカラ
ユリアナ [0556/0557]
1972年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き(固定)、カット

TW-20
タピオ・ヴィルッカラ
氷上の釣り穴 1970/1975 (1975年バージョン)
1975年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
遠心鋳造

TW-21
タピオ・ヴィルッカラ
アメリカン・ヴァーズ/ブレジネフ・カップ (1972年バージョン)
1972年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
遠心鋳造

TW-22
タピオ・ヴィルッカラ
ゴンドリエーリ [507.0, 507.1]
1966年
ヴェニーニ社(ムラーノ、イタリア)
Venini (Murano Italy)
宙吹き、インカルモ、カーブ

TW-23
タピオ・ヴィルッカラ
フィリグラーナ・ディ・タピオ [537.01]
1970年
ヴェニーニ社(ムラーノ、イタリア)
Venini (Murano Italy)
宙吹き、レースグラス、インカルモ、カーブ

TS-1
ティモ・サルパネヴァ
アートグラス [T/261]
1949年
リーヒマキ・ガラス製作所
Riihimäki
型吹き(回転式)、被せガラス、カーブ

TS-2
ティモ・サルパネヴァ
悪魔の真珠 [3149]、悪魔の拳 [3530]
1951年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
ホットワーク、ソーダによる気泡、特別器具による穴、カット

TS-3
ティモ・サルパネヴァ
ランセットI [3541/3841]
1952年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き、被せガラス、ホットワーク、カーブ、カット

TS-4
ティモ・サルパネヴァ
蘭 [3568][3868]
1953年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
ホットワーク、スティックブロー、カット(大のみ)

TS-5
ティモ・サルパネヴァ
アートグラス [3365][3367]
1954年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
ホットワーク、スティックブロー、カット

TS-6
ティモ・サルパネヴァ
カヤック [3867]
1954年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
ホットワーク、スティックブロー、裁断、カット

TS-7
ティモ・サルパネヴァ
ブラックランセット [3593][3592]
1956年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
ホットワーク、スティックブロー、カット

TS-8
ティモ・サルパネヴァ
サンボール [2000]
1956年あるいは1959年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
宙吹き、ホットワーク

TS-9
ティモ・サルパネヴァ
森の太陽
1950年代末
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
ホットワーク、スティックブロー、カーブ

TS-10
ティモ・サルパネヴァ
グラスブロック(眠れる鳥)
1960年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
ホットワーク、スティックブロー

TS-11
ティモ・サルパネヴァ
フィンランディア
1964年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
木製型吹き(固定)、カット

TS-12
ティモ・サルパネヴァ
フィンランディア/情熱 [M3]
1964年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
木製型吹き(固定)、カット

TS-13
ティモ・サルパネヴァ
アートグラス [3376]
1968年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
木製型吹き(固定)、型吹き(回転式)、カット

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン

Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

TS-14
ティモ・サルパネヴァ
アーキペラゴ [3145]
1978年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
積層鋳造、カット

TS-15
ティモ・サルパネヴァ
アーキペラゴ
1979年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
積層鋳造、カット

TS-16
ティモ・サルパネヴァ
夢へのゲートウェイ
1981年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
積層鋳造、カット

TS-17
ティモ・サルパネヴァ
クラリタス/アヌビス [0736]
1984年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
宙吹き、積層内に気泡、カット

TS-18
ティモ・サルパネヴァ
ブルース [3041][3038]
1985年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き(回転式)、ホットワーク、カット

TS-19
ティモ・サルパネヴァ
スマイル
1994年
イッタラ・ガラス製作所
Iittala
型吹き(固定)、カット

TS-20
ティモ・サルパネヴァ
眠れる鳥(黒い鳥)
1996年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
ホットワーク、スティックブロー、カーブ

TS-21
ティモ・サルパネヴァ
リベール・ムンディ
1999年
スタジオ・ピノ・シニョレット(ムラーノ、イタリア)
Studio Pino Signoretto (Murano Italy)
ホットワーク

OT-1
オイヴァ・トイッカ
モンスター、ユニークピース
1966年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き(固定)、カット

OT-2
オイヴァ・トイッカ
竹、ユニークピース
1966年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
段階的に巻き取ったガラス、宙吹き、カーブ

OT-3
オイヴァ・トイッカ
フローラ、ユニークピース
1966年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き(固定)、カーブ

OT-4
オイヴァ・トイッカ
アートグラス、ユニークピース
1967年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、鉛クリスタル、カーブ、カット、エングレーヴィング

OT-5
オイヴァ・トイッカ
ポンポン、ユニークピース
1968年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
段階的に巻き取ったガラス、宙吹き、カーブ、ホットワーク

OT-6
オイヴァ・トイッカ
ロリポップ、ユニークピース
1968年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
ペーパーウェイト技法、一層ごとに巻き取ったガラス、ホットワーク

OT-7
オイヴァ・トイッカ
湖の宮殿、ユニークピース
1969年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き(固定)、鋳造、ホットワーク、接着

OT-8
オイヴァ・トイッカ
シエッポ
1971年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、ホットワーク

OT-9
オイヴァ・トイッカ
アートグラス、ユニークピース
1971年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、ホットワーク

OT-10
オイヴァ・トイッカ
アートグラス、ユニークピース
1970年代初頭
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
段階的に巻き取ったガラス、宙吹き、カーブ／栓:ホットワーク

OT-11
オイヴァ・トイッカ
松の樹、ユニークピース
1970年代中頃
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
下部:宙吹き、ホットワーク／上部:コンクリート床上での成形後、下部のパーツによるピックアップ

OT-12
オイヴァ・トイッカ
カットボウル／デコルテ、ユニークピース
1985年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、被せガラス、裁断、カット、サンドブラスト

OT-13
オイヴァ・トイッカ
8人の花嫁、ユニークピース
1986年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
ペーパーウェイト技法、一層ごとに巻き取ったガラス、カット、接着

OT-14
オイヴァ・トイッカ
市松模様、ユニークピース
1988年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
宙吹き、レースグラス、ホットワーク、カーブ

OT-15
オイヴァ・トイッカ
市民
1988年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
鋳造、鉛クリスタル、ドリル使用、カット

OT-16
オイヴァ・トイッカ
問題の森
1990年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
鋳造、ラスター彩

OT-17
オイヴァ・トイッカ
サルの樹、ユニークピース
1989-95年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
下部:型吹き(固定)、ホットワーク／上部:コンクリート床上での成形

OT-18
オイヴァ・トイッカ
錆の時、ユニークピース
1980年代末-1990年代初頭
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
鋳造、ペーパーウェイト技法、カット、接着

OT-19
オイヴァ・トイッカ
補佐官、ユニークピース
2007年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
鋳造、ペーパーウェイト技法、宙吹き、カット、接着

OT-20
オイヴァ・トイッカ
知恵の樹、ユニークピース
2008年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
ペーパーウェイト技法、カット、接着

フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン

Finnish Glass Art　Sparkle and Color in Modern Design

■3章：フィンランド・グラスアートの今

MS-1
マルック・サロ
サンバ、ユニークピース
1987年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き（回転式）、レースグラス／蓋：鋳造、接着

MS-2
マルック・サロ
アイスタワー、ユニークピース
1988年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
金属枠吹込み／蓋：鋳造、接着

MS-3
マルック・サロ
水門
1989年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
金属メッシュ吹込み

MS-4
マルック・サロ
アンフォラ、ユニークピース
1989年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き（固定）、カーブ／
栓：型吹き（回転式）、金属製スタンド

MS-5
マルック・サロ
アンフォラ、ユニークピース
1990年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き（固定）、カーブ／
栓：型吹き（回転式）、接着、金属製スタンド

MS-6
マルック・サロ
アートグラス、ユニークピース
1994年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
金属メッシュ吹込み／
蓋：宙吹き、レースグラス／つまみ：接着

MS-7
マルック・サロ
アートグラス、ユニークピース
1995年
（ただし、蓋は後に制作）
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
金属メッシュ吹込み／蓋：接着

MS-8
マルック・サロ
歓声と囁き、ユニークピース
1998年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
上部：パート・ド・ヴェール／下部：型吹き（回転式）

MS-9
マルック・サロ
缶詰のフラワーパワー
2009年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
金属メッシュ吹込み／栓：宙吹き、ホットワーク、接着

MS-10
マルック・サロ
アートグラス、ユニークピース
2014年
ヌータヤルヴィ・ガラス製作所
Nuutajärvi
型吹き（回転式）／栓：ホットワーク、酸仕上げ（マット）

MS-11
マルック・サロ
アートグラス、ユニークピース
2017年
ラシコンッパニア
Lasikomppania
金属ネット吹込み／栓：接着

MS-12
マルック・サロ
アートグラス、ユニークピース
2017年
ラシコンッパニア
Lasikomppania
宙吹き／栓：接着

MS-13
マルック・サロ
アートグラス、ユニークピース
2017年
ラシコンッパニア
Lasikomppania
宙吹き／栓：接着

JL-1
ヨーナス・ラークソ
リコリスみたい
2012年、2013年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、ホットワーク

JL-2
ヨーナス・ラークソ
ココナッツ
2014年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、インカルモ、エングレーヴィング、カット、
サンドブラスト、酸仕上げ（マット）

JL-3
ヨーナス・ラークソ
ココナッツ
2016年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、インカルモ、着色、カット、研磨

JL-4
ヨーナス・ラークソ
はちみつ
2014年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、インカルモ、バットゥート、カット、サンドブラスト、
酸仕上げ（マット）、研磨

JL-5
ヨーナス・ラークソ
傷痕
2015年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、被せガラス、ホットワーク、カット、
酸仕上げ（マット）

JL-6
ヨーナス・ラークソ
寿司
2015年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、ムッリーニ、酸仕上げ（マット）、カット、研磨

JL-7
ヨーナス・ラークソ
アノニマス
2017年
グラスヒュッテ・ゲルンヘイム（ドイツ）
Glashütte Gernheim (Germany)
宙吹き、レースグラス、インカルモ、カット、研磨

JL-8
ヨーナス・ラークソ
ジグザグ（白、黒）
2014年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、レースグラス、リング、インカルモ、カット

JL-9
ヨーナス・ラークソ
ジグザグ（赤、青）
2015年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、レースグラス、リング、インカルモ、カット

JL-10
ヨーナス・ラークソ
ジグザグ（オレンジ）
2017年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、レースグラス、リング、インカルモ、カット

JL-11
ヨーナス・ラークソ
フィリ、ヴェネチアン・ゴブレット
2016年
ラシスミ
Lasismi
宙吹き、レースグラス、ホットワーク

JL-12
ヨーナス・ラークソ
ウーバー、ヴェネチアン・ゴブレット
2017年
グラスヒュッテ・ゲルンヘイム（ドイツ）
Glashütte Gernheim (Germany)
宙吹き、レースグラス、ホットワーク

JL-13
ヨーナス・ラークソ
アルキオ
2022年
ヌータヤルヴィ・グラス・カンパニー
Nuutajärvi Glass Company
宙吹き、ムッリーニ、カーブ、カット

装飾の庭
朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

会期	2023年9月23日（土）～12月10日（日） ［68日間］
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P.、 Van Cleef & Arpels
担当	大木香奈、鶴三慧
観覧料	一般1,400円／ 大学生（専修・各種専門学校含む）1,120円／ 中学生・高校生700円／65歳以上700円／ 小学生以下無料
出品点数	120点
広報印刷物	ポスター（B1、B2）チラシ（A4）
デザイン	シルシ 上田英司
来館者数	49,797人　（一日平均732人）

概要：

開館40周年記念を冠する展覧会の第一弾の展覧会として開催した。美術館の館名にもある「庭園」を起点に、第1章では主要客室の装飾を手がけたフランス人装飾美術家アンリ・ラパン（1873–1939）による一連の装飾画について、彼自身のエッセイや宮邸に影響を与えたとされるその他の作例から丁寧な読み解きを行った。壁画や設えには随所に水の流れが演出されており、これにより部屋同士の有機的なつながりが生まれていることを示した。また、第2章では朝香宮邸の外に広がる庭園についても着目し、竣工時に移植された椋木や地鎮祭などの映像についても初めて公開した。続く第3章では、視点をフランスに移し、アール・デコ博覧会をはじめとする1920～30年代にかけて開催された国際博覧会における近代庭園をめぐる動向に着目し、両大戦間期に花開いた“庭園芸術”について、絵画や工芸、写真、資料等から紹介した。開館以降収集を行ってきた収蔵品や研究成果について改めて見つめ直す機会となった。

本展独自の試みとして、50分の1スケールの精巧な建築模型（1階部分）を製作したり、エレベーター設置の無い3階ウインターガーデンについて360度ビューの映像を展示するなど、さまざまなツールを活用して空間を視覚的にわかりやすく説明する工夫を凝らした。

展示構成：

第Ⅰ章　アンリ・ラパンの描いた庭
1. 水の流れる装飾プラン
2. 「フランス大使館」との類似
3. 「ブラジルの別荘」プラン
4. ラパンと協力者たち

第Ⅱ章　朝香宮邸と庭園
5. 朝香宮夫妻の滞欧
6. 椋木の移植
7. 新興獨逸建築工芸展とドイツ製家具

第Ⅲ章　アール・デコの庭園芸術
8. アール・デコ博覧会と庭園芸術
9. エキゾティシズムと
1931年パリ国際植民地博覧会
10. 描かれる庭園
11. 1937年国際博覧会とモダン・ガーデン

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

Date: Saturday, September 23 - Sunday, December 10, 2023 (68 days)
Organized by: Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture, Tokyo Metropolitan Teien Art Museum
Cooperation: Japan Transport Corporation Public Interest Incorporated Foundation Travel Library
With the annual co-sponsorship of: Toda Corporation, Bloomberg L.P., Van Cleef & Arpels
Curators: Kana Ooki, Misato Tsuru
Admission fee: Adults ¥1,400 (¥1,120) / University students ¥1,120 (¥890) / Middle & high school students ¥700 (¥560) / 65 and above ¥700 (¥560)
Number of items exhibited: 120 items
Public relations materials Posters (B1, B2) Flyers (A4)
Number of visitors: 49,797 (average 732 per day)

The Residence of Prince Asaka (current Tokyo Metropolitan Teien Art Museum) was completed on a site located within the imperial estate in Shirokane, Tokyo in 1933. The garden area of this site measuring approximately 34,765 square-meters includes a spacious lawn, Japanese garden, and a bonsai and flower garden, and animals such as cranes and peacocks had once roamed their grounds. The interior walls of the residence are painted with landscapes of verdant forests overlooking mountains in the distance and gardens filled with water in correspondence to a decoration plan designed to give the impression of being amidst nature while indoors. This series of decorative paintings by French artist décorateur Henri RAPIN (1873-1939), who was responsible for designing the interiors of the main guest rooms, serve as keys to deciphering the concept of the Residence of Prince Asaka, and also demonstrate a connection to the arts du jardin (art of the garden) in France at the time.

The Exposition Internationale des Arts Décoratifs et Industriels Modernes (International Exhibition of Modern and Industrial Decorative Arts), held in Paris in 1925, which is said to have had a significant influence on the decorative planning of the residence, placed great importance on “arts du jardin,” establishing it as an independent exhibit category for the very first time. Not only landscape designers, but also architects and artist décorateurs concerned themselves with the means by which to “decorate” “gardens,” and a variety of gardens were thus created around each pavilion as well as in the streets.

Presenting a selection of approximately 120 works of art, including paintings, sculptures, crafts, prints, photographs, and documents, this exhibition brings focus to trends surrounding modern gardens in France during the interwar period between the two world wars centering on those featured in the exposition, and introduces the ways in which gardens developed by means of incorporating elements of classicism, exotism, and cubism. The exhibition is an attempt to deepen the understanding of the museum’s architectural decor and space itself.

Exhibition composition:
Chapter1 The Garden Depicted by Henri Rapin
Chapter2 The Prince Asaka Residence and its Gardens
Chapter3 Art Deco and “Arts du Jardins” (The Art of the Garden)

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術
The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

展覧会カタログ

書名:『装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術』

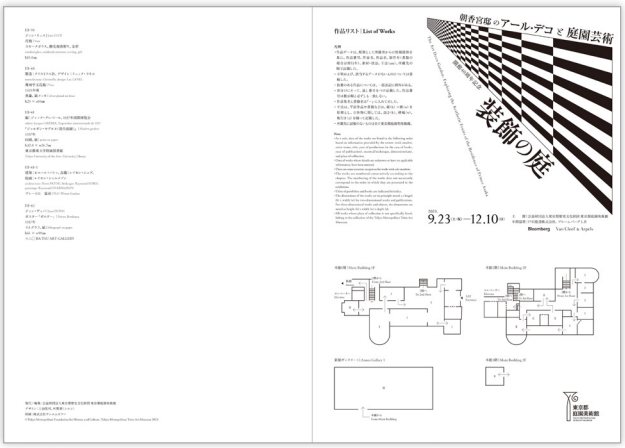
執筆:三田村哲哉(兵庫県立大学環境人間学部教授)「アール・デコ博の庭園」、大木香奈「『装飾の庭』をめぐってアンリ・ラパンの装飾美術」、アンリ・ラパン　再録論文「装飾美術」「装飾美術と建築」

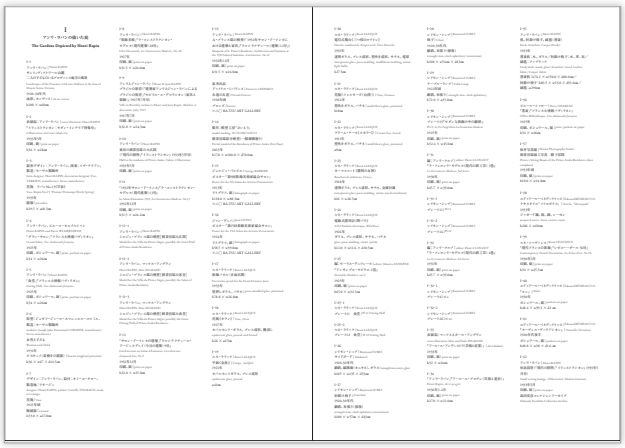
編集	大木香奈、鶴三慧
デザイン	シルシ 上田英司、叶野夢
発行	東京都庭園美術館
発行数	1,000部
発行日	2023年9月23日
販売価格	2,300円(税込)

その他印刷物

作品リスト／会場案内図

版型・ページ数	A3三つ折り／仕上がりサイズA4(8ページ)
企画・編集	東京都庭園美術館
デザイン・制作	シルシ 上田英司
印刷	株式会社山田写真製版所





装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術
The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

ショート動画

タイトル	「装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術 会場ムービー」Part1～7
企画	東京都庭園美術館
編集・制作	黒目写真館
URL	https://www.youtube.com/shorts/cOwrJb0N_PQ https://www.youtube.com/shorts/7TmhjOcFssg https://www.youtube.com/shorts/_QIo98z_xT8 https://www.youtube.com/shorts/_I48O4tbZ4E https://www.youtube.com/shorts/DPy9WIOzP88 https://www.youtube.com/shorts/HsVRy5HyjsI https://www.youtube.com/shorts/ITjszXenvr8
動画の公開期間	2023年10月6日（金）～当面の間

主要関連記事

エル・デコデジタル「アール・デコ時代の『庭園芸術』に迫る日本初の展覧会、まもなく開催」2023年9月20日（水）
https://www.elle.com/jp/decor/art/g45072464/the-art-deco-garden-2309/

スフマート「開館40周年を迎えた東京都庭園美術館。館内の建築装飾の魅力を紹介」2023年10月10日（火）
https://sfumart.com/column/15585/

ハルメク「アートコレクション」2023年10月10日（火）

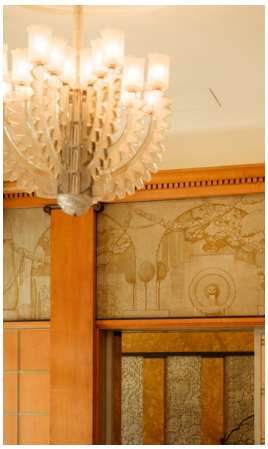
テレビ朝日『東京サイト』2023年11月7日（火）放送

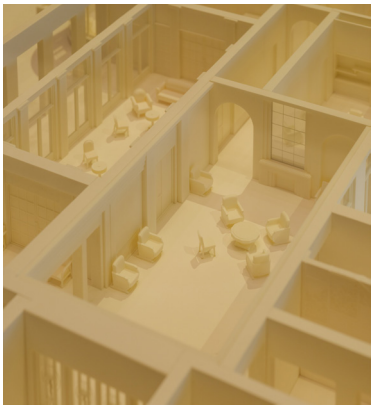
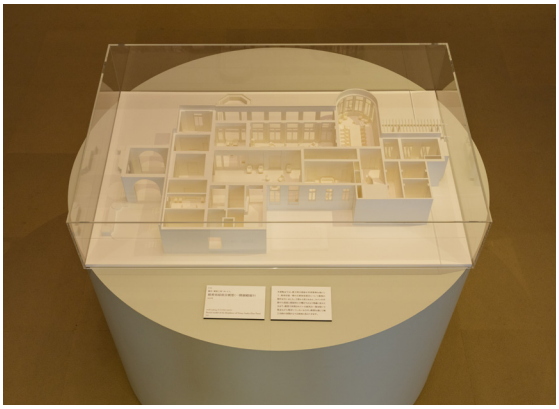
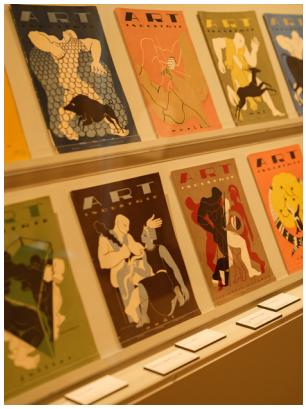
読売新聞社『美術展ナビ』2023年11月15日（水）
https://artexhibition.jp/topics/news/20231113-AEJ1683811/

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

会場風景



装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

撮影：黒目写真館

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術
The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

関連事業

ギャラリートーク

「装飾の庭」展について、展覧会担当学芸員が各回のテーマに合わせてトークを行った。

日時	①2023年11月21日（火） 「アンリ・ラパンの装飾プラン」 ②2023年12月5日（火） 「アール・デコ博覧会の庭園」 ＊各日とも11：00～（30分程度）
場所	①本館②新館
講師	大木香奈
定員	各回20名程度（先着順）
参加者数	①25人 ②20人
参加費	無料（入館料別途）
申込方法	当日受付、先着順

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術
The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

作品リスト

■1章：アンリ・ラパンの描いた庭

参考図版
朝香宮邸　一階平面図

参考図版
アンリ・ラパン
東面壁画（小客室）
1933年
油彩、カンヴァス

参考図版
アンリ・ラパン
南面壁画（小客室）
1933年
油彩、カンヴァス

参考図版
アンリ・ラパン
西面壁画（小客室）
1933年
油彩、カンヴァス

参考図版
アンリ・ラパン
北面壁画（小客室）
1933年
油彩、カンヴァス

1
アンリ・ラパン
サント＝ヴィクトワール山麓
二人の子どものいるプロヴァンス地方の風景
1920-30年代
油彩、カンヴァス
h100 × w60cm
東京都庭園美術館

2
表紙絵：アンリ・ラパン
『イリュストラシオン：モダン・インテリア特集号』
1933年5月
印刷、紙
h36 × w28cm
東京都庭園美術館

参考図版
デザイン：アンリ・ラパン、製造：セーヴル製陶所
香水塔（次室）
1933年
磁器

3
器形デザイン：アンリ・ラパン、図案：イヴ・テリアン、
製造：セーヴル製陶所
花瓶　ラパンNo.13《早春》
1935年
磁器
h29.5 × ϕ18.5cm
東京都庭園美術館

参考図版
アンリ・ラパン
東面壁面装飾パネル（大客室）
1933年
油彩、板

参考図版
アンリ・ラパン
西面壁面装飾パネル（大客室）
1933年
油彩、板

参考図版
アンリ・ラパン
北面右側壁面装飾パネル（大客室）
1933年
油彩、板

参考図版
アンリ・ラパン
北面中央壁面装飾パネル（大客室）
1933年
油彩、板

参考図版
アンリ・ラパン
北面左側壁面装飾パネル（大客室）
1933年
油彩、板

4
アンリ・ラパン、ピエール・セルメルシャン
「グラン・サロン」『フランス大使館パヴィリオン』
東京都庭園美術館
1925年
h34 × w26cm

4-1
プレート11
印刷、紙
東京都庭園美術館

4-2
プレート12
印刷、紙
東京都庭園美術館

4-3
プレート13
印刷、紙
東京都庭園美術館

4-4
プレート14
印刷、紙
東京都庭園美術館

4-5
プレート15
ポショワール、紙
東京都庭園美術館

5
アンリ・ラパン
「食堂」『フランス大使館パヴィリオン』
1925年
h34 × w26cm
東京都庭園美術館

5-1
プレート16
印刷、紙
東京都庭園美術館

5-2
プレート17
印刷、紙
東京都庭園美術館

5-3
プレート18
ポショワール、紙
東京都庭園美術館

6
原型：ジョゼフ・ジュール・エマニュエル・コルミエ、
製造：セーヴル製陶所
女性と子ども
1931年
ビスキュイ（素焼きの磁器）
h36 × w47 × d14.5cm
東京都庭園美術館

参考図版
アンリ・ラパン
壁面装飾パネル（大食堂）
1933年
油彩、板

7
デザイン：アンリ・ラパン、絵付：カミーユ・タロー、
製造地：リモージュ
花瓶
1925年頃
陶磁器
h33.0 × ϕ27.0cm
東京都庭園美術館

8
アンリ・ラパン
「装飾美術」『ラ・コンストラクシオン・モデルヌ（現代建築）28号』
1927年
印刷、紙
h31.5 × w24.0cm
東京都庭園美術館

9
アンリとジャン・ラパン
「建築家アンリとジャン・ラパンによるブラジルの別荘」
『モビリエ・エ・デコラシオン（家具と装飾）』1927年7月号
1927年7月
印刷、紙
h32.0 × w24.3cm
東京都庭園美術館

9-1
模型
東京都庭園美術館

9-2
全体図
東京都庭園美術館

9-3
図面
東京都庭園美術館

9-4
ギャラリー
東京都庭園美術館

9-5
食堂
東京都庭園美術館

9-6
サロン
東京都庭園美術館

9-7
浴室
東京都庭園美術館

9-8
寝室
東京都庭園美術館

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

9-9
パーゴラ
東京都庭園美術館

9-10
庭園
東京都庭園美術館

10
アンリ・ラパン
東京の朝香宮邸の大広間（「現代の照明」『イリュストラシオン：モダンインテリア特集』1933年5月号）
1933年5月
印刷、紙
東京都庭園美術館

11
「1932年サロン・ドートンヌ」『ラ・コンストラクシオン・モデルヌ（現代建築）13号』
1932年12月
印刷、紙
h31.5 × w24.2cm
東京都庭園美術館

11-1
アンリ・ラパン
シエジェ・プリンス邸の模型［朝香宮邸大広間］
東京都庭園美術館

11-2
アンリ・ラパン、マックス・アングラン
シエジェ・プリンス邸の模型［朝香宮邸大客室］
東京都庭園美術館

11-3
アンリ・ラパン、マックス・アングラン
シエジェ・プリンス邸の模型［朝香宮邸大食堂］
東京都庭園美術館

12
「サロン・ドートンヌの建築」『ラルシテクチュール・ドージュルデュイ（今日の建築）9号』
1932年12月
印刷、紙
h32.0 × w25.0cm
東京都庭園美術館

13
アンリ・ラパン
A・プリンス邸の模型（「1932年サロン・ドートンヌにおける建築と家具」『ラルシテクチュール（建築）12号』）
1932年12月
印刷、紙
h31.5 × w24.0cm
東京都庭園美術館

14
模型製作：模型工房「さいとう」
朝香宮邸部分模型（一階御殿廻り）
2023年
h17.0 × w100.0 × d70.0cm
東京都庭園美術館

15
ジョルジュ・バルビエ
ポスター「第9回装飾美術家協会サロン」
1913年
リトグラフ、紙
h118.0 × w88.5cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

16
ジャン・デュパ
ポスター「第15回装飾美術家協会サロン」
1924年
リトグラフ、紙
h58.5 × w39.0cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

参考図版
ルネ・ラリック
扉（正面玄関）
1933年

17
ルネ・ラリック
装飾パネル（正面玄関）
1933年
型押しガラス、パチネ
h78.8 x w26.8cm
東京都庭園美術館

18
ルネ・ラリック
花瓶《オラン》
1927年
オパルセント・ガラス、プレス成形、艶消し
h26 x ϕ27cm
東京都庭園美術館

19
ルネ・ラリック
平鉢《金魚》
1921年
オパルセントガラス、プレス成形
ϕ41cm
東京都庭園美術館

20
ルネ・ラリック
電灯式燭台《三つ枝のロワトレ》
1931年
透明ガラス、プレス成形、型吹き成形、サチネ、電球
h27.5cm
東京都庭園美術館

21
ルネ・ラリック
花瓶《フォルモーズ（台湾）》
1924年
型吹きガラス、パチネ
h18cm
東京都庭園美術館

22
ルネ・ラリック
クリーム・ケース《スカラベ》
1911年
型吹きガラス、パチネ
ϕ9cm
東京都庭園美術館

23
ルネ・ラリック
カーマスコット《勝利の女神》
1928年
透明ガラス、プレス成形、サチネ、金属付属
h16 × w26.5cm
東京都庭園美術館

24
ルネ・ラリック
電動式置時計《野バラ》
1926年
ガラス、プレス成形、サチネ、パチネ
h12.0 × w11.6 × d10.5cm
東京都庭園美術館

25
編：モーリス・デュフレーヌ
『アンサンブル・モビリエ 2巻』
1925年
印刷、紙
h45.0 × w32.5cm
東京都庭園美術館

25-1
ルネ・ラリック
プレート11　食堂
東京都庭園美術館

25-2
ルネ・ラリック
プレート12　食堂
東京都庭園美術館

26
レイモン・シュブ
サイドボード
1920-30年代
鍛鉄、縞瑪瑙（オニキス）、ガラス
h105 × w235 × d53cm
東京都庭園美術館

27
レイモン・シュブ
肘掛け椅子
1920-30年代
鍛鉄、布張り（修復）
h100.0 × w57cm × d43cm
東京都庭園美術館

28
レイモン・シュブ
椅子
1920-30年代
鍛鉄、布張り（修復）
h100.0 × w54cm × d43cm
東京都庭園美術館

29
レイモン・シュブ
テーブル・ランプ
1922年頃
鍛鉄、布張り
h72.0 × ϕ35.0cm
東京都庭園美術館

30
レイモン・シュブ
プレート13『モダンな装飾の中の鍛鉄』
1925年
印刷、紙
h32.4 × w45.0cm
東京都庭園美術館

参考図版
レイモン・シュブ
タンパン（大客室）
1933年
鉄

31
編：アンリ・クルゾ
『ラ・フェロンリ・モデルヌ（現代の鉄工芸）3巻』
1930年
印刷、紙
h45.7 × w33.0cm
東京都庭園美術館

31-1
レイモン・シュブ
プレート11
東京都庭園美術館

31-2
レイモン・シュブ
プレート14
東京都庭園美術館

32
編：アンリ・クルゾ
『ラ・フェロンリ・モデルヌ（現代の鉄工芸）4巻』
1931年
印刷、紙
h45.7 × w33.0cm

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

32-1
レイモン・シュブ
プレート6

32-2
レイモン・シュブ
プレート26

33
表紙絵：マックスとポール・アングラン
『アール・エ・アンデュストリ（芸術と産業）』
1933年
印刷、紙
h32 × w24cm
東京都庭園美術館

33-1
「ネメアの獅子」1月号
東京都庭園美術館

33-2
「レルネのヒュドラ」2月号
東京都庭園美術館

33-3
「エリュマントスの猪」3月号
東京都庭園美術館

33-4
「ステュムパリデスの鳥」4月号
東京都庭園美術館

33-5
「鉄の足を持つ鹿」5月号
東京都庭園美術館

33-6
「クレタの牡牛」6月号
東京都庭園美術館

33-7
「トラキア王ディオメデスの戦い」7月号
東京都庭園美術館

33-8
「ヘラクレス、アマゾンを倒す」8月号
東京都庭園美術館

33-9
「アウゲイアスの家畜小屋とゲリュオンの死」9・10月号
東京都庭園美術館

33-10
「ヘスペリデスの庭」11月号
東京都庭園美術館

33-11
「冥府からテセウスを連れ帰すヘラクレス」12月号
東京都庭園美術館

参考図版
マックス・アングラン
エッチング・ガラス（大客室）
1933年
エッチングガラス

参考図版
マックス・アングラン
エッチング・ガラス（大食堂）
1933年
エッチングガラス

34
「アンリ・ラパン」『アール・エ・プログレ（芸術と進歩）』
1936年3-4月
印刷、紙
h27.0 × w21.0cm
東京都庭園美術館

35
アンリ・ラパン
机、肘掛け椅子、絨毯（書斎）
1933年
書斎机：木、ガラス／肘掛け椅子：木、革、布／
絨毯：ファブリック
書斎机：h74.2 × w150.0 × d68.0cm／肘掛け椅子：
h83.5 × w53.0 × d53.0cm／絨毯：ϕ290cm
東京都庭園美術館

36
ピエール・シャロー
「書斎」『フランス大使館パヴィリオン』
1925年
h34 × w26cm
東京都庭園美術館

36-1
プレート37
印刷、紙
東京都庭園美術館

36-2
プレート38
ポショワール、紙
東京都庭園美術館

37
松井写真館
朝香宮邸竣工写真　殿下居間
1933年頃
印刷、紙
h10.0 × w14.8cm
東京都庭園美術館

38
エドゥアール・ベネディクトゥス
テキスタイル「メトロポリス」
1933年
ジャガード織、麻、綿、レーヨン
h206 × w60cm
東京都庭園美術館

39
ルネ・シャパンス
「現代フランスの装飾」『レゼコー・ダール 56号』
1930年3月
印刷、紙
h34 x w25.5cm
東京都庭園美術館

40
エドゥアール・ベネディクトゥス
『ルレ』
1930年
ポショワール、紙
h48.4 × w39.3 × d2cm
東京都庭園美術館

41
エドゥアール・ベネディクトゥス
『ヌーヴェル・ヴァリアシオン』
1920年代後半
ポショワール、紙
h48.8 × w38 × d1.6cm
東京都庭園美術館

42
アンリ・ラパン
休息部屋（「現代の照明」『イリュストラシオン』
1933年5月号）
1933年5月
印刷、紙
島田安彦コレクションアーカイブ

参考図版
肘掛け椅子（殿下居間／復刻品）
2015年
木、布張り
東京都庭園美術館

■2章：朝香宮邸の庭

1
朝香宮滞欧アルバム
1922-25年
ゼラチン・シルバー・プリント
h18.0 × w27.0 × d5.5cm
東京都庭園美術館

2
イヴァン＝レオン＝アレクサンドル・ブランショ
朝香宮鳩彦王妃允子像
1925年
ブロンズ
h32.6 × w25.8 × d14.8cm
東京都庭園美術館

3
朝香宮鳩彦王妃允子
アイリス
1924年
水彩、紙
h49.0 × w32.0cm
東京都庭園美術館

4
バンスラン
ブレスレット
1924年
ダイヤモンド、プラチナ
w2.6 × l18.6 × d0.5cm
東京都庭園美術館

5
製造：スコット・アンド・カンパニー
シルクハット
1920年代
毛皮、絹、皮革
東京都庭園美術館

6
製造：エルメス
短鞭
1920-30年代
鹿の角、革、銀
h15.0 × w50.0 × ϕ2.5cm
東京都庭園美術館

7-1
フィルム「地鎮祭および大樹移植」
1931年
フィルム
h2.0 × ϕ10.0cm

7-2
記録映像「地鎮祭および大樹移植」
1931年
デジタルデータ
東京都庭園美術館

8-1
松井写真館
朝香宮邸竣工写真　庭園
1933年頃
デジタルデータ
宮内庁宮内公文書館

8-2

8-3

8-4

8-5

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

8-2
松井写真館
朝香宮邸竣工写真　正門、外観
1933年頃
印刷、紙
h11.3 × w15.5cm
東京都庭園美術館

9
朝香宮邸時代の記録映像
1930年代か
デジタルデータ
個人蔵

10
墩（とん）
1933年頃
陶磁器
h41.0 × ϕ35.0cm
東京都庭園美術館

参考図版
朝香宮邸　敷地図面（昭和8〜24年）

参考図版
北の間（現在）

11
松井写真館
朝香宮邸竣工写真　北の間
1933年頃
印刷、紙
h11.3 × w15.5cm
東京都庭園美術館

12
編：建築學會、日独文化協会
『新興独逸建築工芸展覧会記念寫眞帖』
1932年
写真
h18.0 × w25.0cm
日本建築学会図書館

13
編：松坂屋
『新興独逸建築工芸』
1932年
印刷、紙
h29.0 × w29.0cm
東京藝術大学附属図書館

14
編：建築學會、日独文化協会
『新興独逸建築工芸展覧会記録』
1932年
印刷、紙
h26.4 × w19.0cm
日本建築学会図書館

15
松井写真館
朝香宮邸竣工写真　ウインターガーデン
1933年頃
印刷、紙
h11.3 × w15.5cm
東京都庭園美術館

参考図版
ウインターガーデン（現在）

■3章：フランス、アール・デコの庭

参考図版
セーヴル製陶所館　前庭
1925年
デジタルデータ
アルベール＝カーン美術館

1
器形デザイン：アンリ・ラパン、製造：セーヴル製陶所
蓋付壺　ラパンNo.21
デザイン：1925年頃
磁器
each h50cm
東京都庭園美術館

2
ルネ・ラリック
立像《噴水の泉　ガラテ》
1924年頃
プレス成形透明ガラス、部分的に艶消し加工、木製台
h56.5cm
大村美術館（秋田・角館）

3
ルネ・ラリック
立像《噴水の泉　カリプソ》
1924年頃
プレス成形透明ガラス、部分的に艶消し加工、木製台
h76.0cm
大村美術館（秋田・角館）

4
ルネ・ラリック
立像《噴水の泉　ダフネ》
1924年頃
プレス成形透明ガラス、部分的に艶消し加工、灰色パティネ、木製台
h76.3cm
大村美術館（秋田・角館）

5
ルネ・ラリック
立像《噴水の泉　テルフューズ》
1924年頃
プレス成形透明ガラス、部分的に艶消し加工、茶色パティネ、木製台
h53cm
大村美術館（秋田・角館）

6
ルネ・ラリック
ドアパネル《ガラス職人》
1925年
プレス成形透明ガラス、艶消し加工
h33 × w36.5cm
大村美術館（秋田・角館）

7
郵政電信通信省
『現代装飾美術・産業美術国際博覧会　公式カタログ』
1925年
印刷、紙
h27.3 x w22.0cm
東京都庭園美術館

8
現代装飾美術・産業美術国際博覧会　会場配置図
1925年
印刷、紙
h45 × w56cm
東京都庭園美術館

9
編：ポール・レオンほか
『現代装飾美術・産業美術国際博覧会　公式報告書』
1925年
印刷、紙
h29.0 × w23.0cm
東京都庭園美術館

10
ピエール・トゥラン
現代装飾美術・産業美術国際博覧会　メダル
1925年
鋳金（銅合金）
h6.0 x w6.0cm
東京都庭園美術館

11
シャルル・ルーポ
ポスター「現代装飾美術・産業美術国際博覧会」
1925年
リトグラフ、紙
h60.8 × w40.3cm
東京都庭園美術館

12
アントワーヌ・ブールデル
ポスター「現代装飾美術・産業美術国際博覧会」
1925年
リトグラフ、紙
h40.5 × w60.0cm
東京都庭園美術館

13
編：フェルナン・ダヴィッドほか
『1924年近代装飾芸術年鑑』
1924年
印刷、紙
h22.5 × w25.5cm
東京都庭園美術館

14
絵葉書「現代装飾美術・産業美術国際博覧会」
1925年頃
印刷、紙
h10.0 × w14.8cm
東京都庭園美術館

15
編：ミッシェル・ルウ＝スピッツ
『1925年パリ装飾美術博覧会：建築と庭園』
1925年
印刷、紙
h33.0 × w26.5cm
東京都庭園美術館/東京藝術大学附属図書館

15-1
設計：マルク・デュクリュゾー、装飾：ルネ・ラリック
プレート73　ラリックの噴水

15-2
シャルル・プリュメ
プレート11　技能館の中庭

15-3
設計：ピエール・パトゥ、装飾：アンリ・ラパン
プレート27　セーヴル製陶所館

15-4
ロジェ・ブヴァール
プレート32　パリ市館の中庭

15-5
ピエール・パトゥ
プレート44　コレクター館の前庭

15-6
ガブリエル・ゲヴレキアン
プレート74　庭園と噴水

15-7
アンリ・パコン
プレート75　庭園と噴水

15-8
設計：ロベール・マレ＝ステヴァンス、オブジェ：マルテル兄弟
プレート76　庭園

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

15-9
アルベール・ラプラド
プレート77　睡蓮の泉

15-10
ジャック・ランベール
プレート78　駅の庭

15-11
アルベール・ラプラド
プレート79　小鳥の庭園

15-12
ジョゼフ・マラスト
プレート81　庭園

15-13
ル・コルビュジエ、ピエール・ジャンヌレ
プレート62　エスプリ・ヌーヴォー館　外構

15-14
設計：ピエール・パトゥ、装飾：アンリ・ラパン
プレート29　セーヴル製陶所館

16
編：ジョゼフ・マラスト
『1925年 庭園』
1926年
ポショワール、紙
h24.8 × w32.3cm
東京都庭園美術館

16-1
アンリ・ラパン
プレート34　セーヴル製陶所館　前庭

16-2
ガブリエル・ゲヴレキアン
プレート15　水と光の庭園

16-3
アルベール・ラプラド
プレート5　2つのパルテール（刺繍花壇）

17
器形デザイン：フェリック・オベール、絵付：レオン＝シャルル・ペルシェ、製造：セーヴル製陶所
花瓶　オベールNo.4
1923年
磁器
h22.5 x w22.0cm
東京都庭園美術館

18
器形デザイン：フェリック・オベール、絵付：ロジェ・シヴォー、製造：セーヴル製陶所
花瓶　オベールNo.8
1927年
磁器
h21.5 x w16.5cm
東京都庭園美術館

19
装飾デザイン：アドリアン＝オーギュスト・ルデュク、製造：セーヴル製陶所
皿《牡鹿》
デザイン：1931年、製造：1934年
磁器
ø46.0cm
東京都庭園美術館

20
絵付：アンヌ＝マリー・フォンテーヌ、製造：セーヴル製陶所
コーヒー・セット
1921年
磁器
plate：h1.7 × w32.5 × d29.6cm
東京都庭園美術館

21
ジャン・デュパ
パリスの審判
1923年
油彩、カンヴァス
h100 x w110cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

22
ジャン・デュパ、アンドレ・マイヤール
エウロペの略奪
1931
版画
h60 x w85㎝
×△○ BA-TSU ART GALLERY

23
マックス・アングラン
四季
1920-30年代
油彩、カンヴァス
h246.5 × w427cm
東京都庭園美術館

24
ジャン・マヨドン
花瓶
1940年頃
磁器、エナメル絵付
h30 × w20cm
東京都庭園美術館

25
ジャン・デュパ
射手
1931年
インク、パステル、紙
h95 × w53cm
東京都庭園美術館

26
ポール・ポワレ
デイ・ドレス
1910年頃
絹サテン、チェーンステッチ刺繍
東京都庭園美術館

27
ライティングビューロー
1930年代
漆、木
h141.0 x w87.0 x d35.0cm
東京都庭園美術館

28
テーブル
1930年代
漆、木
h69.0 × w69.0 × d50.0cm
東京都庭園美術館

29
器形デザイン：アンヌ＝マリー・フォンテーヌ、製造：セーヴル製陶所
花瓶　アンヌ＝マリー・フォンテーヌNo.2
1933年頃
磁器
h27.5 × ϕ15.0cm
ロムドシン

30
フランソワ＝エミール・デコルシュモン
杯
1925年頃
ガラス（パート・ド・ヴェール）
h8.5 × ϕ15.5cm
個人蔵

31
ヴィクトル・デムール
ポスター「1931年国際植民地博覧会」
1931年
リトグラフ、紙
h110.3 × w75.9cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

32
『イリュストラシオン：植民地博覧会特集号』
1931年
印刷、紙
h36 × w28cm
東京都庭園美術館

33
文：アンドレ・ドメゾーン、絵：ピエール・コンマルモン
『1931年国際植民地博覧会：デラックス版公式ガイド』
1931年
印刷、紙
h20.2 × w20.5cm
明治学院大学図書館

34
写真：モーリス・クロシェ
『植民地博覧会60の側面』
1931年
印刷、紙
h31.0 × w24.5cm
明治学院大学図書館

34-1
プレート21　アンコール寺院

35
序文：ジョゼフ・トゥリラー
『パリ植民地博覧会』
1931年か
印刷、紙
h32.5 × w24.9cm
明治学院大学図書館

35-1
公式地図
h51.0 × w80.0cm

35-2
プレート21　グアドループ

35-3
プレート26　仏領西アフリカ、ジェンネ通り

35-4
プレート40　チュニジア、公式パヴィリオンの中庭

35-5
プレート42　モロッコ

35-6
プレート44　シリアとレバノン

35-7
プレート45　ベルギー領コンゴ

35-8
プレート53　植民地博物館

35-9
プレート54　噴水のイルミネーション

36
アレクサンドル・ヤコブレフ
『アフリカのデッサンと絵画集』
1927年
印刷、紙、絹、スエード
h38.0 × w27.5cm
東京都庭園美術館

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

37
ジャン・デュパ
ロンドン旅客輸送局ポスターのためのイラスト
1933年
リトグラフ、紙
h74 × w54cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

38
ジャン・デュパ
ロンドン旅客輸送局ポスター
「“一般”バスでお出かけください」
1933年
リトグラフ、紙
h100 × w61cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

39
ジャン・デュパ
ロンドン旅客輸送局ポスター「“グリーンライン”客車で快適な一日を」
1933年
リトグラフ、紙
h100 × w61cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

40
ジャン・デュパ
ロンドン旅客輸送局ポスターのためのイラスト
1933年
リトグラフ、紙
h74 × w54cm
×△○ BA-TSU ART GALLERYV

41
レイモン・シャルメゾン
『貴重な庭園』
1919年
ポショワール、紙
h47.5 × w33.5cm
東京都庭園美術館

41-1
大壺

41-2
赤の小径

41-3
イチイ

41-4
アーケード

41-5
緑の部屋

41-6
アトリウム

41-7
クマシデの並木道

41-8
薔薇の格子垣

42
ジョルジュ・バルビエ
「イヌサフラン　バキャンのトラベルコート」『ガゼット・デュ・ボン・トン』1914年1号
1914年
ポショワール、紙
h24.8 × w19.2cm
大村美術館（秋田・角館）

43
ジョルジュ・バルビエ
「薔薇の庭　ウォルトのイヴニング・ドレス」『ガゼット・デュ・ボン・トン』1922年3号
1922年
ポショワール、紙
h24.8 × w19.2cm
大村美術館（秋田・角館）

44
ジョルジュ・バルビエ
「ダンサーと噴水　ウォルトのダンス・ドレス」『ガゼット・デュ・ボン・トン』8号

Gazette du Bon Ton
1924-25”
ポショワール、紙
東京都庭園美術館

45
ジョルジュ・バルビエ
「愛と喜びとオルガン　ポール・ポワレのイヴニング・ドレスとコート」『ガゼット・デュ・ボン・トン』8号

Gazette du Bon Ton
1924-25”
ポショワール、紙
東京都庭園美術館

46
ジャン・デュパ
ポスター「春のファッションが登場！」
1929年
リトグラフ、紙
h118 × w83cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

47
ジャン・デュパ
百貨店アーノルド・コンスタブルのためのポスター「昨日のモードを記念する、今日のモードを提示する、明日のモードを予測する」
1928年
リトグラフ、紙
h120 × w79cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

48
アンドレ・ヴェラ
『庭園』
1919年
印刷、紙
h33 × w25cm
東京都庭園美術館

49
『ジャルダン・エ・コテージ（庭園と小家屋）』
1926-27年
印刷、紙
h31.8 × w24.5cm
東京都庭園美術館

50
『アール・エ・アンデュストリ（芸術と産業）』
1928年4月
印刷、紙
h31.5 × w24.6cm
島田安彦コレクションアーカイブ

51
『イリュストラシオン：庭園特集号』
1932年5月
印刷、紙
h38.1 × w29.0cm
東京都庭園美術館

52
『ラルシテクチュール・ドージュルデュイ（今日の建築）：庭園特集号』
1937年4月
印刷、紙
h32.0 × w24.5cm
東京都庭園美術館

53
編：アンドレ・リュルサ
『テラスと庭園（今日の国際芸術 4巻）』
印刷、紙
h32.5 × w25.2cm
千葉大学附属図書館

53-1
ガブリエル・ゲヴレキアン
プレート9　イェール、ノアイユ邸の庭

53-2
設計：ロベール・マレ=ステヴァンス、噴水：マルテル兄弟
プレート36　温室

53-3
ロベール・マレ=ステヴァンス
プレート33　噴水のイルミネーション

53-4
アンドレ・ヴェラ
プレート46　パリのN邸の庭園

53-5
ル・コルビュジエ、ジャンヌレ
プレート47　ヴィル・ダヴレイのテラスとガーデンテラス

53-6
ラウル・デュフィ
プレート50　箱庭

54
レオネット・カッピエロ
ポスター「1937年パリ国際博覧会」
1937年
×△○ BA-TSU ART GALLERY

55
ジャン・カルリュ
ポスター「1937年パリ国際博覧会」
1937年
×△○ BA-TSU ART GALLERY

56
『イリュストラシオン：1937年博覧会特集号』
1937年
印刷、紙
h36 × w28cm
東京都庭園美術館

57
編：E=L・ミシェル
『現代生活における芸術と技術の国際博覧会イラストガイドブック』
1937年
印刷、紙
h35.0 × w53.7cm
東京都庭園美術館

58
傘：ドーム兄弟、スタンド：ルイ・カトナ
テーブル・ランプ
1925年頃
ガラス、鍛鉄
h37 × ϕ14cm
個人蔵

装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

59
ジャン・リュス
花瓶
スモークガラス、酸化腐食彫り、金彩
h15.0cm
東京都庭園美術館

60
製造：クリストフル社、デザイン：リュック・ラネル
幾何学文花瓶
1925年頃
真鍮、銀メッキ
h25 × ϕ10cm
東京都庭園美術館

61
編：ジャック・グレベール、1937年国際博覧会
『ジャルダン・モデルヌ（現代庭園）』
1937年
印刷、紙
h32.0 × w26.7cm
東京藝術大学附属図書館

61-1
建築：ピエール・パトゥ、鳥籠：レイモン・シュブ、絵画：レイモン・シャルメゾン
プレート11　温室

61-2
ランバート、ベルトラン=アルヌー
プレート34　フラワー・ショー

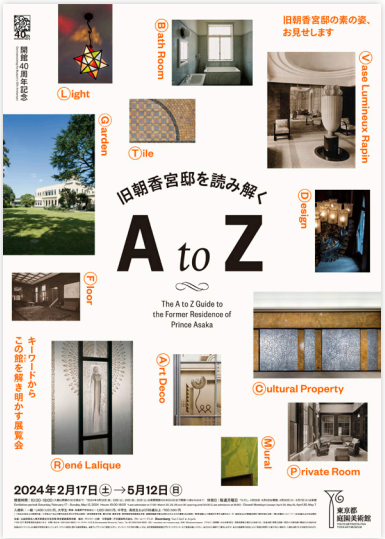
61-3
ランバート、ベルトラン=アルヌー
プレート29　フラワー・ショー

61-4
A.ジャソン
プレート38　植物学

62
ジャン・デュパ
ポスター「ボルドー」
1937年
リトグラフ、紙
h99 × w61cm
×△○ BA-TSU ART GALLERY

開館40周年記念
旧朝香宮邸を読み解くA to Z

Commemorating the Museum's 40th Anniversary
The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka



会期	2024年2月17日(土)～5月12日(日)[74日間] 2023年度:2024年2月17日(土)～3月31日(日)[38日間]
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
協力	ギャラリー小柳
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P.、Van Cleef & Arpels
担当	吉田奈緒子、森千花
観覧料	一般1,400円／ 大学生(専修・各種専門学校含む)1,120円／ 中学生・高校生700円／65歳以上700円／ 小学生以下無料
出品点数	現代作家の作品9点 その他、朝香宮邸及び朝香宮家関連資料を展示
広報印刷物	ポスター(B1、B2)チラシ(A4)
デザイン	株式会社ライブアートブックス　芝野健太
来館者数	24,206人(一日平均637人)

概要:

開館40周年を記念する展覧会として開催した、旧朝香宮邸を建築・歴史・室内装飾・エピソード等、さまざまな角度から丁寧に読み解く企画。

アルファベットのAからZの頭文字で26個のキーワードを各室に設定し、それぞれの見どころや着眼点、注目すべきポイントを造作の展示台やその上に設置したカードを使って解説した。キーワードの解説カードは手に取って持ち帰ることが可能で、散りばめられたキーワードを辿りながら館内をめぐり、旧朝香宮邸のエッセンスを自宅でも追憶できるよう考えた。建築や室内空間との対話を重要な機会と捉え、壁面にパネルを掲示しない、初公開の箇所を含むオリジナルの寄木床を公開する等、可能な限り建物を素の状態で見せることに努め、重要文化財かつ美術館として活用している現状への理解を求めた。また、陶作品を群で見せる伊藤公象(1932-)と、木彫刻を思いがけない場所に設置する須田悦弘(1969-)をゲストアーティストに迎え、館内及び庭園で展開した現代作家の作品を通して視点を誘導し、旧朝香宮邸の新たな見え方を探った。

新館では、キーワードを記した立体マップを設けて振り返るとともにおさらいと位置付け、旧朝香宮邸誕生の背景にある要素を朝香宮家資料、宮邸時代の建具や資材等のパーツ展示によって紹介した。

展示構成:

Aアイーダとカルメン(Aida and Carmen)／B水のせせらぎ(Babbling of Water)／Cつめたい床(Chilled Floor)／D愛着と目利き(Deep Attachments and Good Eyes)／E食べられそうな(Eat with Your Eyes)／Fフランスと日本(France and Japan)／G詩を飾る(Graced with Poems)／H空気の色(Hue in the Air)／I噴水に憩う(Invited inside a Fountain)／J日本の木、異国の木(Japanese Lumber, Exotic Lumber)／K花との暮らし(Kinship with Flowers)／L生きものたち(Living Creatures)／Mマントルピース(Mantelpiece)／N允子妃殿下(Nobuko, Prince Asaka's Princess)／O一点ものの(One of a Kind)／P香る噴水(Perfumed Fountain)／Q4人の作家(Quadruple Creativity)／R回転する机(Rotating Desk)／Sサチネ(Satine)／Tテッコー(TEKKO)／U空間のリズム(Uneven Harmony)／Vいくつものピンク(Varieties of Pink)／W天然の文様(Wild Pattern)／X謎(X)／Y二人のための(Yours and Mine)／Z美学を纏う(Zeal for Dressing Up)／新館　さいごにおさらい　朝香宮家の家づくり

Commemorating the Museum's 40th Anniversary
The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka

Date: Saturday, February 17 - Sunday, May 12, 2024 (74 days)
Organized by: Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture, Tokyo Metropolitan Teien Art Museum
With cooperation from: Gallery Koyanagi
With the annual co-sponsorship of: Toda Corporation, Bloomberg L.P., Van Cleef & Arpels
Curators: Naoko Yoshida, Chika Mori
Admission fee: Online reservation is recommended for the exhibition. Adults ¥1,400 (¥1,120) / University students ¥1,120 (¥890) / Middle & high school students ¥700 (¥560) / 65 and above ¥700 (¥560)
Number of items exhibited: 9 items (Guest Artists)
Public relations materials Posters (B1, B2) Flyers (A4)
Number of visitors: 24,206 (average 637 per day)

The former residence of Prince Asaka: This building, completed in 1933, has served as the main building of the Tokyo Metropolitan Teien Art Museum since its opening in 1983, welcoming a great many visitors over the years.
To commemorate the museum's fortieth anniversary, we are holding an exhibition that analyzes and interprets anew the former residence of Prince Asaka. The architectural techniques, the people who were engaged in its construction, the interior designs and materials, anecdotes about the residence—we invite you to collect the keywords, from A to Z, scattered over the former residence and, through those many discoveries, deepen your understanding of its historical and art historical significance.
We are daring to present the former Prince Asaka residence in its original state, as much as possible. Whether you've visited our museum before or not, we hope you will enjoy this opportunity to become better acquainted with it.

Exhibition composition:
A Aida and Carmen / B Babbling of Water / C Chilled Floor / D Deep Attachments and Good Eyes / E Eat with Your Eyes / F France and Japan / G Graced with Poems / H Hue in the Air / I Invited inside a Fountain / J Japanese Lumber ,Exotic Lumber / K Kinship with Flowers / L Living Creatures / M Mantelpiece / N Nobuko ,Prince Asaka's Princess / O One of a Kind / P Perfumed Fountain / Q Quadruple Creativity / R Rotating Desk / S Satine / T TEKKO / U Uneven Harmony / V Varieties of Pink / W Wild Pattern / X X / Y Yours and Mine / Z Zeel for Dressing Up / Annex How did the Prince Asaka Family approach the creation of their home?

開館40周年記念　旧朝香宮邸を読み解くA to Z

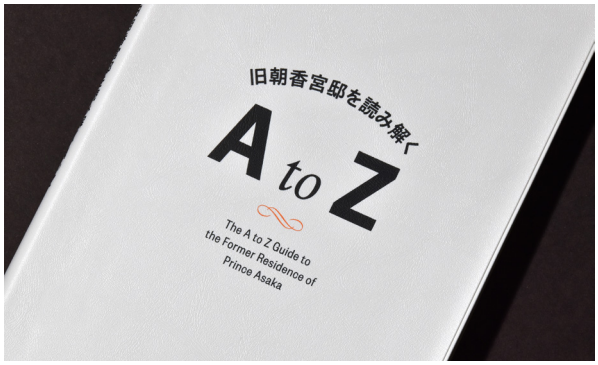
Commemorating the Museum's 40th Anniversary　The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka

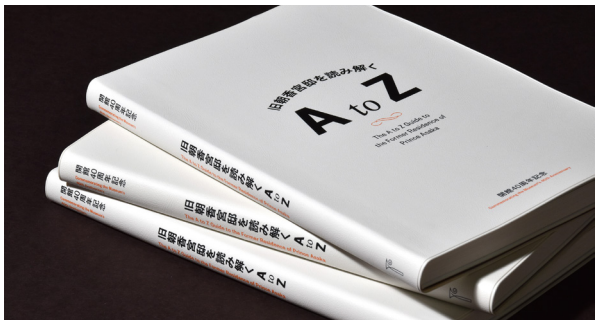
展覧会カタログ

書名:『旧朝香宮邸を読み解くA to Z』

執筆:吉田奈緒子「旧朝香宮邸の素の姿とは何か」、
田村麗恵(アーツカウンシル東京)「もっと、ずっと、旧朝香宮邸を楽しむために」

編集　吉田奈緒子、森千花
アートディレクション・デザイン
　株式会社ライブアートブックス 芝野健太
印刷・製本　株式会社アイワード
発行数　2,900部
発行日　2024年2月17日
販売価格　2,200円(税込)

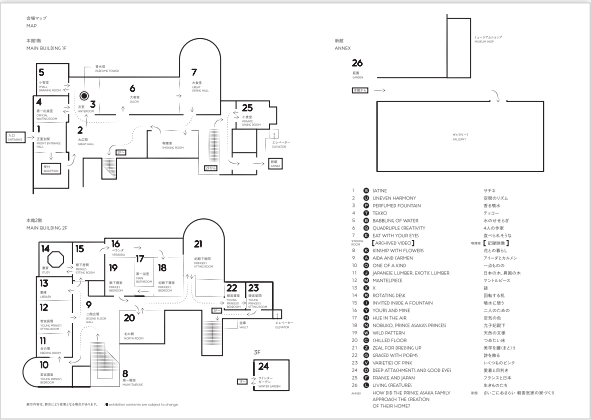




その他印刷物

作品リスト／会場案内図

版型・ページ数　A3(両面)
デザイン　株式会社日本デザインセンター 山口萌子
印刷　株式会社山田写真製版所



開館40周年記念　旧朝香宮邸を読み解くA to Z

Commemorating the Museum's 40th Anniversary　The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka

タイトル	「A to Z キーワードカード」
版型・ページ数	178mm×148mm（表紙、英語解説含む40種類）
解説	吉田奈緒子
デザイン	株式会社日本デザインセンター 山口萌子
印刷	株式会社山田写真製版所

主要関連記事

TBSラジオ『こねくと』「月曜から遊びバナシ」2024年2月26日（月）

『東京人2024年4月号』「朝香宮夫妻の理想が詰まったアール・デコの館」 2024年3月1日（金）（担当学芸員インタビュー）

J-WAVE『ACROSS THE SKY』 2024年3月3日（日）放送（担当学芸員出演）

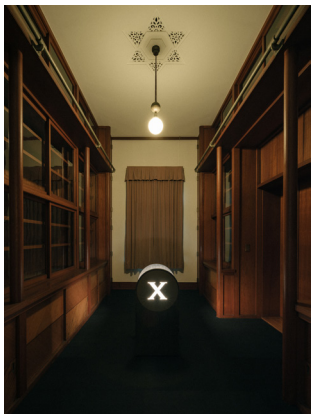
朝日新聞夕刊「アール・デコ瀟洒な旧邸宅を読み解く」 2024年3月19日（火）

BAILA「週末アートのトビラ」 2024年3月28日（木）
https://baila.hpplus.jp/lifestyle/trip/62487/6

開館40周年記念　旧朝香宮邸を読み解くA to Z

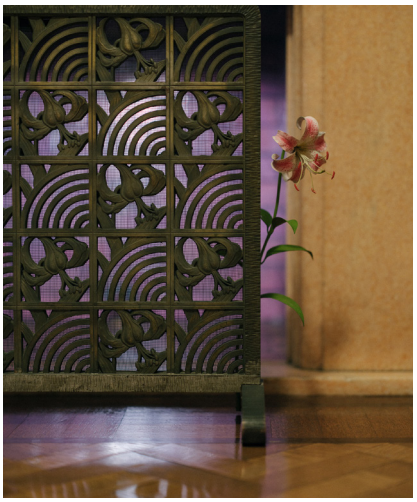
Commemorating the Museum's 40th Anniversary　The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka

会場風景



開館40周年記念　旧朝香宮邸を読み解くA to Z

Commemorating the Museum's 40th Anniversary　The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka



撮影：黒目写真館

開館40周年記念　旧朝香宮邸を読み解くA to Z
Commemorating the Museum's 40th Anniversary　The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka

関連事業

ギャラリートーク「築90年・旧朝香宮邸　修理のA to Z」

竣工から90年を迎えた旧朝香宮邸は、美術館として活用している40年の間に確認できるだけでも大小約80件の修理を行っている。修理の目的や内容は、より一層の公開活用を目的としたものや、今後も良い状態で保存していくための維持管理を目的としたもの等さまざまである。このトークでは、両方の事例を紹介し重要文化財を保存しながら美術館として活用していくことの意義やエピソード等を説明する。

日時	①2024年3月7日（木） 「ウェルカムルームの照明修理と 復した擬宝珠について」 ②2024年3月21日（木） 「小客室の用途変遷と壁画の修理、 建物を保存しながら活用することについて」 ＊各日とも11:00～（40分程度）
場所	本館ウェルカムルーム、小客室、大客室
講師	髙橋さおり
対象	一般
定員	各回10名程度
参加者数	①26人 ②19人
参加費	無料（入場料別途）
申込方法	当日受付、先着順

開館40周年記念　旧朝香宮邸を読み解くA to Z
Commemorating the Museum's 40th Anniversary　The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka

作品リスト

■伊藤公象　Kosho Ito

「土の襞」―白い光景―
2006年
陶土
作家蔵

「ブルーパールの襞」―碧いそらへ空から―
2006年
陶土
作家蔵

シリーズ「多軟面体」―庭園の森の風景―
2024年
陶土
作家蔵

■須田悦弘　Yoshihiro Suda

野菊
2024年
木に彩色
作家蔵

椿
2024年
木に彩色
作家蔵

雑草
2024年
木に彩色
作家蔵

ユリ
2024年
木に彩色
作家蔵

葉
2024年
木に彩色
作家蔵

コヒルガオ
2024年
木に彩色
作家蔵

※ゲストアーティストの作品のみ掲載

普及事業

美術館講座 2023

第1回
「庭園とは何か―ヨーロッパを中心に」

第1回は、シュルレアリスムの第一人者であると同時に世界各国を旅行し、先々で数百もの庭園に実際に足を運んだという巖谷國士氏による講座。自ら撮影した写真をもとに、ヨーロッパを中心とする庭園の成り立ちや歴史をなぞりつつ、「人間にとって庭園とは何か」との命題に深く切り込むスケール感のある講演であった。

日時	2023年12月8日(金)18:30〜20:00
場所	新館ギャラリー2
講師	巖谷國士(明治学院大学名誉教授)
参加者数	76人
参加費	無料
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

第2回
「発信する美術館―美術館が社会にもたらすもの―」

三浦篤氏は、東京大学で30年間美術教育に携わってきた。西洋美術に関してほとんど基礎知識のない学生を相手に、教養としての美術の伝え方に工夫を重ねたこと、また美術教育とともに、美術館における数々の展覧会の監修や学術協力を行ってきたこと、そして大原美術館の館長に就任した現在、これまでの教育や展覧会の経験を土台に、大原美術館の伝統を踏まえつつ、総合美術館・研究美術館としてより発信と交流を活性化させる新たな方向性を打ち出していることなどを講演した。

日時	2024年2月23日(金・祝)18:30〜20:00
場所	新館ギャラリー2
講師	三浦篤(大原美術館館長)
参加者数	70人
参加費	無料
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

第3回
「世界でもっとも〈幸せな美術館〉」

建築家の目線で、博覧会から第1世代、第2世代の美術館、ホワイトキューブの展示室、サイトスペシフィックな空間など、美術館の建築や空間構成の変遷や多様性を紹介したあと、ご自身が現在世界でもっとも幸せな美術館だと思うデンマークのルイジアナ美術館を紹介。作品鑑賞だけでなく、話をしたり食事をしたり、みんながそこで楽しく一日を過ごすことが幸せであるとし、美術館の在り方について思いを語った。

日時　2024年3月1日(金)18:30〜20:00
場所　新館ギャラリー2
講師　青木淳
(東京藝術大学建築科教授、京都市美術館館長)
参加者数　88人
参加費　無料
申込方法　館ウェブサイトの申し込みフォームにて
事前申込制

第4回
「東京都庭園美術館の記憶　始まり、歴史、そして未来を語る」

高波氏、岡部氏は学芸員として当館の開館に携わった。美術館誕生の秘話や最初期の展覧会の苦労話、その後の発展、思い出の展覧会、存続の危機からの起死回生の展覧会など、美術館の始まりと歴史について、当事者でしか知りえない、体験できないことが話された。そして二人とともに歩んできた現・副館長の牟田を交え、現在そして未来の庭園美術館の方向性について話が及んだ。

日時　2024年3月15日(金)18:30〜20:00
場所　新館ギャラリー2
講師　高波眞知子(前渋谷区立松濤美術館副館長)
岡部友子(前東京都庭園美術館副館長)
牟田行秀(東京都庭園美術館副館長)
参加者数　68人
参加費　無料
申込方法　館ウェブサイトの申し込みフォームにて
事前申込制

関連イベント

特別ワークショップ
「わたしをあらわすすてきなぼうし」

当館を舞台としたアートイベントに合わせて実施したオリジナルの「帽子」を作るワークショップ。材料は、洋服が作られる際に出た布やリボンの端切れを使用した。いろいろな色、素材の布やリボンを組み合わせることで、参加者それぞれの好みが反映された帽子が完成した。ワークショップの中では絵本の読み聞かせのほか、当館の歴史の紹介も行い、子供も保護者にもわかりやすい内容を心掛けた。

日時	①2023年5月12日（金）10:30〜11:30 ②2023年5月13日（土）10:30〜12:00
講師	式地香織 （建築家　コドモチョウナイカイ事務局　代表） 加藤ゆう子（ナオカケル株式会社代表取締役）
会場	新館ギャラリー2
対象	①未就園児（3歳以下）の子供とその保護者 ②幼稚園・保育園の年少児〜小学校6年生の子供
申込方法	館ウェブサイトより事前申込
参加者数	①14組31人 ②42人（22人＋見学の保護者18人、きょうだい3人）
参加費	無料

特別ワークショップ
「ポータブルガーデンを作ろう」

「わたしをあらわすすてきなぼうし」と同様のアートイベント関連企画。色とりどりの端切れから好きな布やリボンを組み合わせて、大きな一枚のカーペットを制作する。誰でも申し込み不要で参加可能とし、展覧会の鑑賞の前後に気軽に立ち寄れるプログラムとした。制作したカーペットは当館の庭園での活用を促した。

日時	①2023年5月12日（金）13:00〜16:00 ②2023年5月13日（土）13:00〜16:00
講師	式地香織 （建築家　コドモチョウナイカイ事務局　代表） 加藤ゆう子（ナオカケル株式会社代表取締役）
会場	新館ギャラリー2
対象	どなたでも【当日受付】
参加者数	①92人 ②139人
参加費	無料

アクセスプログラム

フラットデー
ゆったり鑑賞日、ベビーアワー

障害のある方も赤ちゃんがいる方も、だれもが気兼ねなく来館できるプログラムとして本年度より開始した事業。休館日ではなく通常の開館日に実施することで、あらゆる方が一緒に過ごせる美術館となることを目指した。フラットデーは取り組みの総称であり、具体的には2種類の日がある。障害のある方も来館しやすい「ゆったり鑑賞日」と、開催中はベビーカーの利用が可能で赤ちゃん連れの方も鑑賞しやすい「ベビーアワー」である。狭い間口や段差の多い建物内で、車椅子やベビーカーを使う人、介助が必要な人などが安心して過ごせる空間を整える方法として、コロナ禍を機に導入されたチケットの事前予約制度を活用。来場者数を制限することでゆとりのある鑑賞環境となるよう工夫した。またNPO との連携のもと、アート・コミュニケータによる鑑賞ツアーも同時に実施し、鑑賞方法の選択肢も増やすことができた。
本事業はクリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー事業のパートナープログラムの一環として実施した。「事前予約制度を活用した多様な方の受け入れ体制づくり」としてチケットの事前予約制度を活用したプログラムの実施・検証の報告をまとめ、コンセプトビデオの制作も行った。

ゆったり鑑賞日

実施日　①2023年5月31日(水)「建物公開2023邸宅の記憶」
②2023年8月9日(水)「フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン」
③2023年11月8日(水)「装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと芸術」
④2024年3月13日(水)「開館40周年記念旧朝香宮邸を読み解くAtoZ」
時間　10:00〜18:00
参加者数　①436人 ②314人 ③334人 ④325人

ベビーアワー

実施日　①2023年5月24日(水)「建物公開2023邸宅の記憶」
②2023年11月22日(水)「装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと芸術」
③2024年3月27日(水)「開館40周年記念 旧朝香宮邸を読み解くAtoZ」
時間　10:00〜14:00
(本館内でベビーカーを利用できる時間)
参加者数　①215人 ②180人 ③239人

対象　すべての方
申込方法　オンラインにて要事前予約・購入
各種割引が適応される方、無料対象者
[小学生以下、都内在住・在学の中学生及び障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)、招待券・年間パスポート・ぐるっとパスをお持ちの方]は事前予約不要。

撮影:井手大

ゆったりツアー

ゆったり鑑賞日に実施するアート・コミュニケータと一緒に展覧会をめぐるツアー。参加者一組ごとにアート・コミュニケータが付き添い、参加者それぞれのペースや状況に合わせて移動や鑑賞をサポートする。前年度まで実施していた「障害のある方対象アート・コミュニケータとめぐる庭園美術館」と同様のツアーだが、フラットデー内での実施に伴い、対象を障害のある方に限らず誰でも参加可能とした。計4回開催し、57組93名が参加した。

実施日	①2023年5月31日（水） ②2023年8月9日（水） ③2023年11月8日（水） ④2024年3月13日（水） （「ゆったり鑑賞日」の開催日）
時間	11:00〜、13:00〜、14:30〜の3回　各回最長90分
場所	展示室
対象	どなたでも
定員	各回4組（定員を超過した場合は抽選。 空きがある場合は当日受付）
参加者数	①14組23人 ②15組24人 ③14組22人 ④14組24人
参加費	無料
申込方法	館ウェブサイトより事前申込 （11月の回よりメールにて申し込み受付）
運営委託	特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構
運営協力	アート・コミュニケータ東京

撮影：井手大

ベビーといっしょにミュージアムツアー

ベビーアワーの開催に併せて実施するアート・コミュニケータと一緒に展覧会をめぐるツアー。「ゆったりツアー」同様に、参加者一組ごとにアート・コミュニケータが付き添い、赤ちゃんや家族のペースや状況に合わせて鑑賞をサポートする。赤ちゃん連れの方も多く来館するベビーアワーでは、「ほかにも赤ちゃん連れがいるので安心」といった参加者の声が多く聞かれ、ほかの一般来場者との会話も生まれるなど、通常開館日ならではの成果があった。計3回開催し、38組101名の家族が参加した。

実施日	①2023年5月24日（水） ②2023年11月22日（水） ④2024年3月27日（水）（「ベビーアワー」の開催日）
時間	10:30〜、11:30〜、12:30〜の3回　各回最長60分
場所	展示室
対象	ベビーカーに乗る年齢・月齢の赤ちゃんと その保護者
定員	各回5組（保護者は2名まで）
参加者数	①12組28人 ②14組39人 ③12組34人
参加費	無料
申込方法	当日受付、先着順
運営委託	特定非営利活動法人アート・コミュニケーション 推進機構
運営協力	アート・コミュニケータ東京、 ベビーといっしょにミュージアム

ベビーデー 赤ちゃんと暮らす家族のための特別開館日

前年度に引き続き、休館日の美術館を特別に開室して行う「ベビーデー」を開催した。「フィンランド・グラスアート　輝きと彩りのモダンデザイン」展を貸し切りの環境でゆっくり鑑賞できる一日とした。アート・コミュニケータが館内での滞在をサポートしたほか、フラットデー同様にミニ鑑賞ツアーも実施。また、新館カフェを食事スペースとして開放し、持ち込みの離乳食などを食べられるようにした。本プログラムについても、フラットデーと同様にクリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー事業のパートナープログラムの一環として実施し、フラットデーと併せて調査の対象とした。

実施日	2023年8月21日（月）
時間	10:00〜15:00
場所	展示室
対象	ベビーカーに乗る年齢・月齢の赤ちゃんと その保護者
定員	60組 （保護者は2名まで。定員を超過した場合は抽選）
参加者数	60組160人
参加費	無料
申込方法	館ウェブサイトのフォームより事前申込
運営委託	特定非営利活動法人アート・コミュニケーション 推進機構
運営協力	アート・コミュニケータ東京、 ベビーといっしょにミュージアム

撮影：井手大

やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム「どんな家で遊びたい?」

さまざまな文化背景の人々が美術館を拠点に、文化や言葉を超えて理解を深めることを目指して行うプログラム。本年度もアーティストを講師に迎え、本館の建物(旧朝香宮邸)を題材に、鑑賞と造形活動を交えたワークショップを行った。生活を豊かに彩るさまざまな意匠・工夫が凝らされた本館の建物を鑑賞したあとに、アーティストが用意したいろいろな材料を使い、「自分の夢の家」を制作した。家庭や学校で日本語以外の言語を話す子供もいるため、大人が話す際にはゆっくりとやさしい言葉を使い、また、重要なことは図を使ったり、物を指し示したりなどコミュニケーションを工夫した。また、本年度は英訳版の広報文も用意し、より広く保護者に告知できるようにした。

日時	2024年3月17日(日) 13:30〜16:00
場所	新館ギャラリー2及び展示室
講師	中島裕子(アーティスト)
対象	小学3年生〜6年生 (外国にルーツがある子供、日本の子供)
参加者数	15人
参加費	無料
申込方法	メールにて事前申込

撮影:井手大

旧朝香宮邸資料公開室（ウェルカムルーム）の運営

来館者一人ひとりが能動的に美術館体験を楽しむためのラーニング・プログラムの拠点。カンバセーション・テーブル「さわる小さな庭園美術館」、建築紹介の音声ガイドとしても使えるアプリのためのタブレット端末、本棚、ワークシートなどが設置されており、展覧会鑑賞前後にのんびり過ごす空間として親しまれている他、ワークショップの会場としても活用。展覧会ごとに関連書籍や気軽に参加できるワークなども用意している。また、本年度は新たに弱視者（ロービジョン者）といった見えづらさを感じている方の視覚を支援する機器「RETISSA ON HAND（レティッサ オン ハンド）」の試験的な貸し出しをウェルカムルーム内で開始し、資料などの閲覧に活用できるようにした。

開室日数　224日
利用者数　22,383人

学校連携事業（スクールプログラム）

児童・生徒の芸術文化に親しむ機会を充実させることを目指して行うスクールプログラムでは、学校教育の多様な目的に応えるため、児童・生徒のための2つのコースと、教員を対象にしたプログラムを設けている。本年度は、児童・生徒のためのコースを大学生まで拡張し、授業の一環で学芸員の仕事や美術館の社会的な役割を学ぶ学生にもレクチャーも実施した。また、学校に出向いて行う出張授業や、オンラインを活用した授業も昨年から継続して行った。

児童・生徒のためのプログラム
開館日コース

通常の開館日（平日のみ実施）に学校団体の来館を受け入れるコース。要望により学校に出向いてレクチャーを行うなど、教員と相談しながら授業の目的に合わせた内容を実施している。本年度は、特別支援学校2校との3者連携による学校同士の交流を交えたプログラムや、昨年に続き3Dオンラインビューを活用することで来館が難しい学校との連携も行うことができた。計13回開催し、教員を含む延べ325人が参加した。

2023年4月28日（金）　町田デザイン&建築専門学校　16人（＋教員3人）
2023年6月29日（木）　女子美術大学　19人（＋教員3人）
2023年7月8日（土）　静岡文化芸術大学　11人（＋教員1人）
2023年7月27日（木）　東京都立志村学園　14人（＋教員4人）
2023年9月27日（水）　東洋女子高等学校　21人（＋教員1人）
2023年11月10日（金）　日本大学通信教育部　12人（＋教員2人）
2023年11月22日（水）　女子聖学院　20人（＋教員2人）
2024年2月8日（木）　東京都立八王子西特別支援学校（出張授業）　11人（＋教員2人）
2024年2月9日（金）　東京都立足立特別支援学校（出張授業）7人（＋教員4人）
2024年2月16日（金）　東京都立足立特別支援学校、東京都立八王子西特別支援学校
2校連携（オンライン授業）　18人（＋教員6人）
2024年2月20日（火）　港区立笄小学校（出張授業）　69人（＋教員2人）
2024年3月12日（火）　港区立笄小学校　34人（＋教員4人）
2024年3月14日（木）　港区立笄小学校　35人（＋教員4人）

休館日コース

展示室を休館日に特別に開放し、貸し切りの環境で建物や、開催中の展覧会を鑑賞するプログラム。本年度は申し込みが無く、実施無しとなった。

先生のためのプログラム
ティーチャーズウィーク

都内の小中高等特別支援学校の先生を対象に展覧会ごとに無料で観覧できる機会を設けた。美術館での鑑賞授業に向けた研修の一環として活用できるようにした。

実施期間　①2023年4月4日（火）～4月13日（木）
②2023年6月27日（火）～7月6日（木）
③2023年9月26日（火）～10月5日（木）
④2024年2月20日（火）～2月29日（木）
参加者数　44人

先生の研修・勉強会

教員による研修会・勉強会の開催を受け入れた。学校での授業に活かしてもらうことを目的に、当館やスクールプログラムの紹介などを行った。

2023年7月26日（水）葛飾区小学校教育研究会　24人
2023年10月25日（水）新宿区立小学校教育研修会 図工部　25人

地域連携

提携先
ホテル雅叙園東京

ホテル雅叙園東京との提携割引

各施設の会場内に設置する割引パネルを撮影し、各施設受付でチケット購入の際に画像を提示すると展覧会観覧料の割引が適用される。

対象展覧会	ホテル雅叙園東京:「大正ロマン×百段階段〜文豪が誘うノスタルジックの世界〜」 当館:建物公開2023「邸宅の記憶」
割引対象期間	2023年4月1日(土)〜6月4日(日)
割引金額	ホテル雅叙園東京:【平日】一般 1,200円→1,000円/【土日祝】1,500円→1,200円 当館:一般 1,000円→800円/学生 800円→640円/中学生・高校生 500円→400円/65歳以上 500円→400円

ホテル雅叙園東京から当館への来館　611人
当館からホテル雅叙園東京への来館　253人
※当館ではオンラインチケットは割引対象外。

ホテル雅叙園東京「美術館めぐりパスポート」

ホテル雅叙園東京の利用者は、ホテル雅叙園東京が発行する「美術館めぐりパスポート」を参加施設で提示すると各施設の用意する優待を受けることができる。本事業には、当館も含め近隣5施設が参加した。

対象展覧会	「装飾の庭　朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術」
割引対象期間	2023年10月1日(日)〜11月30日(木)
割引金額	展覧会観覧料が通常価格より2割引
来館者数	48人
参加施設	ホテル雅叙園東京、目黒区美術館、郷さくら美術館、松岡美術館、東京都庭園美術館

※当館ではオンラインチケットは割引対象外。

提携先
国立科学博物館付属自然教育園

国立科学博物館附属自然教育園との相互割引

各施設の券売所付近に設置する割引パネルを撮影し、各施設の券売所にて来場者がパネルの写真を提示すると相互割引が適用される。

割引対象期間　2023年11月14日（火）～2024年3月31日（日）
割引金額　国立科学博物館附属自然教育園：入園料「一般・大学生」320円→280円
当館：庭園入場料と展覧会観覧料が通常価格より2割引
国立科学博物館附属から当館への来館者数　156人
当館から国立科学博物館附属自然教育園への来館者数　206人

※当館では2023年12月12日（火）～2024年2月16日（金）は庭園入場料のみ割引。
※当館ではオンラインチケットは割引対象外。

提携先
港区、港区ミュージアムネットワーク

ミナコレ2023

港区内の美術館・博物館等が対象のスタンプラリー「ミナコレ2023」に参加した。当館の券売所に設置した紙の参加用紙へのスタンプ押印または、デジタルスタンプ台のタッチによりデジタルスタンプを集めると、参加者は大使館訪問に応募できる。

期間　2023年10月16日（月）～12月15日（金）
当館でのデジタルスタンプラリーの参加者数　150人

40周年事業

ガーデンコンサート　宮田悠貴 ハープコンサート

開館40周年記念の最初の事業として、国内外で活躍する宮田悠貴によるハープコンサートを開催した。展覧会に合わせて曲目を選定し、公演後にはハープの体験コーナーも設け、来園者に楽しんでいただいた。美術館入館者の動員数を増やすとともに来館者サービスの向上を図った。

日時	2023年4月1日（土）14:00〜15:00
会場	芝庭
演奏	宮田悠貴
参加者数	300人
参加費	無料（入館料別途）

プロジェクションマッピング　FUTURE ART TOKYO 2023

国の重要文化財である旧朝香宮邸の外壁や庭園を活用した大規模なプロジェクションマッピングを実施した。当館ならではの本館内の建築意匠をモチーフにした演出を行い、歴史的建造物と最新テクノロジーの共演を実現させ、開館40周年にふさわしい祝祭感を創出した。

日時	2023年4月8日（土）　第1部 19:00〜19:15 第2部 19:30〜19:45 2023年4月9日（日）　第1部 19:00〜19:15 第2部 19:30〜19:45 ※イベント開催日は、両日とも庭園のみ20:00まで夜間開館を実施（入場は19:30まで） ※4月8日第1部では、Drone Impact Challenge Educationとの連携イベントとして世田谷区立八幡小学校の小学生が参加するボール型ドローンイルミネーションキッズショーを同時開催
会場	芝庭
参加者数	4月8日469人　4月9日646人 計1,115人
参加費	無料（入館料別途）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 FPV Robotics株式会社
後援	港区
広報物デザイン	FPV Robotics株式会社
撮影	齋藤彰英

※本事業は、東京都及び公益財団法人東京観光財団の「プロジェクションマッピング促進支援事業助成」を活用して実施した。

メインビジュアル

会場風景

殿下寝室にあるレジスターの噴水をモチーフにした演出

大客室にあるルネ・ラリック作のシャンデリア《ブカレスト》をモチーフにした演出

ウェルカムラウンジ　教えてください、わたしのいい日。

期間限定の「ウェルカムラウンジ」を正門横スペース（旧門衛所）に設け、過去の展覧会のチラシを展示した。また、来場者からは当館にまつわる思い出を「わたしのいい日」をキーワードに募集した。
思い出が記載されたカードは同空間内に展示するとともに、40 周年特設サイト内に開設した開催報告ページにおいて、一部のカードを紹介し、閲覧できるようにした。

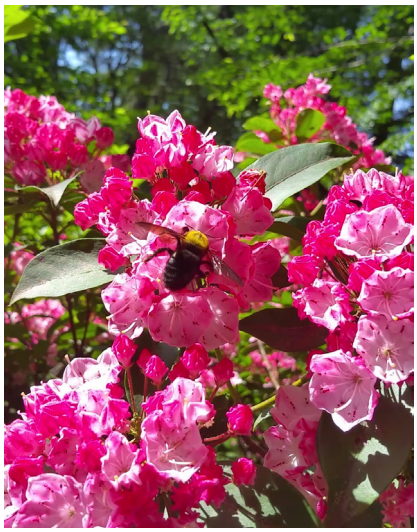
日時	2023年8月11日（金・祝）～ 2023年9月3日（日） 10:00～18:00 ※夜間特別開館日（8月11日、18日、25日）は21:00まで
会場	正門横スペース（旧門衛所）
入場者数	3,070人
入場料	無料
会場構成及び 広報印刷物デザイン	式地香織
撮影	黒目写真館

Photo Galleryの開設

40周年特設サイト内に旧朝香宮邸（東京都庭園美術館本館）と庭園の四季の移ろいをめぐるフォトギャラリーを掲載した。

公開日　2023年8月22日（火）

撮影（本館）：田野英知



撮影（庭園）：当館職員

夏休みワークショップ

アール・デコをみつけよう！つくろう！　— お祝いのツリーを飾ろう！ —

2023年10月20日から開催した「TEIEN 40th Anniversary festival　光 宿る大樹」に先駆けて実施したワークショップ。本館のアール・デコ文様をヒントに、小学生が作ったモビールを吊した木の模型にプロジェクションマッピングを行い、小さな「お祝いのツリー」の装飾と演出を体験した。

撮影：P.I.C.S TECH

日時	2023年8月27日（日） 午前の部 10:30〜12:00 午前の部 14:00〜15:30
会場	ギャラリー2
対象	小学生（保護者同伴）
定員	各回10組（事前応募制・先着順）
参加者数	午前の部9人／午後の部10人／計19人
参加費	無料（入館料別途）
講師	P.I.C.S TECH（「新しい映像体験」を作り出すクリエイティブチーム）

ガーデンコンサート　音楽のさんぽ道

公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団〔Kissポート財団〕と初めて共催し、Kissポート財団の運営するコンサート「音楽のさんぽ道」を当館の芝庭で開催した。

日時	2023年9月17日（日） 第1回公演 13:30〜14:00 第2回公演 15:00〜15:30
会場	芝庭
演奏	国立音楽大学の学生及び卒業生 矢野瑞希（Tp.） 森田桜雪（Hr.） 佐々木光（Tb.）
来場者数	第1回公演 241人／第2回公演229人／計470人
入場料	無料（入館料別途）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団〔Kiss ポート財団〕

花のオーナメント
《越境からの芽生え　- Budding from cross-border-》

開館40周年の記念日である10月1日を迎えるに当たり、芝庭入口のキミガヨランの周りに秋明菊とアサギリソウなどの秋の草花や、シュベルティ（アリウム）のドライフラワーを配し、祝祭感のある花のオーナメントを設けた。

日時　2023年9月26日（火）～11月19日（日）
会場　芝庭
制作　C'est la vie

TEIEN 40th Anniversary festival

ジャズとダンスの祝宴 マチネ

10月1日の開館記念日に開館40周年を記念して、アール・デコ時代に流行したジャズ演奏にあわせ、ワルツからコンテンポラリーダンスが展開されるダンス公演を開催した。

日時	2023年9月30日(土) 公開リハーサル 13:30〜14:00 2023年10月1日(日) 第1回公演 13:30〜(30分程度) 第2回公演 15:00〜(30分程度)
会場	芝庭
出演	HIBI★Chazz - K(演奏) 水中めがね∞(ダンス)
来場者数	公開リハーサル200人 第1回公演651人／第2回公演632人 計1,283人
入場料	無料(入館料別途)
企画協力	P.I.C.S TECH(「新しい映像体験」を作り出すクリエイティブチーム)
広報物デザイン	P.I.C.S TECH

メインビジュアル

撮影:P.I.C.S TECH

TEIEN 40th Anniversary festival

庭園マルシェ

10月1日の開館記念日に西洋庭園でキッチンカーや花屋の出店を行った。当館をイメージした特別コラボメニューや、当日限定メニューなどを庭園マルシェとして展開した。

日時	2023年10月1日(日)11:00〜16:00
会場	西洋庭園
参加店舗	REVIVE KITCHEN THREE(飲食) GREEN FOOD CAMPER(飲食) UNG WATABE(飲食) はらいたコーヒー(飲食) VEIN(花屋)
利用者数	475人
入場料	無料(入館料別途)
広報物デザイン	W Inc.

撮影：W Inc.

日本庭園の3Dオンラインビューイング

既に公開済みの展覧会の3Dオンラインビューイングに加え、開館40周年を記念し、新たに日本庭園の3Dオンラインビューイングを公開した。

公開日　2023年10月10日（火）
制作　合同会社ワンダーストック

TEIEN 40th Anniversary festival
光 宿る大樹

モビールで飾りをつけた芝庭の「お祝いの大樹」にプロジェクションマッピングを行い、幻想的な光の演出を行った。

日時	2023年10月20日（金）～11月19日（日） 16:00～18:00
会場	芝庭
鑑賞者数	3,266人
入場料	無料（入館料別途）
企画協力	P.I.C.S TECH（「新しい映像体験」を作り出すクリエイティブチーム）
広報物デザイン	P.I.C.S TECH

メインビジュアル

撮影：大倉英揮

TEIEN 40th Anniversary festival

ジャズとダンスの祝宴 ソワレ―光の調べ―

芝庭にあるプロジェクションマッピングで演出した「光 宿る大樹」のもとで、「ジャズとダンスの祝宴」の夜公演を開催した。

日時	2023年11月17日(金) 第1回公演 18:00～(30分程度) 2023年11月18日(土) 第2回公演 18:00～(30分程度)
会場	芝庭
出演	HIBI★Chazz - K(演奏) 水中めがね∞(ダンス)
鑑賞者数	第1回公演402人 第2回公演771人 計1,173人
入場料	無料(入館料別途)
企画協力	P.I.C.S TECH(「新しい映像体験」を作り出すクリエイティブチーム)
広報物デザイン	P.I.C.S TECH

メインビジュアル

撮影:大倉英揮

撮影:P.I.C.S TECH

開館40周年記念事業
庭園能

目黒駅近くの喜多能楽堂を拠点とする公益財団法人十四世六平太記念財団と共催し、当館の芝庭で能の公演を行った。

日時	2023年11月24日（金） 能「鵺」開場15:30／開演 16:00 2023年11月25日（土） 能「羽衣 舞込」開場12:00／開演 12:30 2023年11月25日（土） 能「小鍛冶 白頭」開場15:00／開演 15:30
会場	芝庭（雨天時会場 セルリアンタワー能楽堂）
料金	各回5,000円（全席自由、入替制）
参加者	各回201席／計603席
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 公益財団法人十四世六平太記念財団
協賛	積水化学工業株式会社
舞台製作	能楽プロ

能「鵺」

仕舞 花月	香川靖嗣
解説	佐藤寛泰
シテ	友枝雄人
ワキ	大日方寛
アイ	野村裕基
笛	一噌隆之
小鼓	成田達志
大鼓	大倉慶乃助
太鼓	小寺真佐人

能「羽衣　舞込」

仕舞 高砂	友枝昭世
解説	佐藤陽
シテ	香川靖嗣
ワキ	大日方寛
笛	一噌隆之
小鼓	成田達志
大鼓	大倉慶乃助
太鼓	林雄一郎

能「小鍛冶　白頭」

仕舞 草紙洗小町	友枝昭世
解説	佐藤寛泰
シテ	友枝雄人
ワキ	大日方寛
ワキツレ	小林克都
アイ	野村裕基
笛	一噌隆之
小鼓	成田達志
大鼓	大倉慶乃助
太鼓	林雄一郎

庭園の四季シリーズ
紅葉をめぐる秋のガーデンツアー

今年度より、公式SNS上で「庭園の四季シリーズ」と題し、季節ごとの庭園の情報を発信している。本事業は、この「庭園の四季シリーズ」のリアル開催ツアーとして実施した。四季の移ろいの中でも、最も美しい「秋の庭園」にスポットを当て、邸宅時代のエピソードや見ごろの植物などを交えて散策。5つのエリアに分け、当館職員が日々の業務の中で培った知識や経験を交えて、ツアーを行った。

日時	第1回 2023年11月28日（火）14:00〜15:00 第2回 2023年11月29日（水）14:00〜15:00
会場	庭園
参加者数	第1回27人／第2回24人
参加費	無料（入館料別途）
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

庭園の四季シリーズ

庭園美術館 秋の写真絵本づくり ―写真を撮って絵本をつくろう―

秋の庭園をインスタントカメラで撮影した写真を用いた手のひらサイズの写真絵本づくりと、講師による秋にまつわる絵本の読み聞かせを行った。

日時	2023年12月12日(火)13:30〜16:00
場所	庭園、新館ギャラリー2
対象	小学生(保護者同伴)
参加者数	9組19人
参加費	無料(入館料別途)
講師	ニジノ絵本屋代表 いしいあや
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて 事前申込制

撮影:牧一世

庭園の四季シリーズ

マツボックリのオーナメントづくり
―美術館のクリスマスツリーをみんなで飾ろう

当館の庭園で育ったマツボックリを使い、クリスマスツリーのオーナメントを作る15分間の自由参加型のワークショップを開催した。参加者がオーナメントを飾りつけた正門付近のクリスマスツリーは、冬の美術館に彩りを添えた。

日時	2023年12月8日(金)、10日(日)、16日(土) 各日13:00～15:00
場所	西洋庭園
参加者数	計154人
参加費	無料(入館料別途)
申込方法	各日6回の時間入れ替え制(会場にて先着順)

三上真史トークイベント
植物と共に生きる〜庭園の美と魅力〜

開館40周年を記念して行うオオシマザクラの植樹式に合わせ、タレントで園芸デザイナーの三上真史氏を招き、当館の庭園、植物の育て方やアレンジの仕方についてお話をお聞きするトークイベントを開催した。

日時	2024年2月24日（土） 13:30〜14:30
会場	ギャラリー2
参加者数	61人（事前申込制、抽選）
参加費	無料（入館料別途）
出演	三上真史（タレント・園芸デザイナー）
聞き手	牟田行秀（東京都庭園美術館副館長）

撮影：齋藤彰英

オオシマザクラ植樹式

開館40周年を記念して、オオシマザクラの植樹式を開催した。植樹式にはタレントで園芸デザイナーの三上真史氏も参加し、公募で当選した5人の小学生が植樹を行った。

日時	2024年2月24日(土) 14:50〜15:30
会場	本館前の広場
参加者数	小学生5人
参加費	無料
出演	三上真史(タレント・園芸デザイナー)
見学者数	154人

イラスト:まちょ

撮影:齋藤彰英

ガーデンコンサート　アール・デコ時代の音楽旅

日本で親しまれているシャンソンの名曲を紹介するガーデンコンサートを開催した。曲の合間の出演者によるトーク・コーナーでは、当館の展示紹介もあり、音楽と美術からアール・デコ時代を堪能する機会になった。

日時　2024年3月2日（土）14:00〜15:00
会場　芝庭
料金　無料（入館料別途）
参加者数　607人
出演　芽吹幸奈、瀬戸かずや
企画協力　ERIZUN

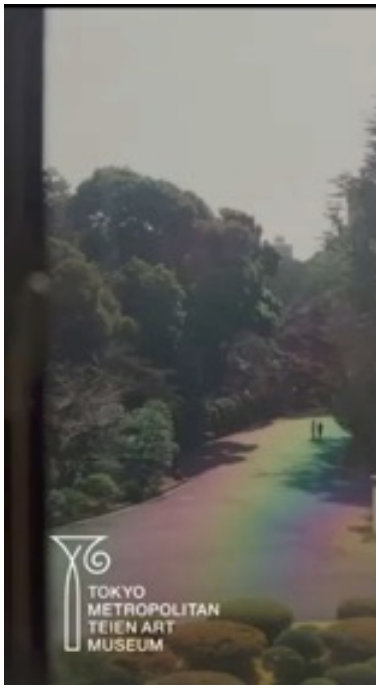
写真提供：ERIZUN

東京都庭園美術館　開館40周年記念
庭園プロモーションムービーの公開

開館40周年事業の集大成として、若者を対象にした庭園プロモーションムービーを作成した。10代〜20代の若者に人気の高い15秒の縦型映像とした。8mmフィルムの映像カメラとスケッチブックを携えた来館者が、当館の芝庭、日本庭園、西洋庭園をめぐる内容とし、庭園で過ごす楽しいひとときが、印象的な映像である。2024年度の庭園プロモーションにつなげるため、公開後、SNS 広告により本映像の認知度向上を図った。

公開日　2024年3月25日（月）
掲載先　当館公式YouTube、公式SNS、40周年特設サイト
広告期間　2024年3月25日（月）〜3月31日（日）
広告媒体　YouTubeショート及び
Instagramのリール動画のオーガニック投稿
企画　東京都庭園美術館

Planning and Creative Director/Cinematographer : Kenshu Shintsubo
Music : Marihiko Hara
Model : SOPHIE NISHIMURA
Make-up : UDA[mekashi project]
Hair Stylist : Keiko Tada[mod's hair]
Camera : Shinsuke Kato
Editor : Kyohei Isobe
Design : Ryoji Tanaka [Semitransparent Design]
Photo-Assistant/Model: Sayaka Hamahara
Production Manager : Tomoko Baba[TIBER GARDEN]
Producer : Fumiaki Mae
Production : eND,LLC.



東京都庭園美術館　開館40周年記念
総集編ムービーの公開

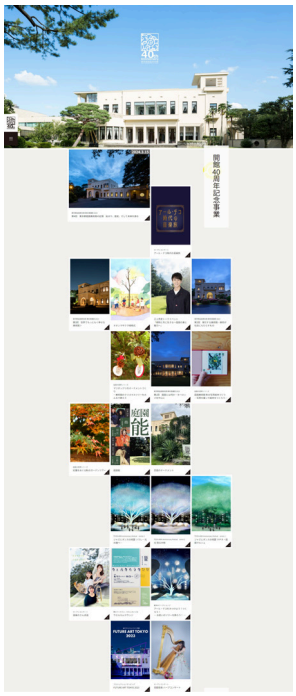
開館40周年記念において実施した事業をアーカイブとしてまとめ、公式YouTube上で公開した。
https://youtu.be/lQ4hkDCFrCs

公開日　2024年3月18日（月）
掲載先　当館公式YouTube、公式SNS、40周年特設サイト
広告期間　2024年3月22日（金）～3月31日（日）
広告媒体　webメディア「CINRA」にてタイアップ記事の掲載
https://www.cinra.net/article/202403-teien_skksk
企画　東京都庭園美術館
撮影・編集　角戸菜摘

開館40周年特設サイトの開設

40周年記念事業への入口として、これまでの東京都庭園美術館を振り返り、未来に向かった新たな美術館の明るいイメージと、期待感が感じられる特設サイトを開設した。40周年事業の紹介ならびに、事業実施レポートを掲載した。

開設日　2023年4月1日（土）
【日本語サイトのみ】https://teien40th.jp
※2024年4月1日以降は、公式ウェブサイト内に移管（https://archive-teien40th.teien-art-museum.ne.jp/）
アクセス数　計354,173PV（2023年4月1日～2024年3月31日）
新規ユーザー数
計171,742（2023年4月1日～2024年3月31日）
サイト制作・運用
CCI/MyPLANET - 株式会社セントラルチャイルド
森 麻美（Mori Asami）



目黒駅・白金台駅における40周年記念看板の設置

開館40周年の効果的な告知PRのため、当館の最寄り駅である地下鉄白金台駅及びJR目黒駅に、周年記念として新しくデザインした看板を設置した。

掲出期間　2023年4月7日（金）～2024年3月25日（月）
掲出場所　地下鉄白金台駅1番出口改札外（No.702）
　　及びJR目黒駅東口改札前（No.57）
広報物デザイン　有限会社ライトスタッフ　小倉誠

白金台駅の設置風景

目黒駅の設置風景

新宿駅・渋谷駅におけるデジタルサイネージ映像の掲出

東京都が都事業の広報用に確保している街路のデジタルサイネージに、開館40周年であることの告知を行うため、掲載用の動画を作成し、掲出した。

掲出期間及び掲出場所：
　　新宿駅4号街路サイネージ 2023年9月8日（金）～10月8日（日）
　　新宿駅西口広場スマートポール 2023年9月25日（月）～11月30日（木）
　　渋谷駅のDHC看板掲載 2023年9月22日（金）～9月28日（木） 毎時：17分45秒
広報物デザイン　CCI/MyPLANET - 株式会社セントラルチャイルド
　　森麻美（Mori Asami）

デジタルサイネージ映像（一部）

東京都庭園美術館コンサート

クラシックのサロンコンサートを実施し、広く当館を知ってもらうきっかけとした。2023年度については4公演を実施した。

日時　2024年1月5日（金）、6日（土）
会場　本館大広間
主催　公益財団法人東京都歴史文化財団
　　東京都庭園美術館、
　　株式会社ジャパン・アーツ
料金　全席自由 5,500円
参加者数　計4回300人
広報印刷物　チラシ（A4）
デザイン　株式会社光栄社
企画　朝香誠彦
協賛　株式会社ニッピコラーゲン化粧品
協力　株式会社ショコラティエ・エリカ

第1回
成田達輝　ヴァイオリン・リサイタル

日時　2024年1月5日（金）14時開演
参加者数　74人

第2回
伊藤悠貴　チェロ・リサイタル

日時　2024年1月5日（金）18時開演
参加者数　68人

第3回
藤原真理　チェロ・リサイタル

日時　2024年1月6日（土）14時開演
参加者数　82人

第4回
戸室　玄　ピアノ・リサイタル

日時　2024年1月6日（土）18時開演
参加者数　76人

美術資料の活用

美術資料の収集

「東京都庭園美術館美術資料収集方針」における「収集の基本的な考え方」に基づき収集を行う。

収集の基本的な考え方

館は、歴史的な価値を有する建造物である旧朝香宮邸を保存、公開するとともに、その建物及び庭園を活かして美術作品等を展示することにより、もって都民の教養ならびに学術及び文化の発展に寄与するため設置されている。
この設置目的を果たすため必要な美術作品等を収集する。

2023年度までの収集件数

	収集分野	2023年度 新規収集数	総件数
ア	絵画	0	6
イ	彫刻	0	16
ウ	工芸	4	33
エ	デザイン	1	4
オ	家具	0	14
カ	服飾・装身具	0	4
キ	映像写真等による造形表現	1	1
ク	資料（旧朝香宮邸又はアール・デコに関する書籍・資料、装飾物・建材等）	3	120
ケ	その他	0	0
合計		9	198

2023年度　新規収集

東京都庭園美術館の収集の基本方針に基づき9件の作品収集を行った。いずれも今後の展覧会での積極的な活用が期待される。また、今年度は開館40周年を記念して、館独自の財源の一部を作品の収集に充当し、所蔵作品の充実を図った。

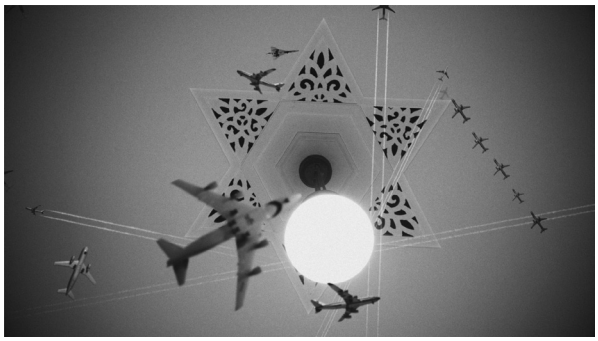
東京都購入案件

1

作者名	エドゥアール・ベネディクトゥス
作品・資料名	ヴァリアシオン 20枚の図版による86の装飾モティーフ
制作年	1924年頃
素材・技法	紙、ポショワール
寸法	49.5×38.5cm

2

作者名	さわひらき
作品・資料名	pilgrim
制作年	2022年
素材・技法	シングル・チャンネル・ビデオ
寸法	上映時間7分23秒



3
作品・資料名　朝香宮滞欧アルバム（フランス）
制作年　1925年頃
素材・技法　アルバム、写真（ゼラチンシルバープリント）
寸法　31.0×43.0cm

4
作品・資料名　朝香宮滞欧アルバム
（スカンジナビア、スコットランド、ドイツ）
制作年　1925年頃
素材・技法　アルバム、写真（ゼラチンシルバープリント）
寸法　31.0×43.0cm

5
作品・資料名　朝香宮鳩彦王、朝香宮鳩彦王妃允子肖像
制作年　1925年頃
素材・技法　写真（ゼラチンシルバープリント）
寸法　35.0×25.0cm

6
作者名　ルネ・ラリック
作品・資料名　メニュー《ぶどう（マスカット）》
制作年　1924年
素材・技法　透明ガラス、プレス成型、サチネ、パチネ
寸法　15.0×8.5cm

7
作者名　ルネ・ラリック
作品・資料名　メニュー《ぶどう（シャスラ）》
制作年　1924年
素材・技法　透明ガラス、プレス成型、サチネ、パチネ
寸法　15.0×8.5cm

東京都庭園美術館購入案件（東京都へ寄贈）

8
作者名　フランソワ=エミール・デコルシュモン
作品・資料名　鉢
制作年　1925年頃
素材・技法　ガラス（パート・ド・ヴェール）
寸法　15.0×8.5cm

9
作者名　ドーム／傘　ルイ・カトナ／スタンド
作品・資料名　テーブル・ランプ
制作年　1925年頃
素材・技法　ガラス、鍛鉄
寸法　37.0×14.0cm

撮影：上野則宏（2以外）

美術資料の保存・修復

当館が所蔵する朝香宮家旧蔵家具資料3点、当館が所蔵する作品1点、計4点の状態調査及び修復・補修作業を実施した。劣化・腐朽部分の修復、欠損部分の製作、クリーニング、塗装、細かな調整等、慎重に調査を行った上で、オリジナル部分を最大限に残して活かしながら耐久性を担保するような方向性で作業を実施した。
これらの資料及び作品は、今後も建物公開展をはじめ活用予定である。

ウォルター・ロタン《キリン》
1939年（1968年制作）
ブロンズ

安楽椅子（大客室）
1920-30年代
布、木材

テーブル（大客室）
1920-30年代
ガラス、金属、木材

貸出

No.	作家	作品	会場	展覧会名	展覧会会期
1	アンドレ・グルー（デザイン）、マリー・ローランサン（絵付）、アドルフ・シャノー（制作）	椅子	公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館	マリー・ローランサン ―時代をうつす眼	2023年12月9日～2024年3月3日
2	ルネ・シャヴァンス	新しい店舗 ファサードとインテリア	公益財団法人ポーラ美術振興財団　ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・パリ 1925 ― 機械時代のアートとデザイン	2023年12月16日～2024年5月19日
	ルネ・シャヴァンス	フランス大使館パヴィリオン			

美術資料の情報公開

「東京都庭園美術館 コレクションサイト」の公開

当館のコレクションに関する情報がより多くの利用者に資することを目指し、開館40周年記念日である2023年10月1日に行ったウェブサイトの全面リニューアルにあわせて、「コレクションサイト」の情報と機能をより充実させて新たに公開した。
また、「Tokyo Museum Collection（ToMuCo）」（当館を含む6つの都立ミュージアムが所蔵する作品・資料の横断検索）とのAPI連携も行い、当館コレクションサイトとToMuCoにおいて、当館のコレクション全件を初めて公開した。

当館コレクションサイトURL：https://www.teien-art-museum.ne.jp/museum/collection/
Tokyo Museum Collection（ToMuCo）URL：https://museumcollection.tokyo/

ハイライト

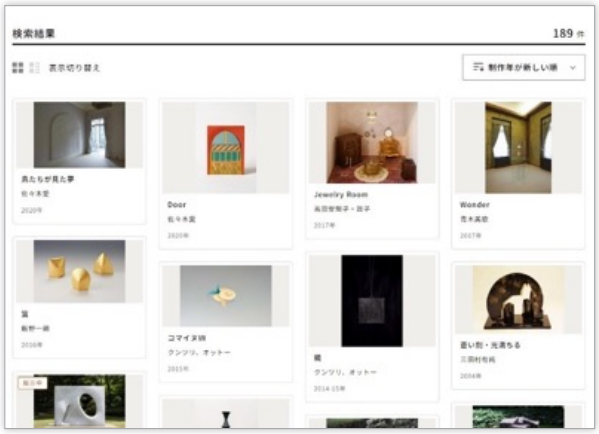
当館が設定した約20件の作品・資料の画像が左方向に動いていく「ハイライト」を新たに公開した。展覧会やイベントに合わせて内容を更新する予定である。

検索方法

検索するためのキーワードを以下のように7つ設定し、利便性を向上させた。
「作者名検索」「作品ジャンル」「素材・技法」「制作年」「タグ」「作品画像あり」「展示中」

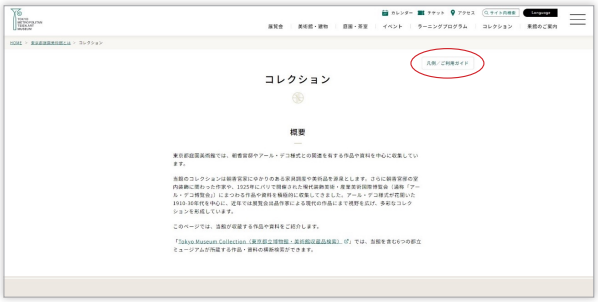
検索結果

検索結果の表示方法を以下のように充実させた。
「表示切り替え」(グリッド表示、リスト表示)、
「並べ替え条件」(制作年順、作者名順、資料名順)



作者名、作品・資料名

「凡例／ご利用ガイド」の内容を更新し、作者名、作品・資料名の表記方法を統一した。



作品画像

著作権の保護期間が満了した作品、及び「美術の著作物等の展示に伴う複製等に関する著作権法第47条ガイドライン」(一般社団法人日本美術家連盟、一般社団法人日本美術著作権連合、一般社団法人日本写真著作権協会、公益財団法人日本博物館協会、全国美術館会議及び一般社団法人日本書籍出版協会)に基づき、コレクションのサムネイル画像(32,400画素以下)を掲載した。

広報事業

2023年度は、開館40周年の記念事業実施に際して、大規模な広報戦略を実施した。広報戦略の主力としては、SNSを活用した広告展開や、ネットメディアとのコラボレーション企画など、インターネット上での多彩な展開を行った。さらに、庭園の魅力発信を重点化して行い、「庭園の四季シリーズ」と題して、季節の移ろいをリアルタイムで発信し、展覧会準備期間中であっても来館を促すような仕掛けを継続的に行った。加えて、広報物として、樹木ならびに草花情報やデザインを大幅に改訂したガーデンマップを配布したことで、来館者の満足度を高め、庭園の魅力を十分に訴求できた。
取材実績としては、海外メディアからのアプローチも多く、とりわけ本館の建築意匠や、四季折々の庭園の様子について取り上げていただいた。
今年度は、公式ウェブサイトにおいて、これまでのデザインや機能を刷新し、大規模リニューアルを行った。重要文化財に指定されている本館（旧朝香宮邸）の室内装飾や建築意匠を随所に取り入れ、当館ならではのデザイン性を追求した。さらに、あらゆる利用環境への最適化を図ることも重視し、情報アクセシビリティの向上を実現した。
対外的な活動としては、学生団体と協同し、若い世代とのインタラクティブな交流を図り、美術館の魅力を知ってもらうためのオンラインイベントを開催した。通常のプレス向け内覧会と同程度の人数が参加し、その参加者層は10代から20代が大半を占めていた。このように、ライトユーザーが拡大し、そのままミドルユーザー、ヘビーユーザーとなり、これらが循環することで、美術館の永続的な発展が期待できると考えられるので、今後も細やかな広報展開を行っていきたい。

取材実績（抜粋）

・インターナショナルモード誌『VOGUE JAPAN web』

VOGUE JAPAN編集長の1日密着レポートの中で、東京都庭園美術館をお気に入りスポットとしてご紹介いただいた。

日時　2023年4月13日（木）取材／4月25日（火）掲載
媒体　インターネット

・Euronews『Tokyo My City』

東京観光大使リシャール・コラス氏が選ぶ、東京で最も大切な場所として東京都庭園美術館をご紹介いただいた。

日時　2023年10月25日（水）取材／12月13日（水）掲載
媒体　インターネット

・日本経済新聞 なんでもランキング『景観に溶け込む美術館』

周囲の自然や景色に溶け込んだ、美しい建築の全国の美術館ランキングについて、全10箇所中の第3位としてご紹介いただいた。

日時　2024年1月25日（木）取材／2月10日（土）掲載
媒体　新聞

掲載実績

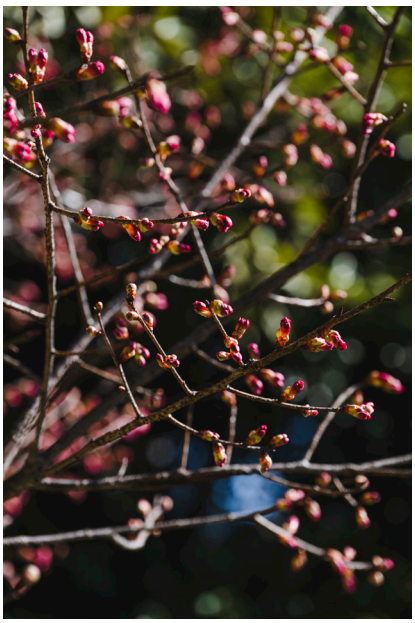
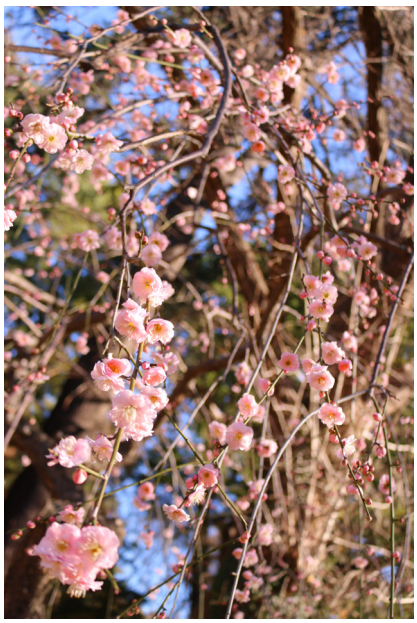
テレビ・ラジオ	14件
インターネット	144件
新聞	51件
雑誌・書籍・パンフレット等	118件

実施プログラム

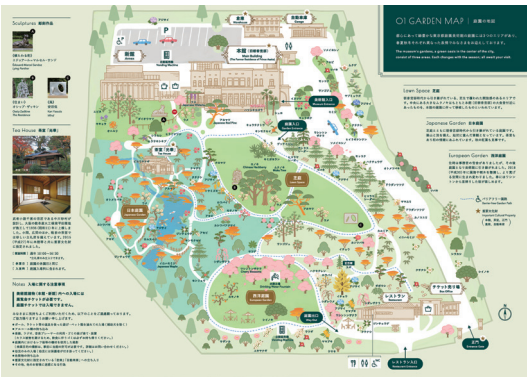
庭園の四季シリーズ

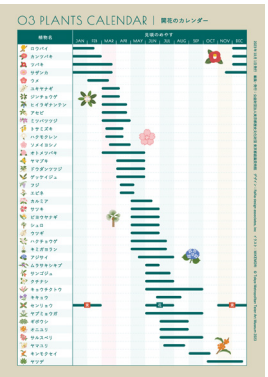
今年度より、公式SNSで「庭園の四季シリーズ」と題し、季節ごとの庭園の情報発信を開始した。さらに、インターネット上だけの展開にとどまらず、ガーデンツアーや子供向けワークショップなどの実地開催も行った（実地開催プログラムの詳細については、40周年事業の頁を参照）。

日時　2023年4月1日（土）～
会場　当館公式SNS上
（X, Instagram, Facebook, YouTube）

撮影：左 齋藤彰英、中 当館職員、右 牧一世





新ガーデンマップデザイン：RaNa design associates, inc イラスト：MIKEMORI

LEARN ABOUT MUSEUM

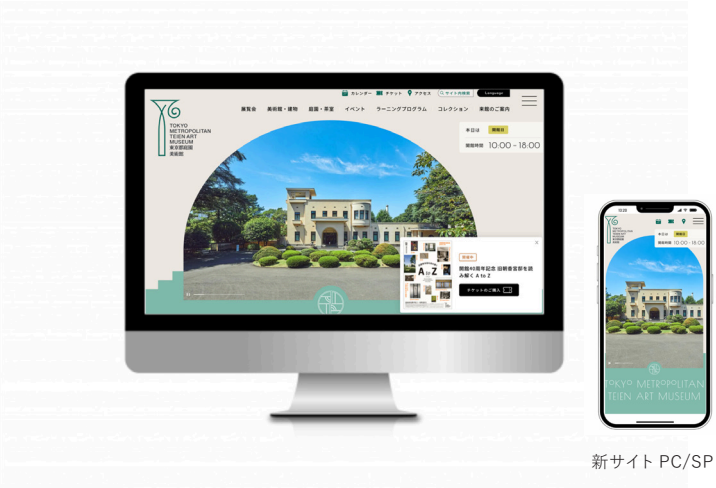
若い世代の来館を促すことを目的として、学生団体re-musée（リムゼ）と協同し、美術館と若い世代が直接交流できるようなオンラインイベントを実施した。

日時	2024年3月9日（土）20:00〜21:00
会場	オンライン
講師	斉藤音夢（東京都庭園美術館学芸員）
参加者数	36人
参加費	無料
申込方法	企画運営団体ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制
企画運営	学生団体re-musée（リムゼ）
広報物デザイン	学生団体re-musée（リムゼ）

公式ウェブサイトのリニューアル

開館40周年の節目において、当館のさらなるブランドイメージの確立を目指すため、リニューアルを実施した。前回のリニューアルから約9年が経過し、顕在化している課題解決への対応と、さまざまな環境のユーザーがウェブサイトへ訪問することを想定し、誰もが使いやすいサイトの実現を図った。
さらに、リニューアル後のサイトの使い方を解説した動画を、全6回に分けて制作し、公式SNS上で定期的に公開した。

日時	2023年10月1日(日)開設 【日本語サイト】 https://www.teien-art-museum.ne.jp/ 【英語サイト】 https://www.teien-art-museum.ne.jp/en/ ※日本語、英語のほか、フランス語、 中国語(繁体字・簡体字)、 韓国語を展開している。
アクセス数	計3,756,731PV リニューアル前 (2023年4月1日～2023年9月30日) 1,477,404PV リニューアル後 (2023年10月1日～2024年3月31日) 2,279,327PV
新規ユーザー数	計948,713 リニューアル前 (2023年4月1日～2023年9月30日) 385,835 リニューアル後 (2023年10月1日～2024年3月31日) 562,878
サイト制作・運用	株式会社ラナデザインアソシエイツ 今井あやこ(Ayako IMAI) 松本友里亜(Yuria MATSUMOTO) 川村祐介(Yusuke KAWAMURA)
サイト使い方動画制作	東京都庭園美術館

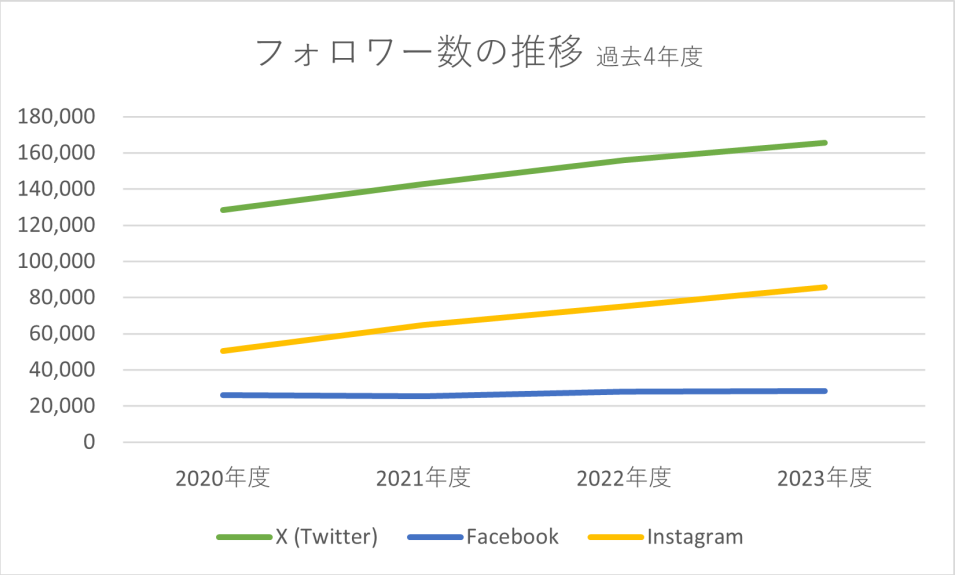


新サイト PC/SP

新サイトの使い方動画6編

公式SNSの運用

X(旧Twitter):投稿数281回　フォロワー数　165,613人(前年比+9,569人)
Facebook:投稿数286回　フォロワー数　28,373人(前年比+55人)
Instagram:投稿数423回(前年比+176)　フォロワー数　85,707人(前年比+11,496人)
YouTube:投稿数30回(前年比+17)　フォロワー数　1,503人(前年比+361人)



展覧会プレス内覧会

「建物公開2023 邸宅の記憶」(2023年4月3日開催)45人出席
「フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン」(2023年6月23日開催)67人出席
「装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術」(2023年9月22日開催)35人出席
「開館40周年記念 旧朝香宮邸を読み解く A to Z」(2024年2月16日開催)44人出席

周辺近隣広報対応

バナーの設置(美術館前1箇所、目黒通り沿い15箇所)…展覧会ごと4回の更新
JR目黒駅及び東京メトロ・都営線白金台駅周辺への地図掲示(各駅1箇所)

紀要の発行

東京都庭園美術館紀要2023

美術館ウェブサイトにおける「装飾性」と「機能性」は共存可能か？
—東京都庭園美術館ウェブサイトリニューアルを事例として −

斉藤音夢（東京都庭園美術館学芸員）

茶室「光華」における茶会等行事について
—文化財活用の意義—

板谷敏弘（東京都庭園美術館学芸員）

発行方法　ウェブサイト及び印刷物として公開予定

美術館維持管理

2023年度は、庭園と合わせて約23万6千人の来館者を迎えた。昨年度に引き続き警備や受付・監視業者の協力のもと、コロナウィルス感染拡大防止対策を講じながら来館者が安全・快適に鑑賞できるような美術館の体制構築に心掛けた。

1） 設備点検・清掃
収蔵庫、本館・新館展示室等の適切な空調管理のための日常点検、快適な展示スペース確保のための清掃を行った。

2） 館内連絡会等の定期開催
館内連絡会の定期開催により、館と委託業者のみならず、各業者間の連携・協力体制を確立し、課題検討、来館者サービスの向上に努めた。

3） チケット売場棟の活用
2023年2月上旬から3月末にかけてミュージアムショップ事業とギャラリー機能を併せ持つように改装工事を行ったチケット売場棟は、2024年1月末からショップ及びギャラリーとして活用している。

4） 工事・修繕等
・本館鋼製建具タッチアップ補修工事
・正門外壁補修工事
・その他、適宜不具合対応に努めた

5） 本館内除塵防黴作業
2023年12月～2024年1月の休館を使用し、専門家による本館展示室内の除塵防黴作業を行った。
一般的な清掃である日常清掃・定期清掃ではできないような範囲である天井・高所の壁面などを除塵防黴作業したことにより、展示室内の清浄化が図られた。

6） 本館オリジナル照明器具の清掃及び状態確認
2023年12月～2024年1月の休館を使用し、専門家による本館オリジナル照明器具の清掃を実施した。
併せて、不具合・破損等を確認し即時部品交換可能なものは実施するなどし、施設の安全と清浄化に務めた。

7） 本館空調機の調査及び展示環境調査の実施
専門家による、1933年竣工の本館展示室内の空調機の現状調査と展示環境の調査を行った。

8） 防災訓練の実施
第1回：2024年1月26日～2月25日実施／第2回：2024年2月26日実施
第2回の消防訓練では、災害弱者である聴覚障がい者や外国人を想定した避難訓練を行った。

9） 東京都が実施する旧朝香宮邸保存活用計画策定の連携・協力
旧朝香宮邸保存活用計画策定に関して、検討委員会・事前打合せ等へ参加し館の立場から情報提供し、保存活用計画の策定に連携・協力した。保存活用計画は2024年度も継続して策定予定である。

収益事業

ミュージアムショップの運営

新館1階ロビーのミュージアムショップ「リュミエール（Lumière）」において、来館者等に庭園美術館オリジナルグッズや展覧会グッズのほか、図録や芸術関連書籍などを販売した。
さらに、正門横のミュージアムショップが、ナチュラルチーズ専門店「フェルミエ白金台店」として2024年1月23日（火）にリニューアル・オープンした。フランス産ナチュラルチーズをメインにそれに合うワインなどを販売し、イートインも可能な店舗となっている。なお、この正門横ショップでは、本館・新館の展覧会とは一味違った幅広い展示活動を、美術館とのコラボレーションにより実施している。

実績

新館ロビーショップ
「リュミエール（Lumière）」

購入客数	31,082人
営業日数	228日
営業時間	10:00～18:00
定休日	毎週月曜日（祝日の場合は営業、翌日休み）、 年末年始、展覧会準備期間 ※美術館休館日に準ずる
事業者	株式会社オークコーポレーション

東京都庭園美術館オリジナル　倉敷帆布トートバッグ

正門横ショップ
「フェルミエ白金台店」

購入客数　1,922人
営業日数　60日
営業時間　10:00〜18:00
定休日　毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、
年末年始　※美術館休館日に準ずる
事業者　株式会社フェルミエ
※展示活動の実績については、「正門横ミュージアムショップにおけるコラボレーション展示」(P.16)をご覧ください。

カフェ・レストランの運営

正門横のレストランと新館1階のカフェがあり、同一の事業者が営業を行っている。正門横のレストランは西洋庭園と本館側がサッシュレス全面ガラスの開放感ある建物で、美術館のチケットがなくても利用できることが特長である。新館1階のカフェは展覧会入場者のみが利用することができる。

実績

カフェ
「café TEIEN」(カフェ庭園)

自然光が全面に差し込む開放的なガラス張り空間で、癒やしのひとときを過ごすことができる。

利用者数	30,917人
営業日数	240日
営業時間	10:00〜18:00
定休日	毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間
席数	34席(屋内22席/テラス12席)
事業者	株式会社フードワークス

レストラン
「comodo（コモド）」

イタリアンとフレンチが融合した料理を、窓外に広がる四季折々の景色を眺めながら楽しめる。

利用者数	28,601人
営業日数	308日
営業時間	ランチ 11:00～15:00（ラストオーダー14:00） カフェ 15:00～16:30（フードラストオーダー16:00） ディナー 17:30～21:00（ラストオーダー20:00）
定休日	毎週月曜日（祝日の場合は営業、翌日休み）、 年末年始　※美術館休館日に準ずる
席数	52席（テーブル44席／カウンター8席）
事業者	株式会社フードワークス

ユニークベニュー事業

歴史的建造物や文化施設等で、会議やイベント、レセプション等を開催することで、特別感を演出できるユニークベニュー事業を2017年より実施している。2023年度は、非公開イベントを含む2件を実施した。

実績

PRADA MODE TOKYO（プラダ モード 東京）

コンテンポラリーカルチャーに焦点を当てたアートイベントを開催した。西洋庭園内には仮設パビリオンが設置され、トークセッションやミュージックパフォーマンスが行われたほか、一般来場者も楽しめるアート作品の展示やワークショップ、茶会を実施し、来場者が思い思いに過ごすことのできる多彩なプログラムが、敷地全体を利用して展開された。

日時	2023年5月12日（金）、13日（土）
主催	プラダ
企画運営担当事業者	Kennedy London
共催、後援等	東京都、東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
会場	西洋庭園、ガーデンテラス、レストラン、 茶室、日本庭園、本館、新館、本館中庭、 敷地西側バックヤード
来場者数	3,000人以上
参照	ワークショップP.68-69、茶会P.24

©Prada

その他の収益事業

施設商用撮影貸出（ロケーションボックス）50,000円（1件）
施設写真商用貸出（イメージライセンス）（0件）
自動販売機運営管理手数料 323,059円
駐車場4,719,500円（普通車：2,957 台 バス：71台）

2023年度の実績

入館者数

事　　項		事前予約	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	基準値	基準値対比	前年同期累計
企画展	建物公開2023「邸宅の記憶」	○	16,446	23,360	4,489										44,295	40,000	110.7%	—
	フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン	○			4,222	16,177	22,606	4,891							47,896	58,000	82.6%	—
	装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術	○						3,866	19,120	18,722	8,089				49,797	57,000	87.4%	—
	旧朝香宮邸を読み解く A to Z												6,112	18,094	24,206	30,000	80.7%	—
観覧者　合計			16,446	23,360	8,711	16,177	22,606	8,757	19,120	18,722	8,089	0	6,112	18,094	166,194	185,000	89.8%	151,537
庭園のみ入場者			6,336	6,158	5,903	2,340	2,320	5,145	10,418	9,128	7,107	4,657	5,081	5,949	70,542			64,104
その他入館者	展覧会に伴う講演会		45	125	67	0	0	52	0	0	0	0	44	0	333			692
	展覧会ギャラリーツアー等		0	51	0	0	183	0	0	86	20	0	0	103	443			424
	ワークショップ等		0	12	0	0	70	0	0	0	0	0	0	0	82			142
	美術館講座		0	0	0	0	0	0	0	0	76	0	70	156	302			0
	ミュージアム・コンサート		300	0	0	0	0	470	0	0	0	300	0	607	1,677			733
	その他イベント		75	399	69	42	37	52	1,855	1,988	205	0	374	284	5,380			1,262
その他入館者合計			420	587	136	42	290	574	1,855	2,074	301	300	488	1,150	8,217			3,253
入館者総合計			23,202	30,105	14,750	18,559	25,216	14,476	31,393	29,924	15,497	4,957	11,681	25,193	244,953			218,894

															前年同期累計
外国人入館者	企画展	327	447	199	489	530	254	706	688	246	0	260	849	4,995	941
	庭のみ	141	167	302	51	104	296	214	230	363	308	402	288	2,866	750
茶室公開		7,384	10,707	4,564	4,762	4,898	4,165	9,413	7,951	5,921	2,651	4,700	7,692	74,808	48,736

広報・宣伝

事　　項	区　　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期累計
マスコミ	TV・ラジオ放送件数	1	1	1	2	1	2	1	3	1	0	0	1	14	116.7%
	新聞掲出件数	5	4	5	2	3	4	4	2	1	3	13	5	51	102.0%
	雑誌等掲出件数	29	12	40	23	17	27	23	12	21	8	22	27	261	89.4%
ホームページ	アクセス件数（PV）	509,248	580,697	357,554	488,751	514,017	391,158	507,592	465,523	259,734	267,629	356,915	427,368	5,126,186	108.9%
X（旧ツイッター）	フォロワー数	156,802	157,491	158,119	158,652	159,502	160,047	160,909	162,718	163,631	164,004	165,214	165,613	165,613	106.2%

収益事業収入

	事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期累計
管理手数料及び売上高	MS管理手数料	557,481	847,299	351,115	761,345	1,235,106	394,343	551,290	653,116	281,692	286,509	440,000	832,231	**7,191,527**	95.6%
	飲食施設管理手数料	2,233,138	2,401,451	1,504,107	1,876,974	2,118,028	1,285,603	2,076,892	2,216,775	1,732,964	1,261,700	1,261,700	2,731,186	**22,700,518**	142.7%
	駐車場売上高	402,500	554,500	286,000	429,000	732,500	302,500	409,500	504,500	301,000	73,500	209,000	515,000	**4,719,500**	99.9%
	自販機管理手数料	24,538	40,605	27,257	28,935	30,174	27,939	30,016	24,520	22,367	21,718	23,224	21,766	**323,059**	93.7%
	計	3,217,657	3,843,855	2,168,479	3,096,254	4,115,808	2,010,385	3,067,698	3,398,911	2,338,023	1,643,427	1,933,924	4,100,183	**34,934,604**	122.6%

(参考)ミュージアムショップ売上高

(税抜)

	事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期累計
MS売上高	開店日数	27	26	10	26	27	10	26	26	9	8	25	27	**247**	103.8%
	売上高(円)	5,368,443	6,920,301	2,787,395	5,624,442	8,999,205	3,108,328	4,815,646	5,642,596	2,646,742	604,632	3,638,336	8,610,390	**58,766,456**	100.8%
	購買客数(人)	2,795	4,193	1,657	3,105	4,836	1,645	3,140	3,511	1,599	239	1,836	4,448	**33,004**	98.3%
	1日平均売上金額	198,831	266,165	278,740	216,325	333,304	310,833	185,217	217,023	294,082	75,579	145,533	318,903	**237,921**	102.2%
	1人平均購買金額	1,921	1,650	1,682	1,811	1,861	1,890	1,534	1,607	1,655	2,530	1,982	1,936	**1,781**	90.4%

(参考)飲食施設売上高

(税抜)

	事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期累計
飲食施設売上高	開店日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	25	27	**307**	103.7%
	売上高(円)	16,917,721	18,192,819	11,394,756	14,219,502	16,045,674	9,739,423	15,734,038	16,793,750	13,128,517	6,097,981	9,336,208	20,690,812	**168,291,201**	144.5%
	購買客数(人)	5,313	5,687	3,627	5,753	6,549	3,559	6,546	7,154	3,808	1,555	3,091	6,876	**59,518**	110.2%
	1日平均売上金額	650,682	699,724	438,260	546,904	594,284	374,593	605,155	645,913	570,805	265,130	373,448	766,326	**548,180**	187.4%
	1人平均購買金額	3,184	3,199	3,142	2,472	2,450	2,737	2,404	2,347	3,448	3,922	3,020	3,009	**2,828**	106.2%

※各展覧会の特設売店の設置手数料及び購買客数も含む

年間開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期累計
	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	25	27	**307**	100.7%

展覧会関連事業

事　業　名	区　　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
展覧会に伴う講演会	実施事業数	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	**6**
	延実施日数	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	**6**
	延実施回数	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	**6**
	延参加人数	45	125	67	0	0	52	0	0	0	0	44	0	**333**
展覧会ギャラリーツアー等	実施事業数	0	2	0	0	2	0	0	3	1	0	0	3	**11**
	延実施日数	0	2	0	0	2	0	0	3	1	0	0	4	**12**
	延実施回数	0	6	0	0	4	0	0	7	1	0	0	8	**26**
	延参加人数	0	51	0	0	183	0	0	86	20	0	0	103	**443**
ワークショップ等	実施事業数	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	**6**
	延実施日数	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	1	2	**7**
	延実施回数	0	1	0	0	6	0	0	0	1	0	1	2	**11**
	延参加人数	0	12	0	0	70	0	0	0	76	0	70	156	**384**
ミュージアム・コンサート	実施事業数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	**4**
	延実施日数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	**5**
	延実施回数	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4	0	1	**8**
	延参加人数	300	0	0	0	0	470	0	0	0	300	0	607	**1,677**
その他イベント	実施事業数	3	3	3	1	1	3	5	8	3	0	6	6	**42**
	延実施日数	9	6	3	2	1	3	5	12	5	0	9	7	**62**
	延実施回数	6	6	6	2	4	3	10	18	20	0	11	18	**104**
	延参加人数	75	399	69	42	37	52	1,855	1,988	205	0	374	284	**5,380**

医療利用者数 他

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
結婚応援パスポート利用者数				1		2	2		2				**7**
医療従事者利用者数				27	172	73	120	175	100	2	117	674	**1460**
ワクチン接種キャンペーン利用者数	5	3											**8**
Welcome Youth	89											548	**637**

その他

組織図

館長	妹島　和世
副館長（学芸）	牟田　行秀
戦略担当課長（学芸）	岡本　純子

管理係

管理係長〔派〕	奈良部浩武
プロモーション担当係長	青木　智子
主事	原口　寛子
主事	清水　麻子
主事	丸山　文江

事業係

事業係長（学芸）	森　　千花
事業担当係長（学芸）	板谷　敏弘
主任（学芸）	神保　京子
主任（学芸）	大木　香奈
主任（学芸）	吉田奈緒子
主任（学芸）	髙橋 さおり
主任	藤野　英樹
主事（学芸）	大谷　　郁
主事（学芸）	鶴　　三慧
主事（学芸）	斉藤　音夢
主事（学芸）	方波見瑠璃子

展覧会実績一覧

1983 昭和58年

ピカソからジャスパー・ジョーンズまで グッゲンハイム美術館展 …… 1983年10月1日〜12月25日(81日)

1984 昭和59年

早春展 …… 1984年2月23日〜4月9日(45日)
陽春展 …… 1984年4月14日〜4月23日(10日)
コプト美術展 ナイル河畔の文明遺産 …… 1984年4月28日〜6月3日(35日)
'84初夏—美とのであい …… 1984年6月16日〜7月8日(22日)
東京・パリ友好都市提携記念 ルオー展 …… 1984年9月14日〜11月4日(48日)
晩秋展 東京都美術館所蔵作品より …… 1984年11月17日〜12月23日(35日)

1985 昭和60年

日本画による初春展 …… 1985年1月12日〜2月11日(30日)
アレックス・コルヴィル展 カナダの自然と美術 …… 1985年2月20日〜3月21日(28日)
フランス・コルベール展 …… 1985年4月1日〜5月12日(39日)
日本の美 ジャポネズリーのルーツ …… 1985年5月19日〜6月23日(31日)
ナンダラール・ボース生誕100年記念
アジア近代絵画の夜明け展 天心・タゴール以後の日本とインド …… 1985年7月20日〜9月1日(44日)
庭園美術館への誘い 東京都美術館収蔵作品より …… 1985年9月12日〜24日(13日)
20世紀オーストラリア美術名作展
ニューサウスウェールズ州立美術館収蔵品とフレッド・ウィリアムズ"ピルバラ"シリーズ …… 1985年10月4日〜11月6日(32日)
東京・ニューヨーク姉妹都市提携25周年記念 写真展 NEW YORK・ニューヨーク …… 1985年11月17日〜12月22日(34日)

1986 昭和61年

回想の江戸・東京展 …… 1986年1月11日〜2月23日(42日)
庭園美術館へのいざない 12人の現代彫刻家 …… 1986年3月2日〜4月16日(43日)
ピカソに捧げる詩—スペイン現代美術の巨匠 アントニー・クラーベ展 …… 1986年4月27日〜6月30日(61日)
生誕120年記念 黒田清輝展 …… 1986年7月11日〜8月10日(30日)
日本の子どもの本歴史展 17世紀より19世紀までの絵入り本を中心に …… 1986年8月17日〜9月23日(36日)
太田道灌記念美術展 室町美術と戦国画壇 …… 1986年10月5日〜11月9日(34日)
東京都美術館収蔵品を中心に
庭園美術館へのいざない パートIII アール・デコと1920・30年代のART …… 1986年11月20日〜12月21日(30日)

1987 昭和62年

日本のガラス造形—昭和 …… 1987年1月10日〜3月22日(67日)
アンデスの染織と工芸 チャビン文化期からインカ帝国まで …… 1987年4月4日〜5月12日(37日)
東京・パリ友好都市提携記念写真展 美しき日本 …… 1987年5月23日〜6月30日(36日)
小磯良平展 …… 1987年7月11日〜8月30日(48日)
ブールデル／デュフェ 二人の先駆者:彫刻とアール・デコ家具 …… 1987年9月12日〜11月23日(69日)
「新東京百景」展 …… 1987年11月29日〜12月22日(23日)

1988 昭和63年

回想の江戸・東京II …… 1988年1月10日〜2月14日(33日)
文人精神に生きた油絵画家 牧野虎雄・曽宮一念展 …… 1988年2月25日〜3月27日(30日)
アール・デコ ガラスの巨匠 ルネ・ラリック展 …… 1988年4月5日〜5月29日(51日)
東京・パリ友好都市提携記念 写真展 パリ・街・人 アジェとカルティエ=ブレッソン …… 1988年6月4日〜7月24日(48日)
親子で楽しむ 西洋美術の名作展 …… 1988年7月31日〜9月4日(34日)
世紀末に異彩を放つオランダの画家 ヤン・トーロップ展 …… 1988年9月20日〜11月6日(45日)
東京・パリ友好都市提携記念 レオナール・フジタ展 …… 1988年11月12日〜1989年2月21日(90日)

1989 昭和64年　平成元年

平成4年度開館予定 東京都江戸東京博物館収蔵品展 …… 1989年3月1日〜3月28日(26日)
写真展 ヘルムート・ニュートン ポートレート …… 1989年4月5日〜5月14日(37日)
楽園からのメッセージ フンデルトワッサー展 …… 1989年5月21日〜7月11日(49日)
日本近代洋画の巨匠 藤島武二展 …… 1989年7月19日〜9月3日(47日)
江戸東京400年記念展覧会 江戸美術の祝祭 …… 1989年9月14日〜10月24日(39日)
生誕100年記念 国吉康雄展 ニューヨークの憂愁 …… 1989年11月1日〜12月24日(51日)

1990 平成2年

旧朝香宮邸のアール・デコ …… 1990年1月11日〜2月4日(24日)
ドイツ・ロマン派の時代展 ナザレ派・フリードリヒ・ベックリン …… 1990年2月18日〜3月25日(34日)
銅版画の巨匠 浜口陽三展 …… 1990年4月3日〜6月3日(58日)
光と香りの芸術 ルネ・ラリックの香水瓶展 …… 1990年6月16日〜8月5日(48日)
古代ギリシャ美術展 …… 1990年8月18日〜9月23日(35日)
東京・ニューヨーク姉妹都市提携30周年記念
エドワード・ホッパー展 ホイットニー美術館所蔵作品より …… 1990年10月6日〜12月16日(67日)

1991 平成3年

アール・ヌーヴォー ガラス芸術の華 ルイス・C・ティファニー展 …… 1991年1月12日〜3月17日(61日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開 …… 1991年3月24日〜3月31日(7日)
子どもの本・1920年代展 …… 1991年4月6日〜5月26日(47日)
ポスター英雄時代の巨匠 カッサンドル展 松本瑠樹:ART DECOコレクションより …… 1991年6月2日〜7月14日(40日)
小磯良平遺作展 …… 1991年7月20日〜8月27日(37日)
贈答の美 袱紗展 …… 1991年9月14日〜10月13日(28日)
企業コレクションによる 世界の名作展 …… 1991年11月2日〜12月20日(46日)

1992 平成4年

ベルリン東洋美術館名品展 …… 1992年1月12日〜2月17日(35日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開 …… 1992年2月29日〜3月24日(24日)
巴里・モダン1910-30年代
ポスター・挿絵・絵画・写真・映像にみる視覚メディアの新時代 …… 1992年4月4日〜5月24日(48日)
ロバート・メイプルソープ展 …… 1992年6月2日〜7月2日(29日)
現代日本洋画家と日本画家との対話 日本洋画再考展 …… 1992年7月10日〜8月5日(26日)
洋画の動乱 昭和10年 帝展改組と洋画壇―日本・韓国・台湾 …… 1992年8月14日〜10月6日(51日)
東京・パリ友好都市提携10周年記念 卓上の芸術
フランスのテーブル・アート200年 ポンパドゥール夫人のテーブルからピカソの絵皿まで …… 1992年10月17日〜12月10日(51日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開 …… 1992年12月18日〜1993年1月21日(25日)

1993 平成5年

自然の抒情詩 ドーム・ガラス展 フランス ナンシー市立美術館所蔵品を中心に …… 1993年1月31日〜3月15日(41日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 東京都庭園美術館建物公開 …… 1993年4月3日〜4月13日(11日)
パリに生きた銅版画の巨匠 長谷川潔展 版画・油彩・デッサンを中心に …… 1993年4月29日〜7月7日(66日)
デ・キリコ展1920-1950 …… 1993年7月16日〜8月15日(29日)
大正日本画の若き俊英たち 今村紫紅と赤曜会 …… 1993年8月21日〜9月23日(31日)
京都庭園美術館開館10周年記念 20世紀のエレガンス
アール・デコ様式のセーブル磁器展 …… 1993年10月2日〜12月19日(74日)

1994 平成6年

旧朝香宮邸の建築と歴史 東京都庭園美術館建物公開 …… 1994年1月15日〜2月13日(38日)
近代絵画にみる西洋と日本 全国美術館コレクション名品展 …… 1994年3月3日〜3月31日(27日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 東京都庭園美術館建物公開 …… 1994年4月5日〜4月17日(12日)
スウェーデンの国民画家 カール・ラーション展 …… 1994年4月23日〜5月31日(36日)
ヨーロッパ工芸新世紀展 …… 1994年6月11日〜7月31日(48日)

1995 平成7年

旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開 …… 1995年3月10日〜3月19日(10日)
カルティエ・コレクション 絢爛のジュエリー フランス宝飾芸術の世界展 …… 1995年4月8日〜5月28日(47日)
エリザベス二世女王陛下コレクション ウィンザー城王立図書館所蔵
レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図 …… 1995年6月10日〜7月30日(47日)
アメリカに生きた日系人画家たち 希望と苦悩の半世紀 1896-1945 …… 1995年8月12日〜10月1日(48日)
ジャズを愛し、ニューヨークを生きた スチュアート・デイヴィス展 …… 1995年10月10日〜11月26日(44日)
動物たちのシンフォニー エドゥアール・サンド彫刻展 …… 1995年12月7日〜1996年2月13日(57日)

1996 平成8年

旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開 …… 1996年2月24日〜3月24日(28日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開 …… 1996年4月1日〜5月26日(52日)
生誕100年記念 林武展 …… 1996年6月15日〜7月28日(41日)
日本工芸の青春期1920s-1945 …… 1996年8月10日〜9月17日(36日)
美食もてなしの芸術 北大路魯山人展 …… 1996年10月5日〜11月24日(48日)
遙かなる東洋紀行
ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展 …… 1996年12月7日〜1997年2月11日(55日)

1997 平成9年

プーシキン美術館所蔵 イタリア・バロック絵画展 …… 1997年2月20日〜3月30日(36日)
アルザスとフランス近代美術の歩み ストラスブール近代美術館展 …… 1997年4月5日〜5月25日(48日)
パリ国立オペラ座衣裳展 …… 1997年6月14日〜8月17日(61日)
東南アジア—近代美術の誕生 …… 1997年9月6日〜10月12日(34日)
フォンタネージと日本の近代美術 志士の美術家たち …… 1997年10月23日〜12月14日(50日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開 …… 1997年12月21日〜1998年1月27日(28日)

1998 平成10年

工芸のジャポニスム展 …… 1998年2月7日〜3月24日(43日)
華麗なる馬たち 馬と人間の美術史・バロックから近代まで …… 1998年4月4日〜5月26日(50日)
イタリアのガラス1930-1970 …… 1998年6月6日〜7月26日(47日)
パリ市ザッキン美術館蔵 ザッキン—彫刻と素描展 …… 1998年8月8日〜9月27日(47日)
静かなる時の流れのなかで ジョルジョ・モランディ 花と風景 …… 1998年10月10日〜11月29日(47日)
旧朝香宮邸のアール・デコ
東京都庭園美術館建物公開 旧第一応接室、旧小食堂 新規公開 …… 1998年12月12日〜1999年3月21日(86日)

1999 平成11年

東京都庭園美術館建物公開 イセ・コレクションによる
名画の花束 フランス近代絵画を中心に …… 1999年4月3日〜5月30日(54日)
20世紀の創造 アール・ヌーヴォーとモダン・デザインの源流
リバティ・スタイル展 …… 1999年6月12日〜7月25日(42日)
没後25年 写実と幻想の巨匠 宮本三郎展 …… 1999年8月7日〜9月19日(41日)
パリ・モード1870-1960 華麗なる夜会の時代 …… 1999年10月2日〜12月19日(74日)

2000 平成12年

アール・デコと東洋 1920-30年代・パリを夢みた時代 …… 2000年1月8日〜3月21日(69日)
デペロの未来派芸術展 20世紀イタリア・デザインの源流 …… 2000年4月4日〜5月23日(47日)
指輪 ちいさな記念碑の物語 …… 2000年6月7日〜8月6日(57日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 東京都庭園美術館建物公開 …… 2000年8月19日〜10月29日(67日)
ルネ・ラリック1860-1945展 …… 2000年11月11日〜2001年1月31日(69日)

2001 平成13年

ポスター芸術の革命 ロシア・アヴァンギャルド展 ステンベルグ兄弟を中心に …… 2001年2月10日〜4月1日(47日)
ジョルジュ・ルース展 幾何学的形態の中の緊張 …… 2001年4月7日〜6月3日(54日)
イタリア陶磁器の伝統と革新 ジノリ展 …… 2001年6月16日〜8月19日(61日)
安田侃—彫刻展 東京都庭園美術館建物公開 …… 2001年8月25日〜9月16日(22日)
安田侃—野外彫刻展 …… 2001年4月12日〜2002年3月17日併催
カラヴァッジョ 光と影の巨匠—バロック絵画の先駆者たち …… 2001年9月29日〜12月16日(76日)

2002 平成14年

旧朝香宮邸のアール・デコ展 東京都庭園美術館建物公開 …… 2002年1月5日〜3月17日(67日)
イタリア・ファエンツァ国際陶芸博物館所蔵 マジョリカ名陶展 …… 2002年4月4日〜6月23日(76日)
ソニア・ドローネ …… 2002年7月6日〜9月8日(61日)
フランス銀器の系譜 ピュイフォルカ展 …… 2002年9月21日〜12月1日(68日)

2003 平成15年

旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開 …… 2003年1月4日〜4月6日(81日)
東京都庭園美術館開館20周年記念
ヨーロッパ・ジュエリーの400年 ルネサンスからアール・デコまで …… 2003年4月24日~7月1日(65日)
東京都庭園美術館開館20周年記念
生誕120年 マリー・ローランサン回顧展 …… 2003年7月19日〜9月15日(55日)
東京都庭園美術館開館20周年記念
アール・デコ様式 朝香宮がみたパリ …… 2003年10月1日〜2004年2月1日(105日)

2004 平成16年

パリ市立プティ・パレ美術館所蔵 パリ1900 ベル・エポックの輝き …… 2004年2月21日〜4月11日(48日)
シルクロードの装い パリ・コレに花開いた遊牧の民の美 …… 2004年4月24日〜6月20日(54日)
幻のロシア絵本1920-30年代展 …… 2004年7月3日〜9月5日(61日)
色彩と幻想の画家 エミール・ノルデ …… 2004年9月18日〜11月7日(48日)
田原桂一 光の彫刻 …… 2004年11月20日〜2005年1月23日(54日)

2005 平成17年

日本のジュエリー100年 私たちの装身具:1850-1950 …… 2005年2月5日〜4月10日(61日)
ベルギーが生んだ異端の芸術家 ジェームズ・アンソール展 …… 2005年4月23日〜6月12日(47日)
没後25年 八木一夫展 陶芸の冒険—オブジェと茶わん …… 2005年7月2日〜8月21日(48日)
庭園植物記 …… 2005年9月3日〜11月6日(61日)
華麗なるマイセン磁器 シノワズリー、ロココからアール・ヌーヴォーまで …… 2005年11月19日〜2006年1月22日(55日)

2006 平成18年

宇治山哲平展 絵に遊び、絵に憩う ……2006年2月4日〜4月9日(61日)
北欧のスタイリッシュ・デザイン フィンランドのアラビア窯 ……2006年4月22日〜6月18日(54日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 小客室新規公開 ……2006年7月8日〜10月1日(80日)
アール・デコ・ジュエリー 宝飾デザインの鬼才シャルル・ジャコーと輝ける時代 ……2006年10月14日〜2007年1月14日(80日)

2007 平成19年

だれも知らなかった アルフレッド・ウォリス ある絵描きの物語 ……2007年2月3日〜3月31日(53日)
大正シック モダン日本の里帰り ホノルル美術館所蔵品より ……2007年4月14日〜7月1日(74日)
舞台芸術の世界 ディアギレフのロシアバレエと舞台デザイン ……2007年7月26日〜9月17日(51日)
世界を魅了した ティファニー 1837-2007 ……2007年10月6日〜12月16日(67日)
アール・デコの館 アール・デコ&コンサート じっくり見よう!アール・デコ ……2007年12月23・24日/2008年1月12日〜14日(5日)

2008 平成20年

建築の記憶 写真と建築の近現代 ……2008年1月26日〜3月31日(63日)
世界に誇る和製テーブルウェア オールドノリタケと懐かしの洋食器 ……2008年4月17日〜6月15日(56日)
舟越桂 夏の邸宅 アール・デコ空間と彫刻、ドローイング、版画 ……2008年7月19日〜9月23日(64日)
庭園美術館建物公開 アール・デコの館 ……2008年10月1日〜10月13日(13日)
開館25周年記念 1930年代・東京 アール・デコの館(朝香宮邸)が生まれた時代 ……2008年10月25日~2009年1月12日(69日)

2009 平成21年

開館25周年記念 ポワレとフォルチュニィ 20世紀モードを変えた男たち ……2009年1月31日〜3月31日(58日)
国立エルミタージュ美術館所蔵
エカテリーナ2世の四大ディナーセット ヨーロッパ磁器に見る宮廷晩餐会 ……2009年4月16日〜7月5日(76日)
ステッチ・バイ・ステッチ 針と糸で描くわたし ……2009年7月18日〜9月27日(68日)
日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念 パリに咲いた古伊万里の華 ……2009年10月10日〜12月23日(70日)

2010 平成22年

イタリアの印象派 マッキアイオーリ 光が描いた近代画家たち ……2010年1月16日〜3月14日(54日)
庭園美術館建物公開 アール・デコの館 ……2010年3月25日〜4月11日(18日)
ロトチェンコ+ステパーノワ ロシア構成主義のまなざし ……2010年4月24日〜6月20日(54日)
没後25周年 有元利夫展—天空の音楽 ……2010年7月3日〜9月5日(61日)
きらめく装いの美 香水瓶の世界 ……2010年9月18日〜11月28日(67日)
東京都園美術館建物公開 朝香宮のグランドツアー ……2010年12月11日〜2011年1月16日(28日)

2011 平成23年

20世紀のポスター[タイポグラフィ] デザインのちから、文字のちから …… 2011年1月29日〜3月27日(50日)
森と芸術 私たちの中にひそむ森の記憶をたどってみよう …… 2011年4月16日〜7月3日(74日)
国立エルミタージュ美術館所蔵 皇帝の愛したガラス …… 2011年7月14日〜9月25日(70日)
アール・デコの館 東京都庭園美術館建物公開 …… 2011年10月6日〜10月31日(24日)

2014 平成26年

アーキテクツ/1933/Shirokane アール・デコ建築をみる …… 2014年11月22日~12月25日(32日)
内藤礼 信の感情 …… 2014年11月22日~12月25日(32日)

2015 平成27年

東京都庭園美術館開館30周年記念 幻想絶佳:アール・デコと古典主義 …… 2015年1月17日~4月7日(76日)
フランス国立ケ・ブランリ美術館所蔵 マスク展 …… 2015年4月25日~6月30日(63日)
アール・デコの邸宅美術館 建築をみる2015 + ART DECO COLLECTORS …… 2015年7月18日~9月23日(64日)
オットー・クンツリ展 …… 2015年10月10日~12月27日(73日)

2016 平成28年

ガレの庭 花々と声なきものたちの言葉 …… 2016年1月16日~4月10日(81日)
日伊国交樹立150周年記念 メディチ家の至宝 ルネサンスのジュエリーと名画 …… 2016年4月22日~7月5日(70日)
こどもとファッション 小さい人たちへの眼差し …… 2016年7月16日~8月31日(44日)
アール・デコの花弁 旧朝香宮邸の室内空間 …… 2016年9月22日~12月25日(89日)
クリスチャン・ボルタンスキー アニミタス—さざめく亡霊たち …… 2016年9月22日~12月25日(89日)

2017 平成29年

並河靖之七宝 明治七宝の誘惑—透明な黒の感性 …… 2017年1月14日~4月9日(81日/平成28年度中は72日)
装飾は流転する「今」と向きあう7つの方法 …… 2017年11月18日~2月25日(86日)

2018 平成30年

アール・デコリヴァイヴァル! 建物公開 旧朝香宮邸物語 …… 2018年3月21日~6月12日(79日/平成29年度中は10日)
鹿島茂コレクション フランス絵本の世界 …… 2018年3月21日~6月12日(79日/平成29年度中は10日)
ブラジル先住民の椅子 野生動物と想像力 …… 2018年6月30日~9月17日(75日)
エキゾティック×モダン アール・デコと異郷への眼差し …… 2018年10月6日~2019年1月14日(86日)

2019 平成31年

岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟 …… 2019年1月26日~4月7日(68日/平成30年度中は61日)
キスリング展 エコール・ド・パリの夢 …… 2019年4月20日~7月7日(74日)
1933年の室内装飾 朝香宮邸をめぐる建築素材と人びと …… 2019年7月20日~9月23日(62日)
アジアのイメージ 日本美術の「東洋憧憬」 …… 2019年10月12日~2020年1月13日(80日)

2020 令和2年

北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダン・エレガンスの美 …… 2020年2月1日~2月28日(26日)

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため2月29日~4月7日は休止

建築をみる2020 東京モダン生活
東京都コレクションにみる1930年代 …… 2020年6月1日~9月27日(4月18日~6月23日より会期変更)(111日)

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため4月18日~5月31日は休止

生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙 …… 2020年10月17日~2021年1月12日(75日)

2021 令和3年

20世紀のポスター[図像と文字の風景] ビジュアルコミュニケーションは可能か? …… 2021年1月30日~4月11日(67日)

建物公開2021 艶めくアール・デコの色彩 …… 2021年4月24日、6月1日~6月13日(13日)

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため4月25日~5月31日は休止

ルネ・ラリック リミックス 時代のインスピレーションをもとめて …… 2022年6月26日~9月5日(65日)

キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート …… 2021年9月18日~11月28日(62日)

2022 令和4年

奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム …… 2022年1月15日~4月10日(74日)

建物公開2022 アール・デコの貴重書 …… 2022年4月23日~6月12日(44日)

蜷川実花「瞬く光の庭」 …… 2022年6月25日~9月4日(62日)

旅と想像/創造 いつかあなたの旅になる …… 2022年9月23日~11月27日(57日)

交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー …… 2022年12月17日~2023年3月5日(61日)

2023 令和5年

建物公開2023 邸宅の記憶 …… 2023年4月1日(土)~6月4日(日)(56日)

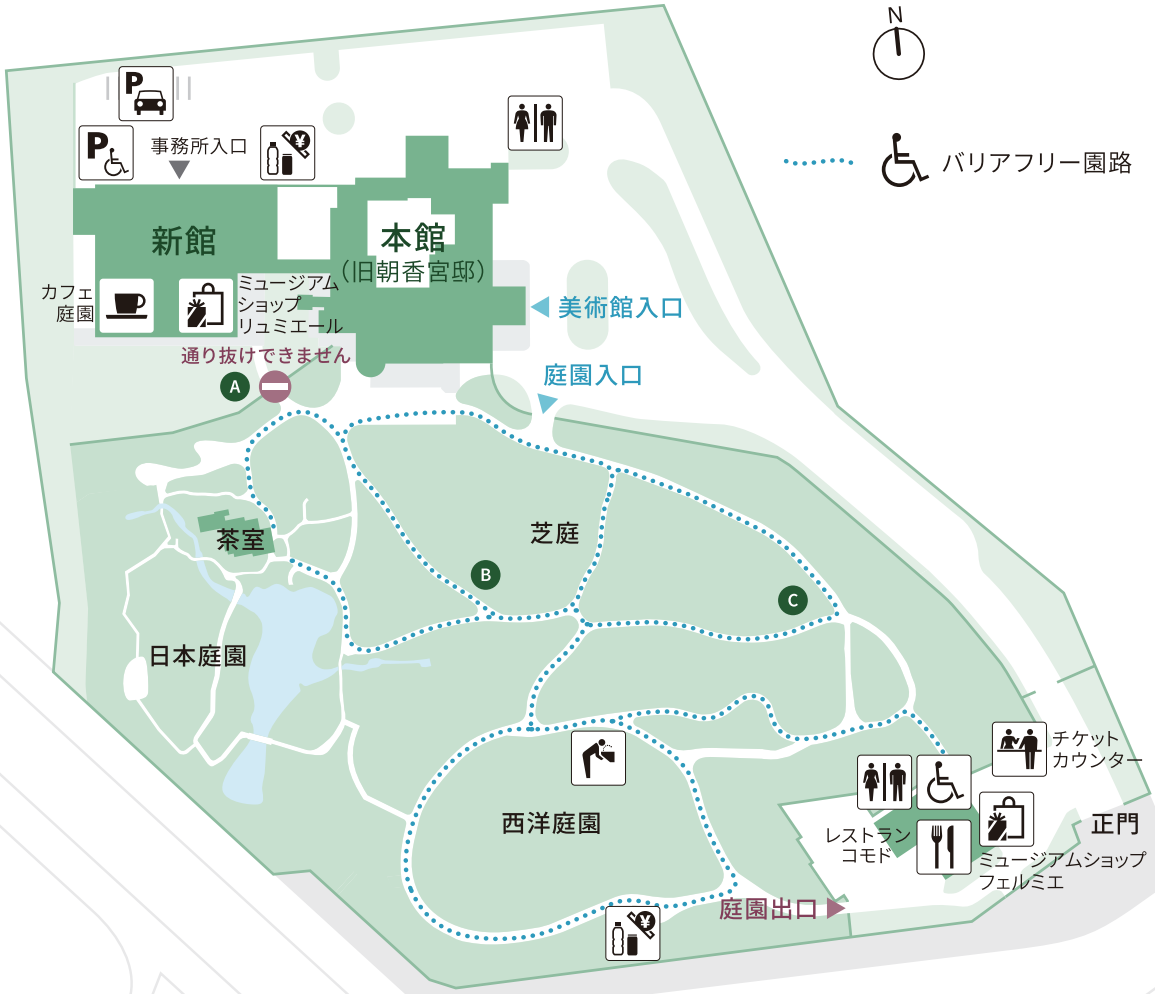
フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン …… 2023年6月24日(土)~9月3日(日)(62日)

装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術 …… 2023年9月23日(土)~12月10日(日)(68日)

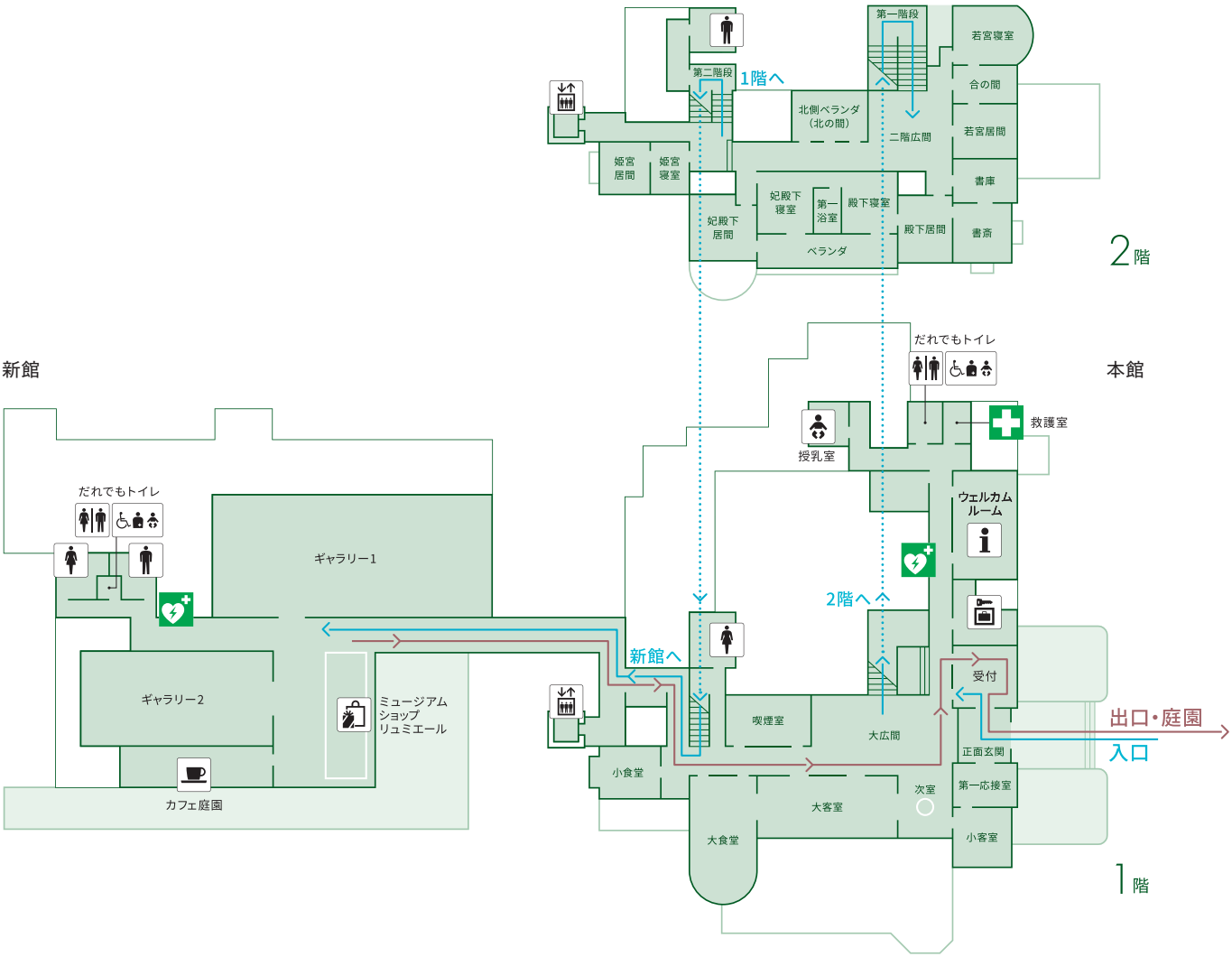
2024 令和6年

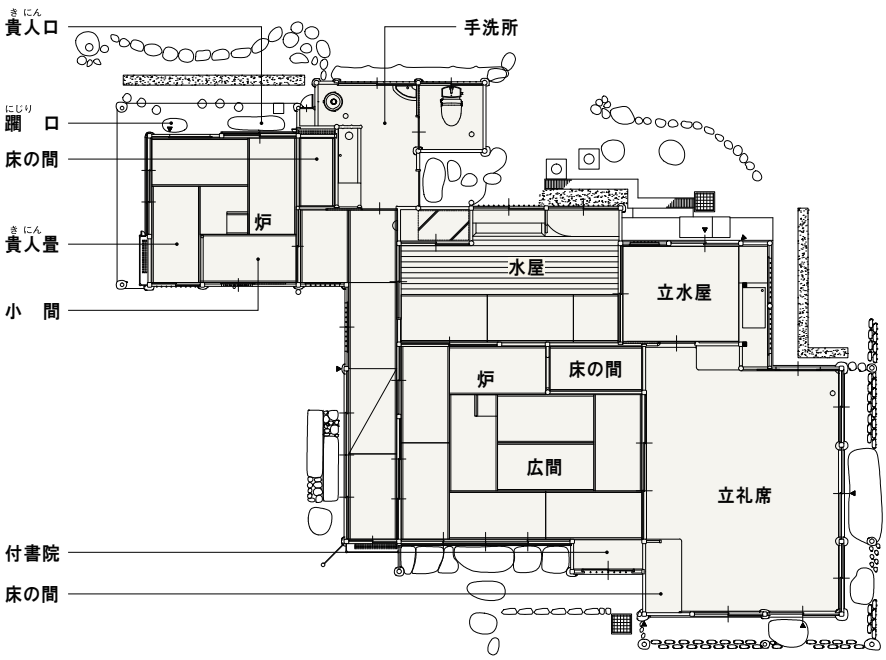
開館40周年記念 旧朝香宮邸を読み解く A to Z …… 2024年2月17日(土)~5月12日(日)(74日)

施設配置図


N
バリアフリー園路
事務所入口
新館
本館
（旧朝香宮邸）
カフェ
庭園
ミュージアム
ショップ
リュミエール
美術館入口
通り抜けできません
A
庭園入口
茶室
芝庭
B
C
日本庭園
西洋庭園
チケット
カウンター
レストラン
コモド
ミュージアムショップ
フェルミエ
正門
庭園出口

本館（旧朝香宮邸）新館



※本館の室名は朝香宮邸時の呼称

茶室